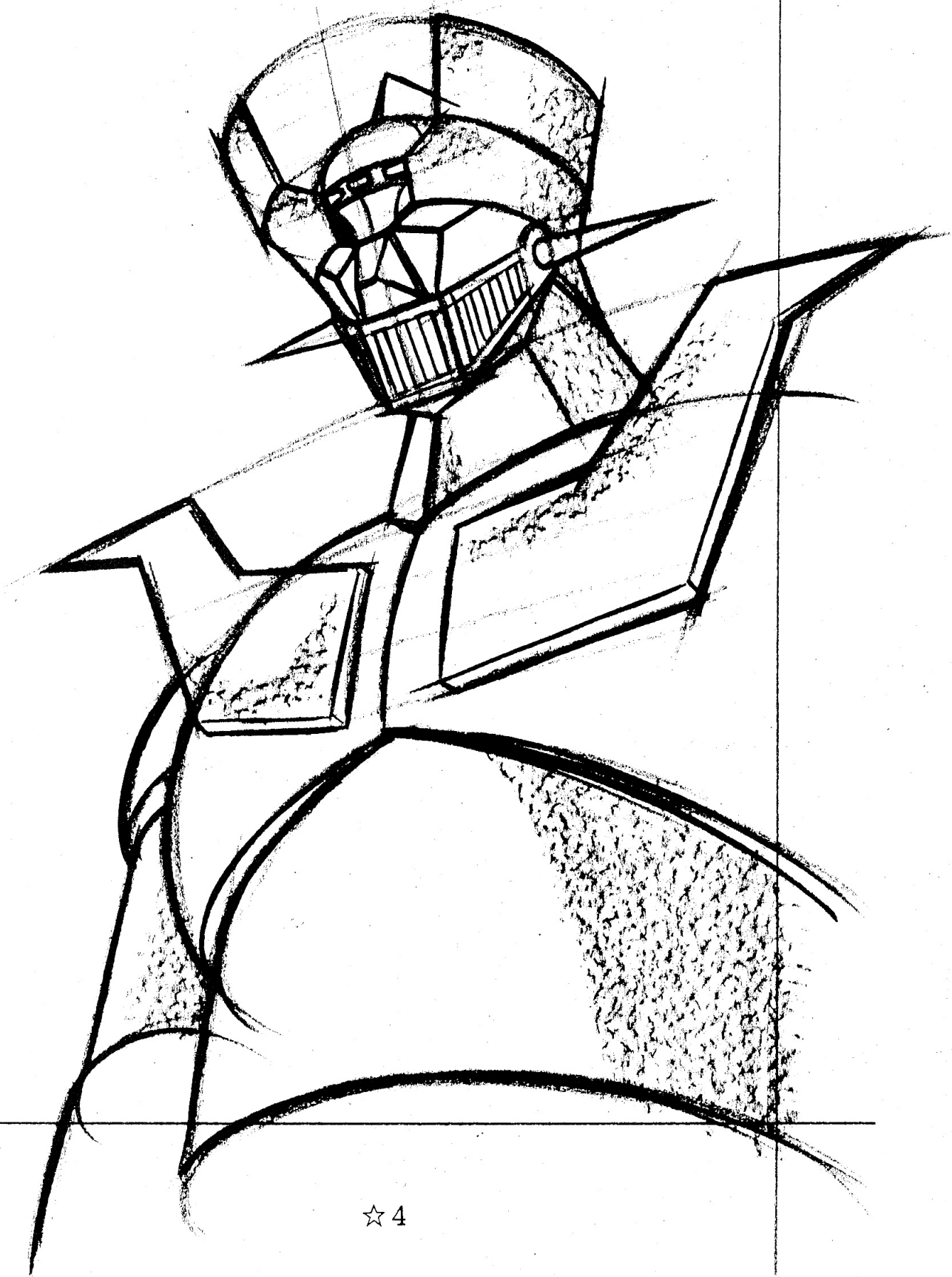
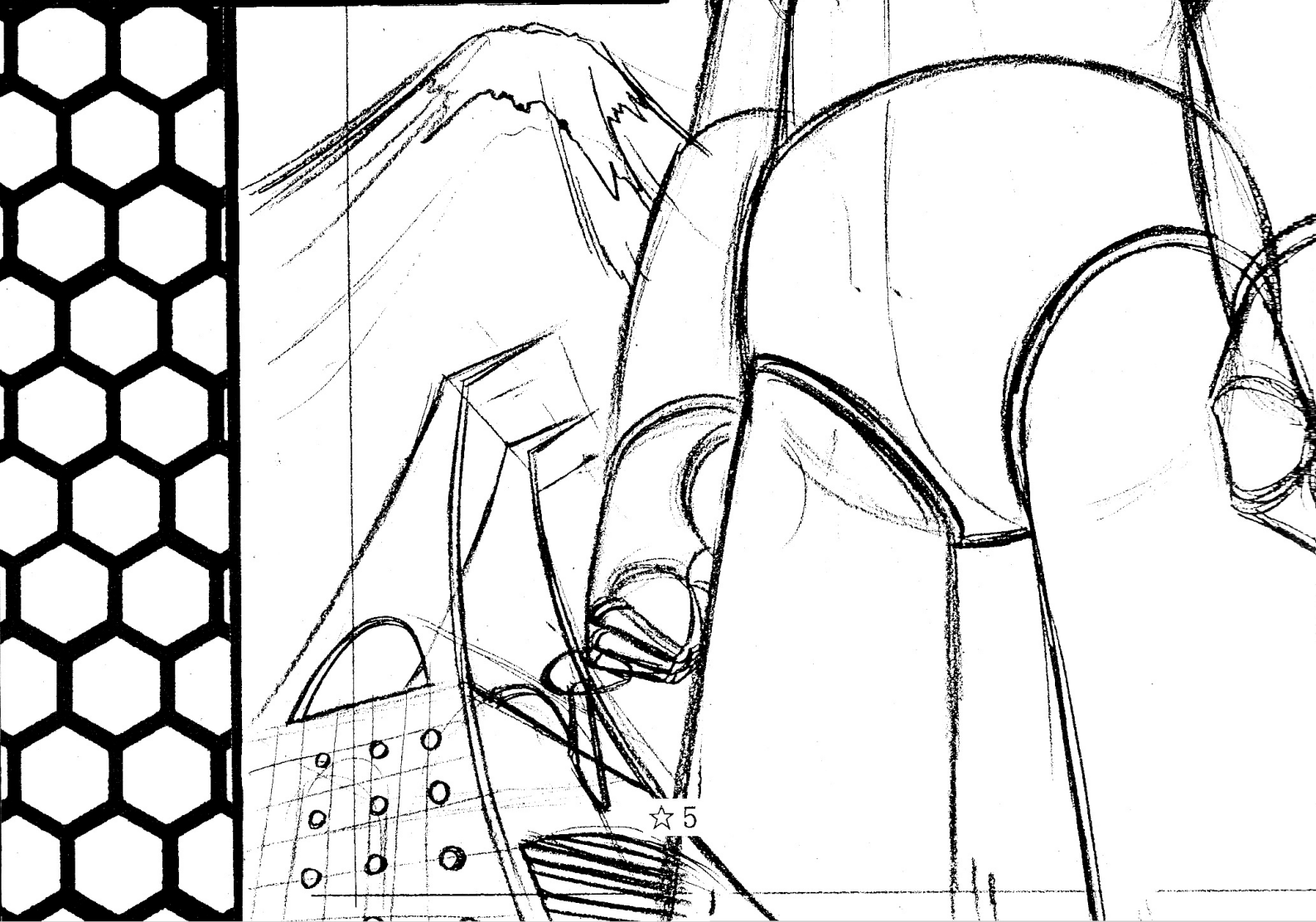
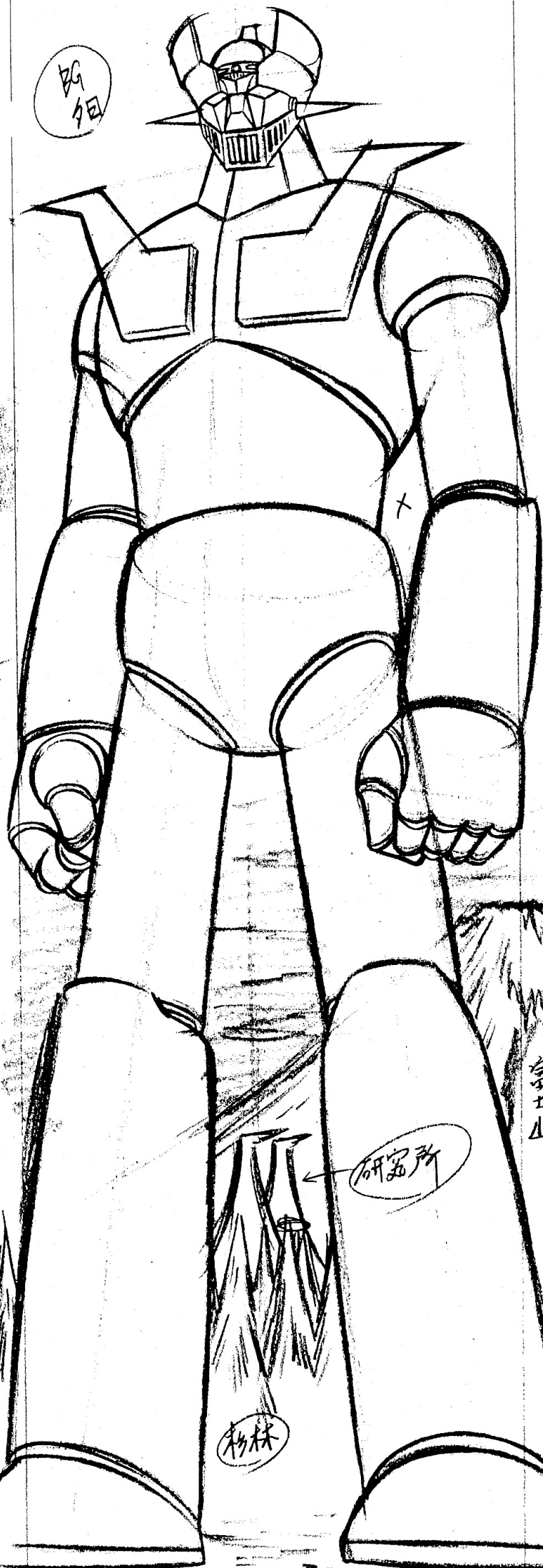
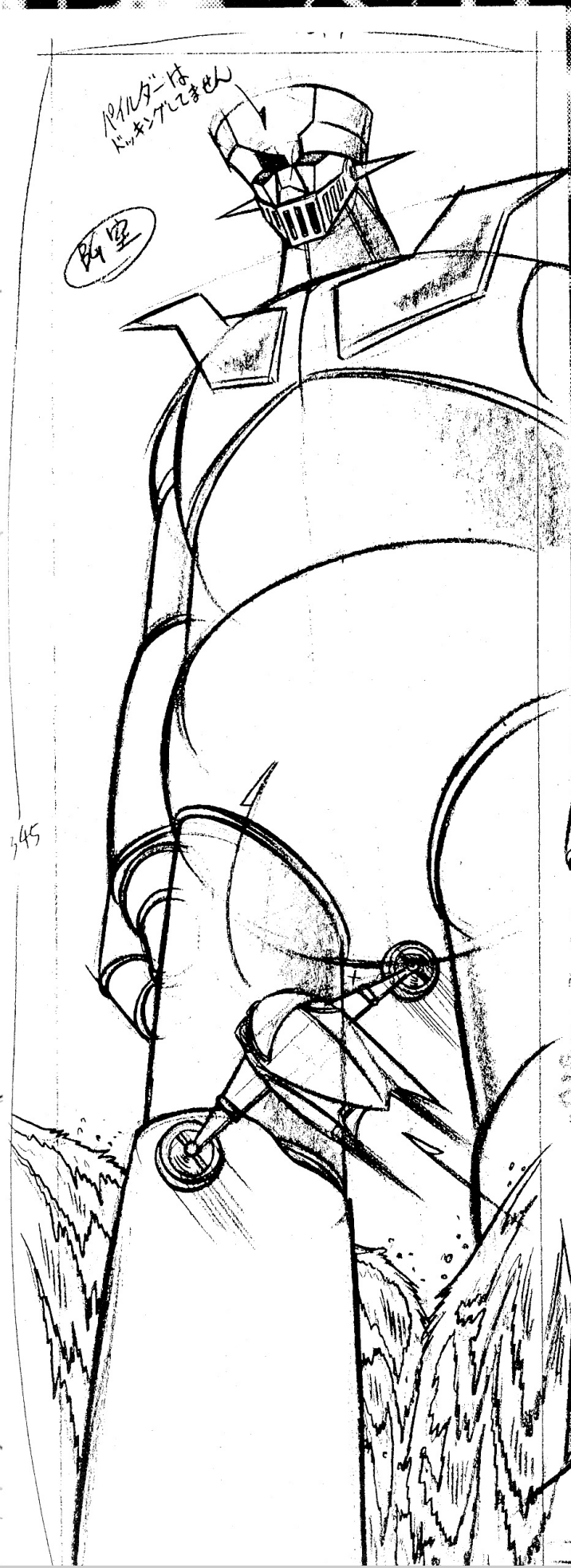
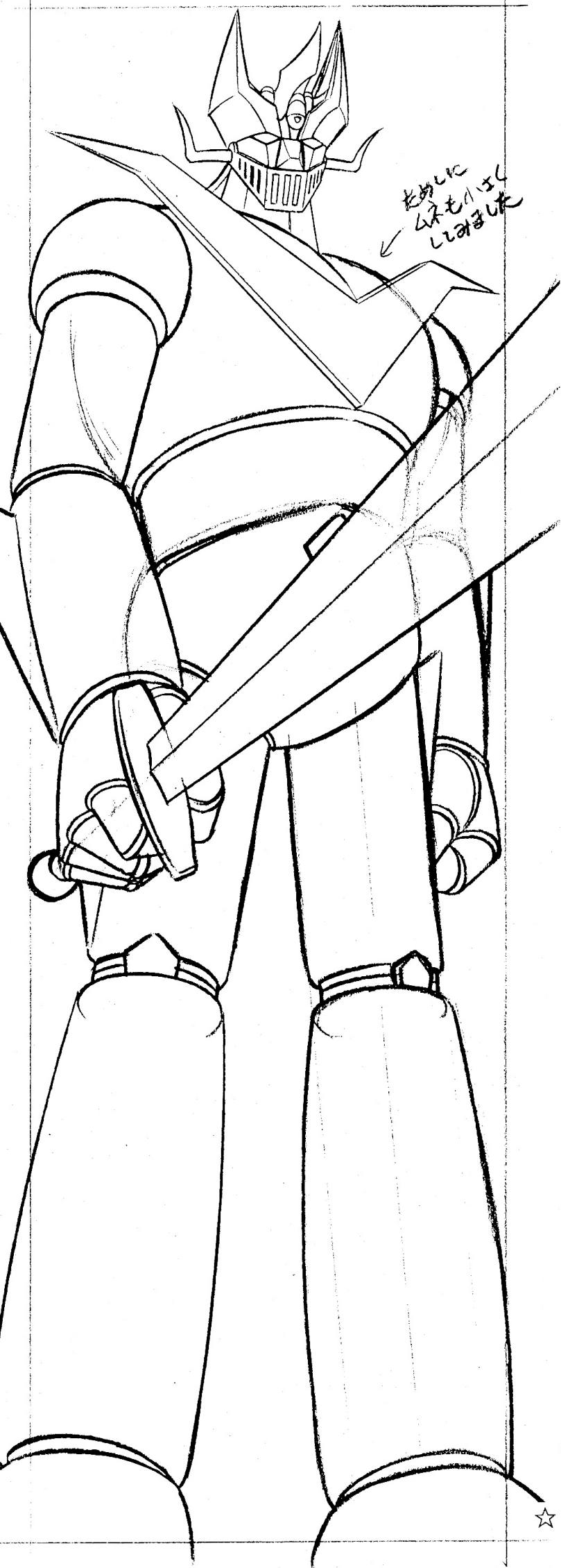
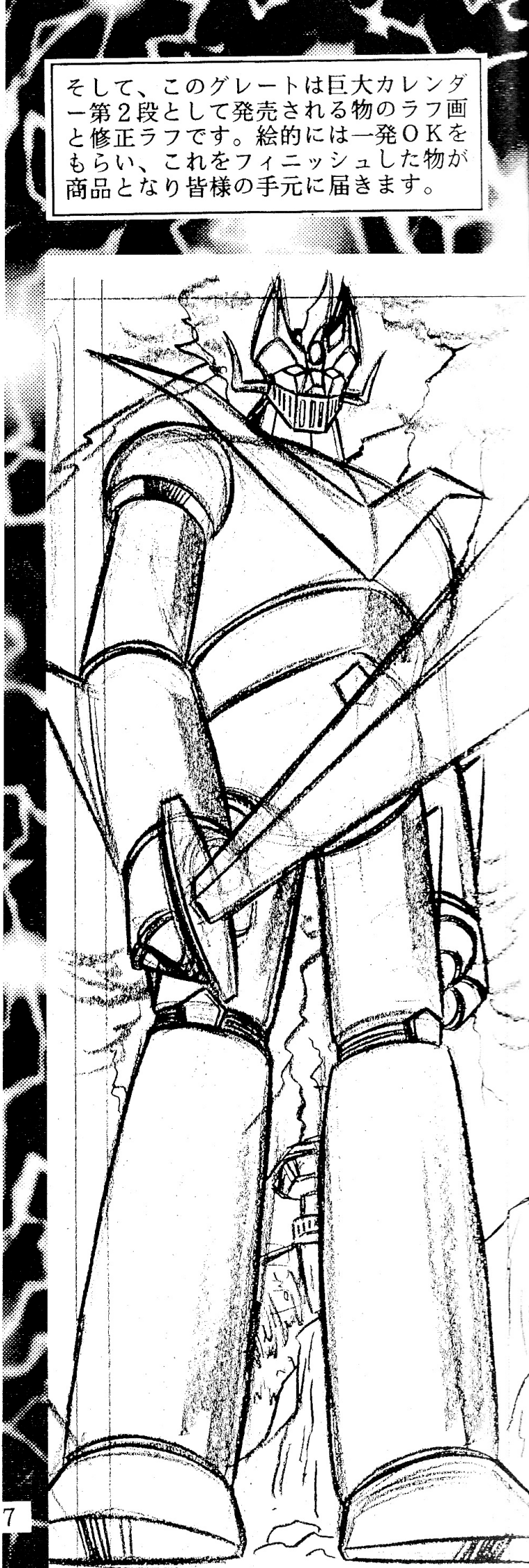
ドテコロ別冊
冒険王
マジンガーZ
オフィシャル原画集
あつまれ！昭和の
人気者たち
別冊ふろく
なし
なつかしヒーロー大集合
キン肉マン
デビルマン
ドロロン
えん魔くん
鋼鉄ジーグ
狼少年ケン
もーれつア太郎
ゲッターロボ
ゲッターロボG
ゲゲゲの
鬼太郎
タツノコキャラクターズ

# ⇨はじめに⇦

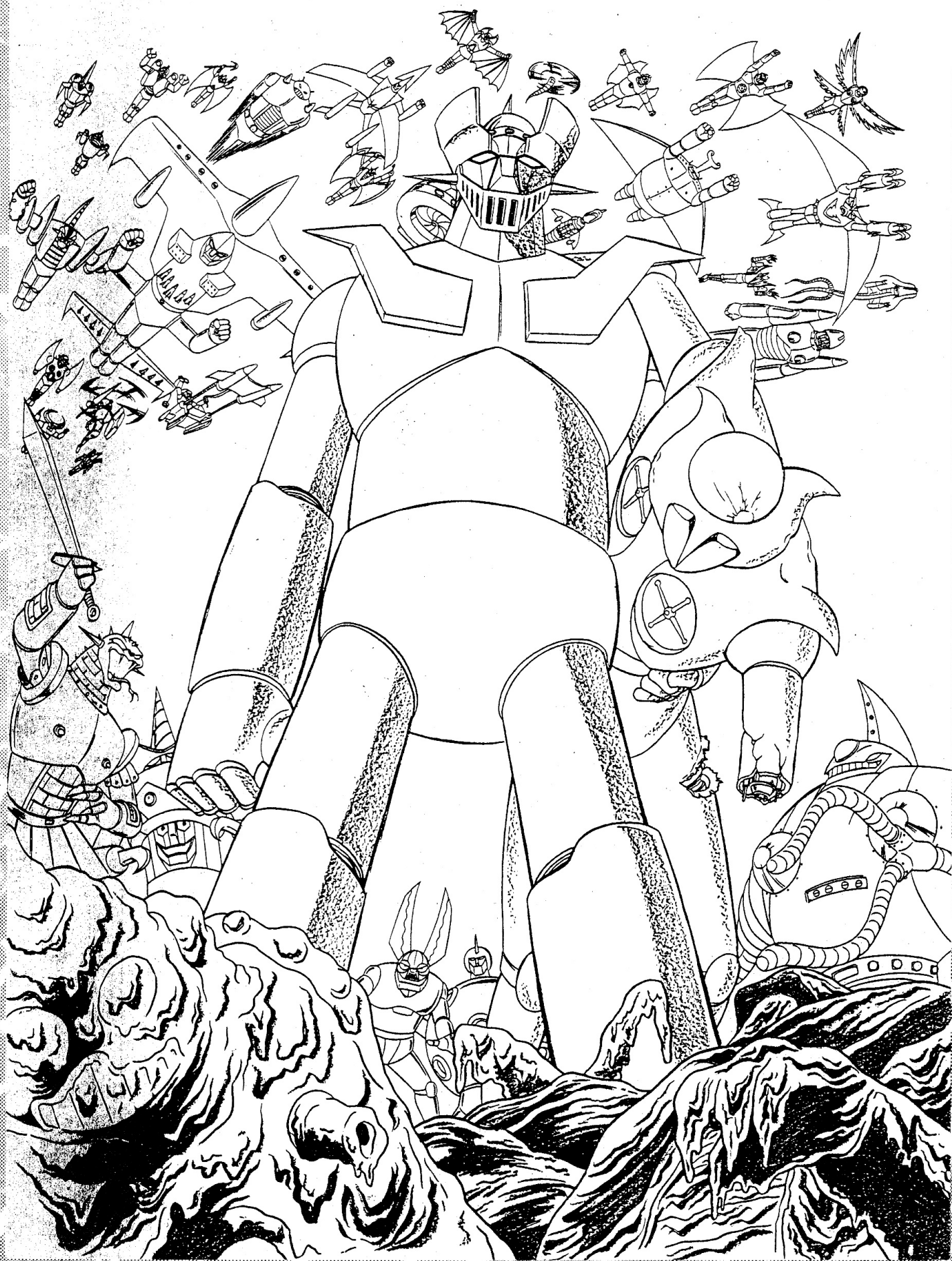
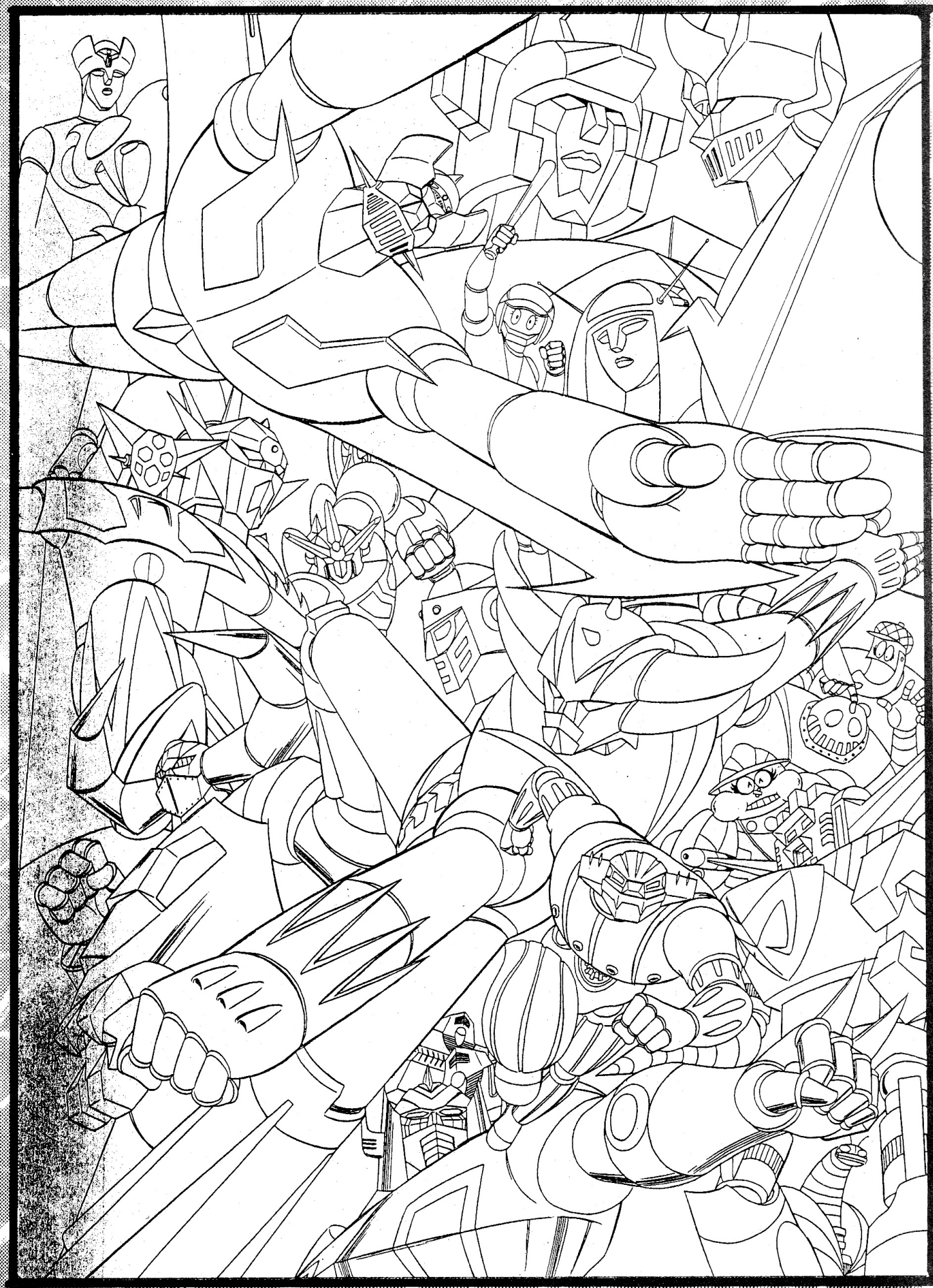
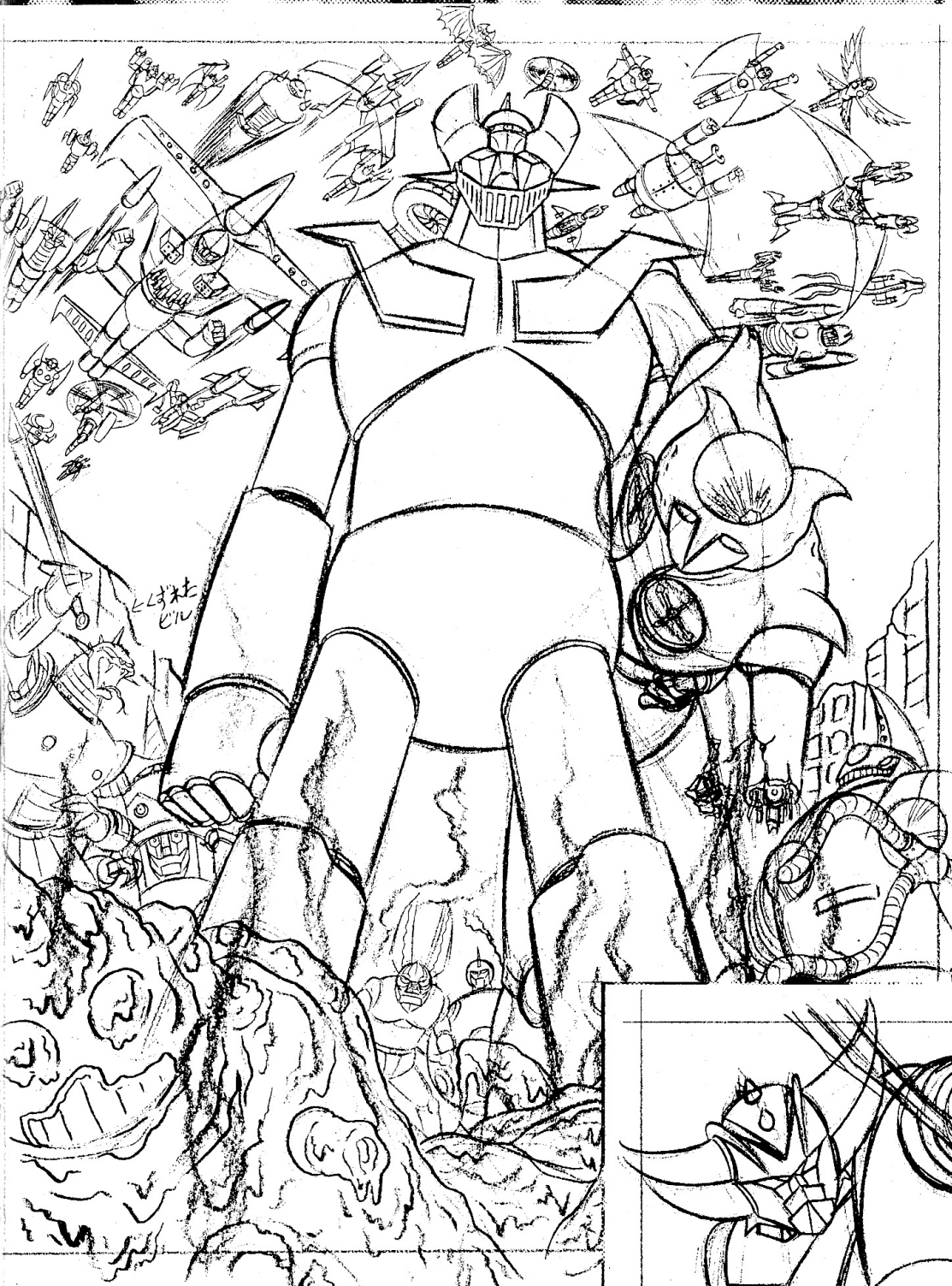
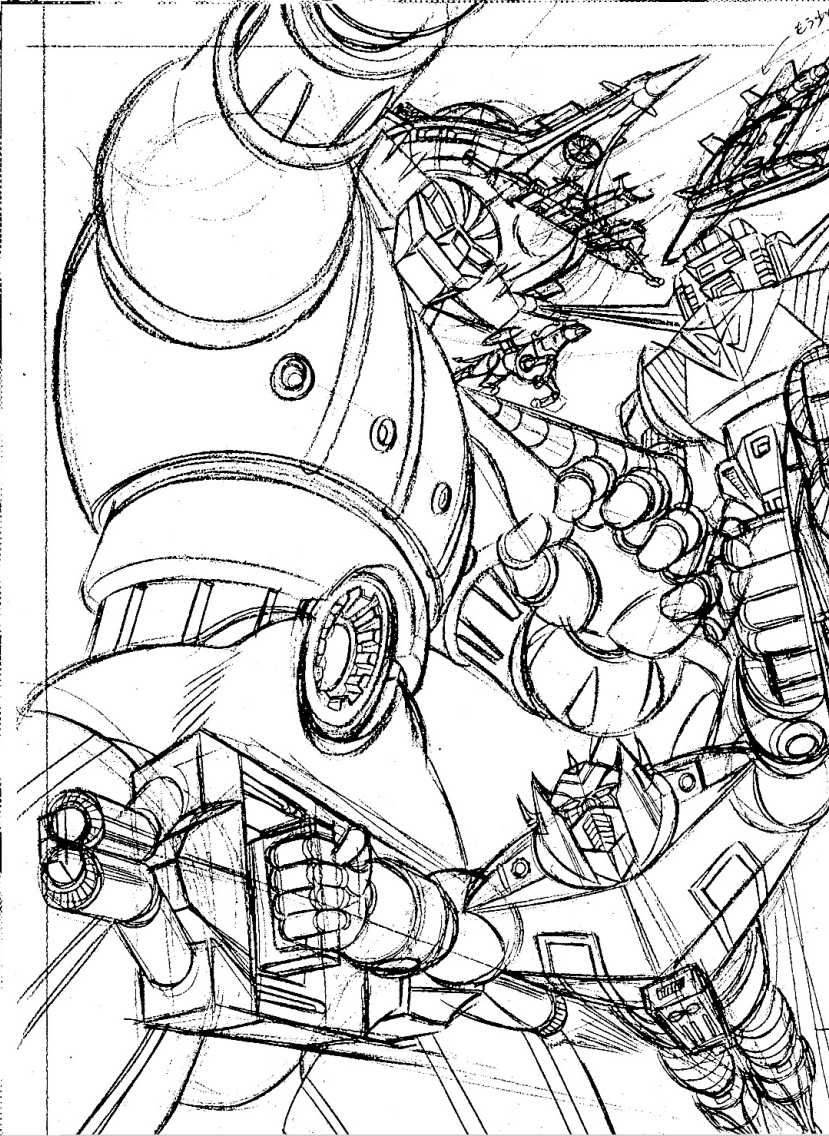
今回は、今までのドテコロシリーズとは少々趣向を変えまして、特別版ドテコロ外伝として、私スパーク早風こと多賀谷一学が仕事で描いた数々のマジンガー関係その他のイラスト並びに原画、ラフ画をセレクトし一冊の本にまとめました。この本を購入され、掲載されている絵を様々な場所でご覧になり買われた方も少なからずいらっしゃると思います。そういった方々がこの本を見て、また別の楽しみ方が出来れば幸いと思う反面、当サークルを支持して下さり、長期にわたり「マジンガーZ本」を出す出すと宣言しておきながら発行が遅れてしまっている事をおわびする意味合いも込めまして、今回の掟破りな手段での発行を試みた次第です。マジンガーZは見る人好きな人によってその顔かたちのイメージやタイプが異なります。十人十色を如実に分けるマジンガーZは描く段階で大変難しい作業で、今後も仕事でマジンガーを描く機会はあると思いします。ですから、皆様からの感想やご意見を是非ともお聞かせ願えればと考えております。では、楽しんで頂ける事を切に祈って、また…。

この見開きに掲載したマジンガーZを初めとするグレートマジンガー・グレンダイザー・ゲッターロボ・ゲッターロボGは、大阪のガレージキットメーカーからの依頼でパッケージ用に描いた物です。私はレイアウトと下書きのみで仕上げの効果処理は当サークルでもおなじみの“たの坊”氏にアシストしてもらいました。

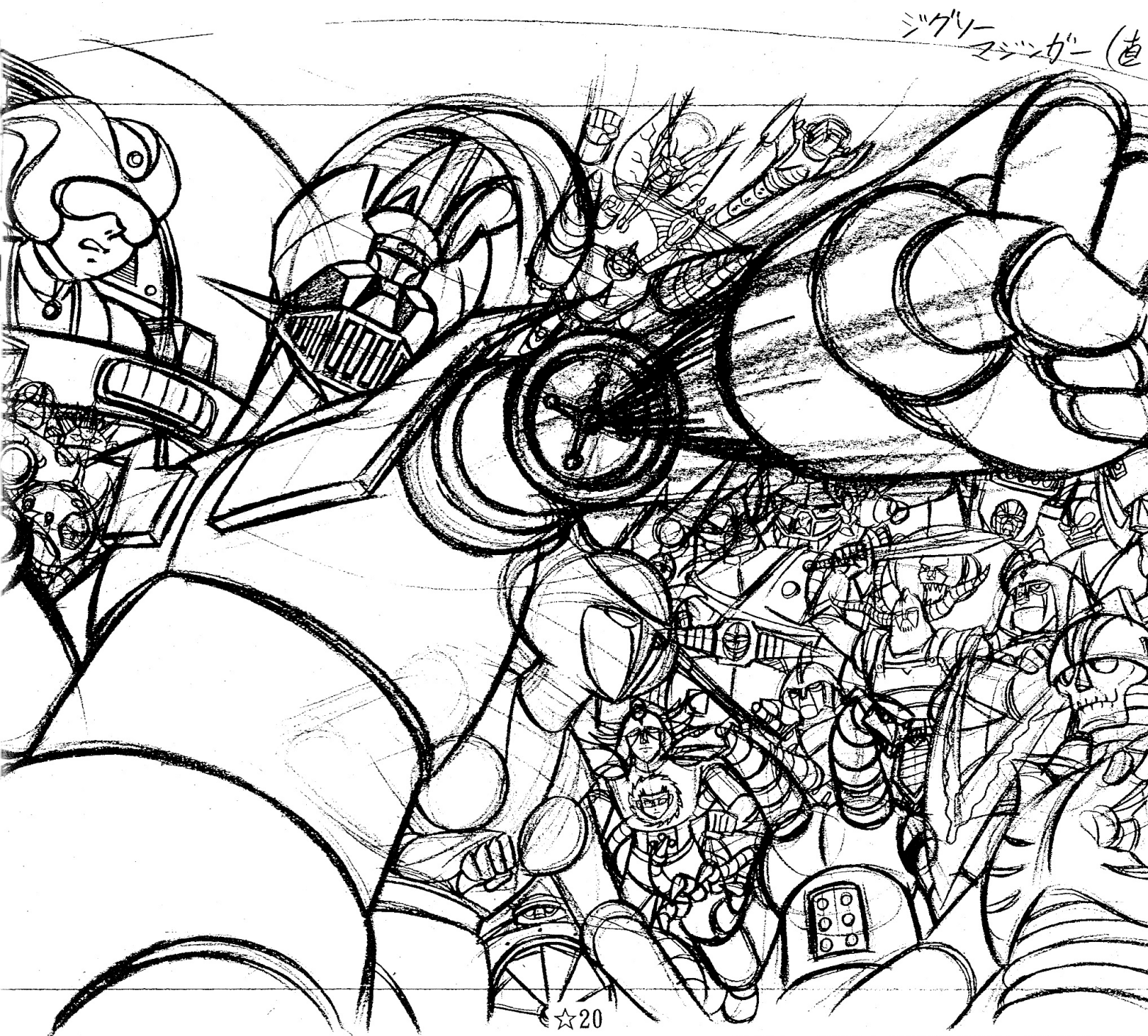
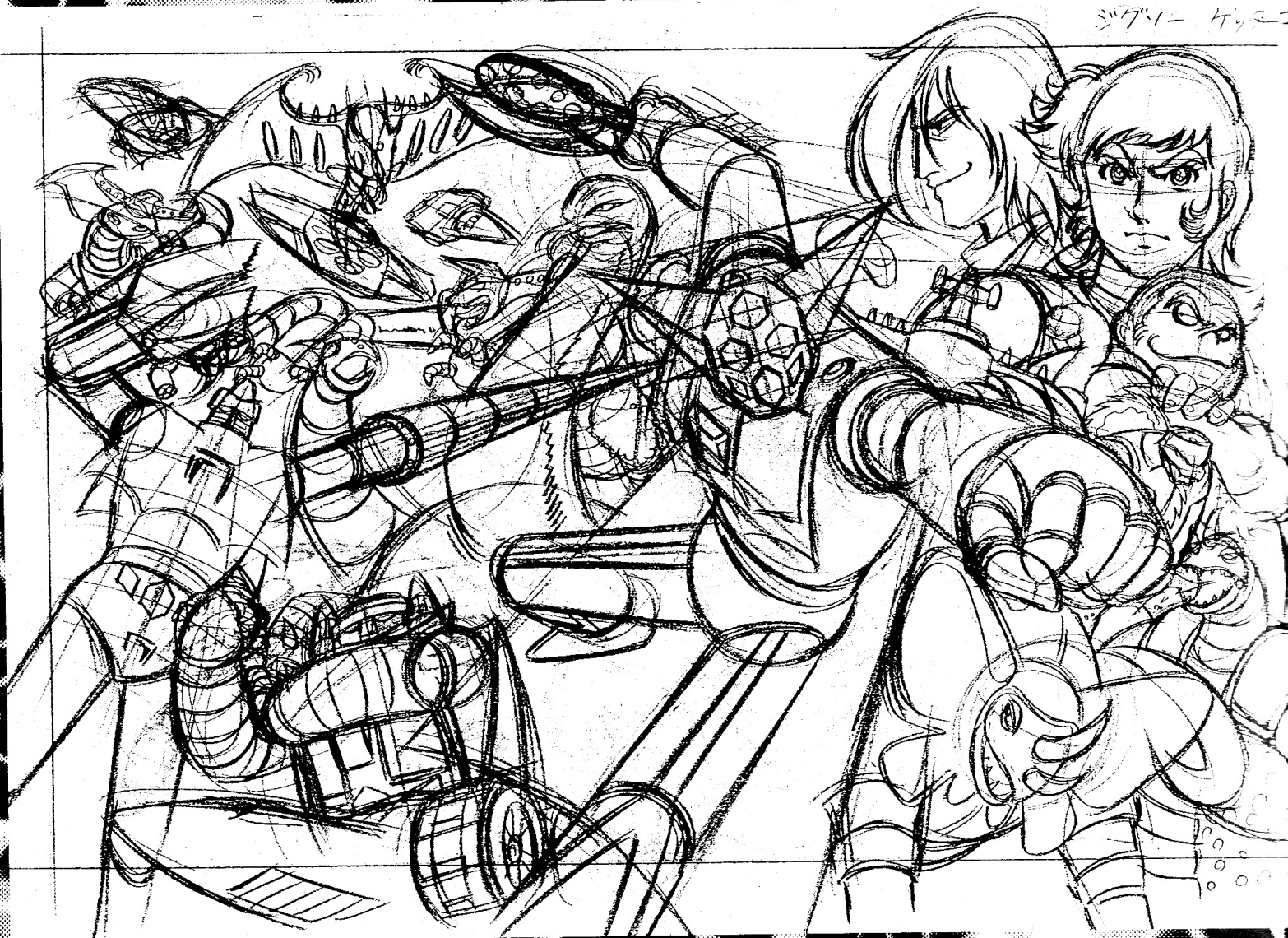
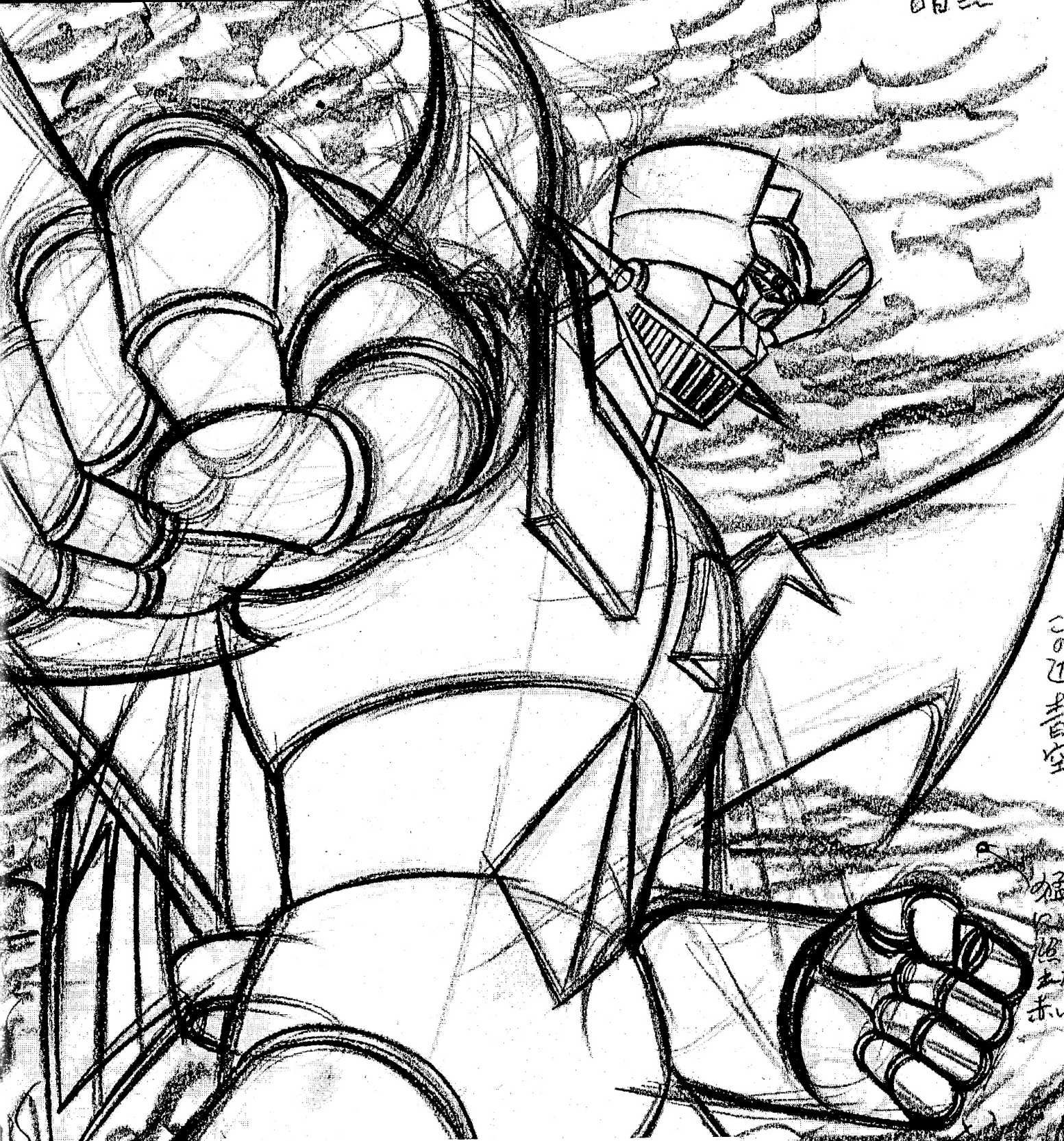
これは、アマダ印刷から発売されたマジンガーZのトレーディングカードで“アタリ”カードが出るともらえる“鋼鉄のカード”用に描いたマジンガーのラフ画です。見ての通りオープニングでタイトルがインサートされる場面をイメージして描きました。

この２点はバンダイ・カードダスのプレゼン用に描いたラフです。最終的に下の発進シーンを描写したものをフィニッシュし提出しましたが、発売が決定したかどうかは解りません。是非ともシリーズで発売して頂きたい。
この辺青空
富士山
青空

こちらは、去年発売され大盛況を博した全長１９０㎝の巨大カレンダーのラフ原画並びにアイディアラフの２点です。ご購入された方は御存じの通り右側の物が商品となり発売されました。

ためしに
ムネも小さく
してみました
そして、このグレートは巨大カレンダー第２段として発売される物のラフ画と修正ラフです。絵的には一発ＯＫをもらい、これをフィニッシュした物が商品となり皆様の手元に届きます。
☆7

ここから暫くは私にとって、かなりの大仕事であった東映スーパーロボットカレンダー９８年版に使用したラフ画とフィニッシュ原画をすべて掲載致します。この見開きにある２枚の絵はデジタル彩色を施し、最終的に１枚に合成して使用しました。後のものはすべて１枚描きで普通に彩色してあります。フィニッシュ画の中で線が途切れていたりする部分は、１枚描きのため色トレスする箇所を開けなければならないためです。その辺はラフと見比べていただければどこが色トレスなのか解ると思います。とにもかくにもカレンダーと同じ原寸サイズで描かなければならなかったため、とてつもない労力を有しました。そのかいあって大好評のうちに売り切れたそうで、今ではプレミアも付いているとかいないとか…。

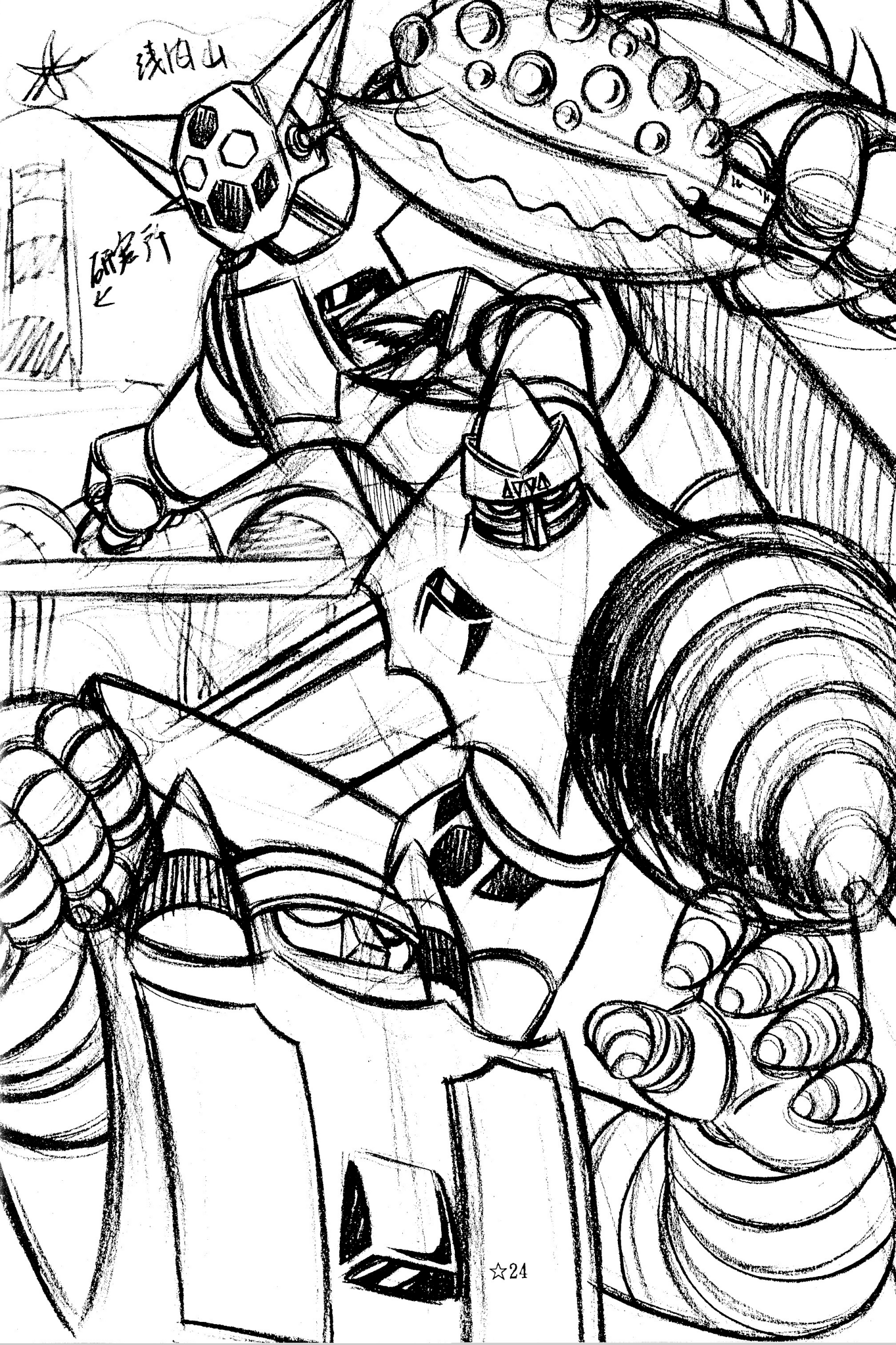
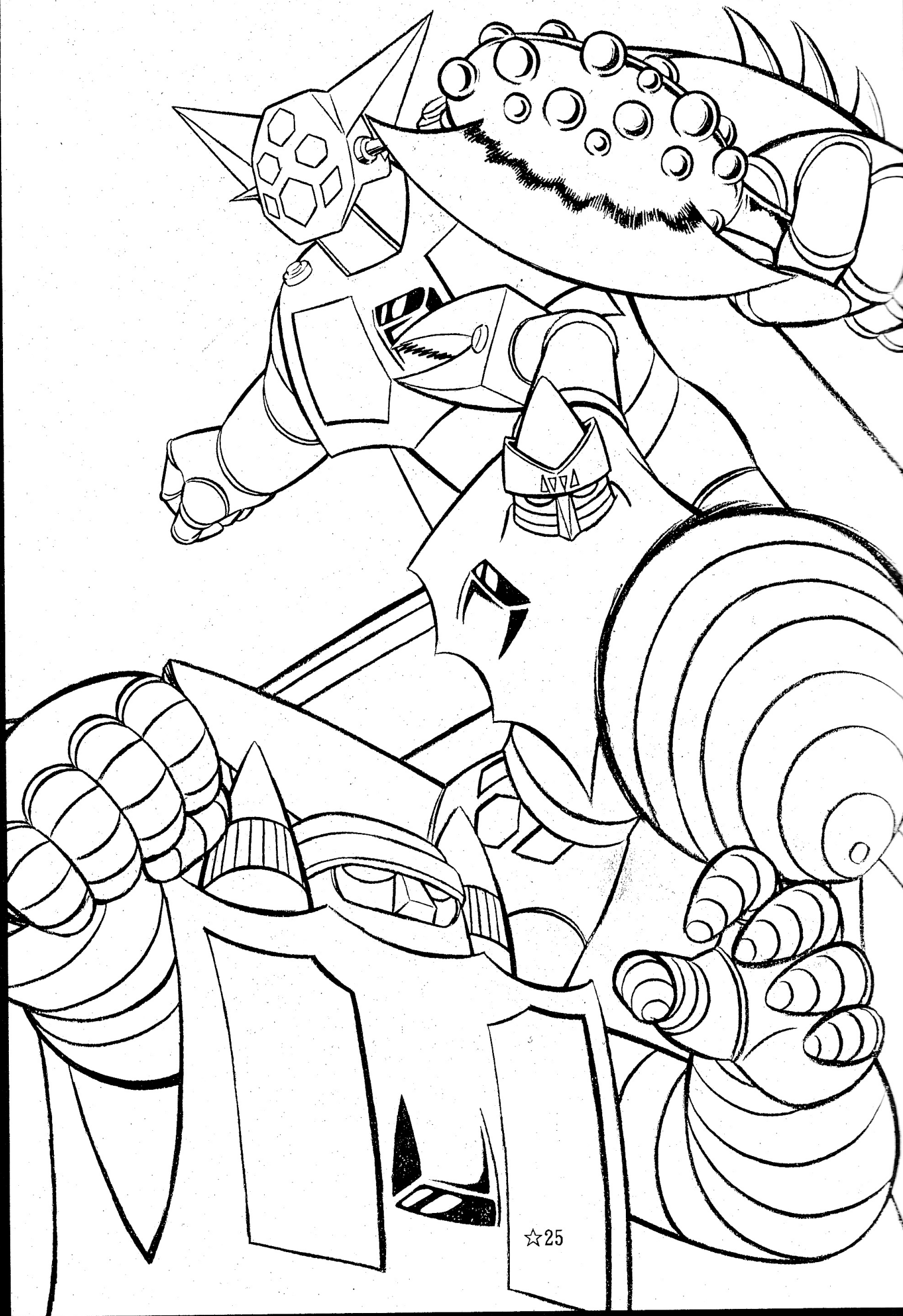
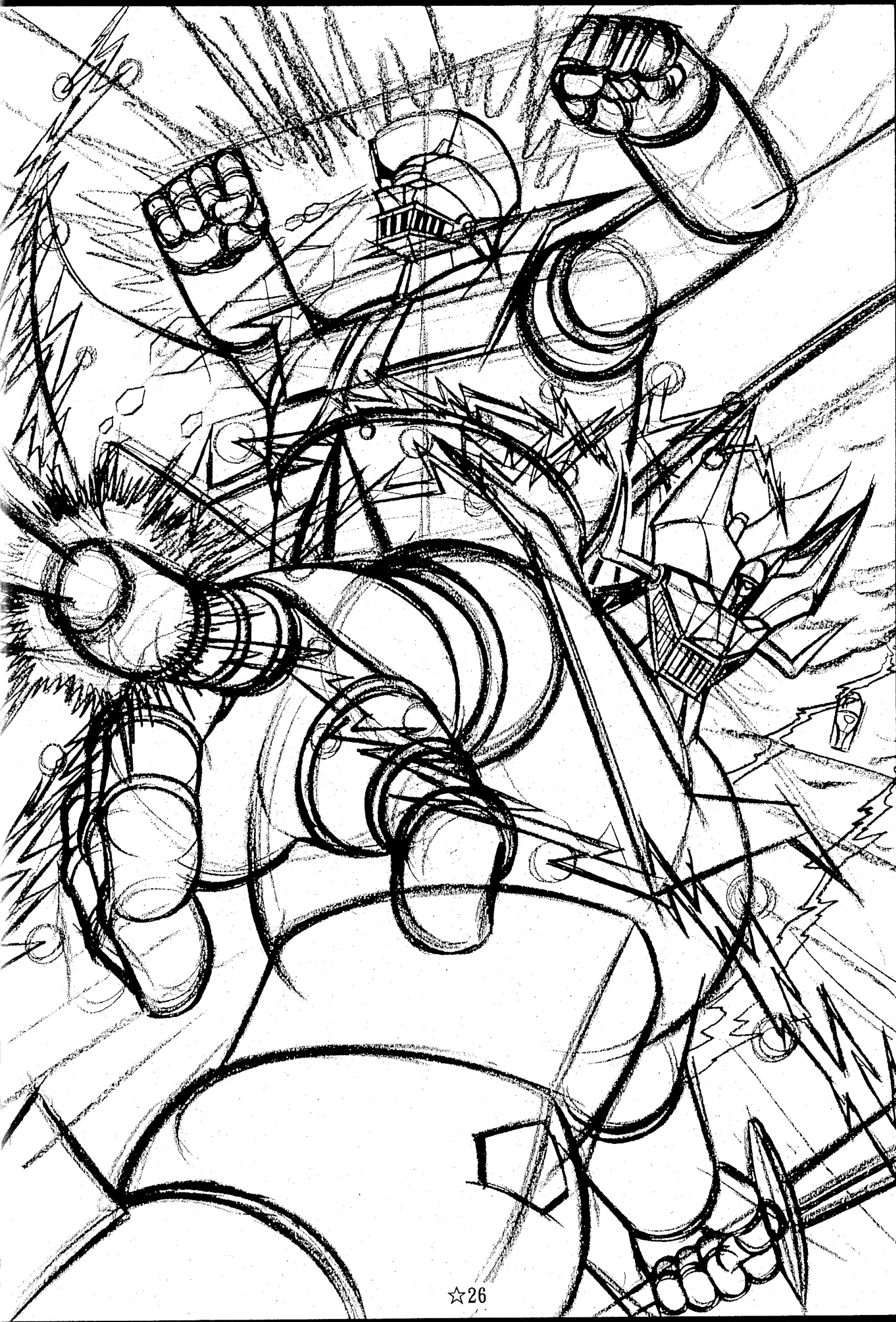
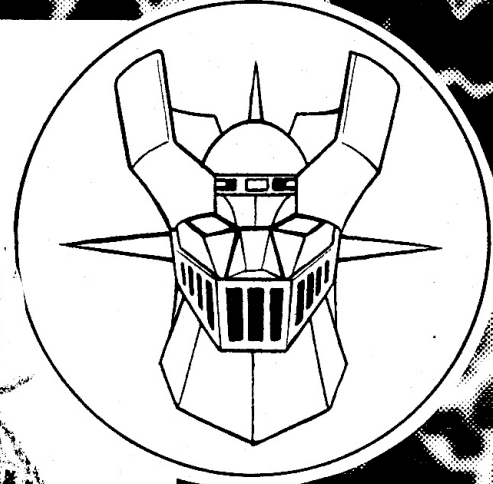
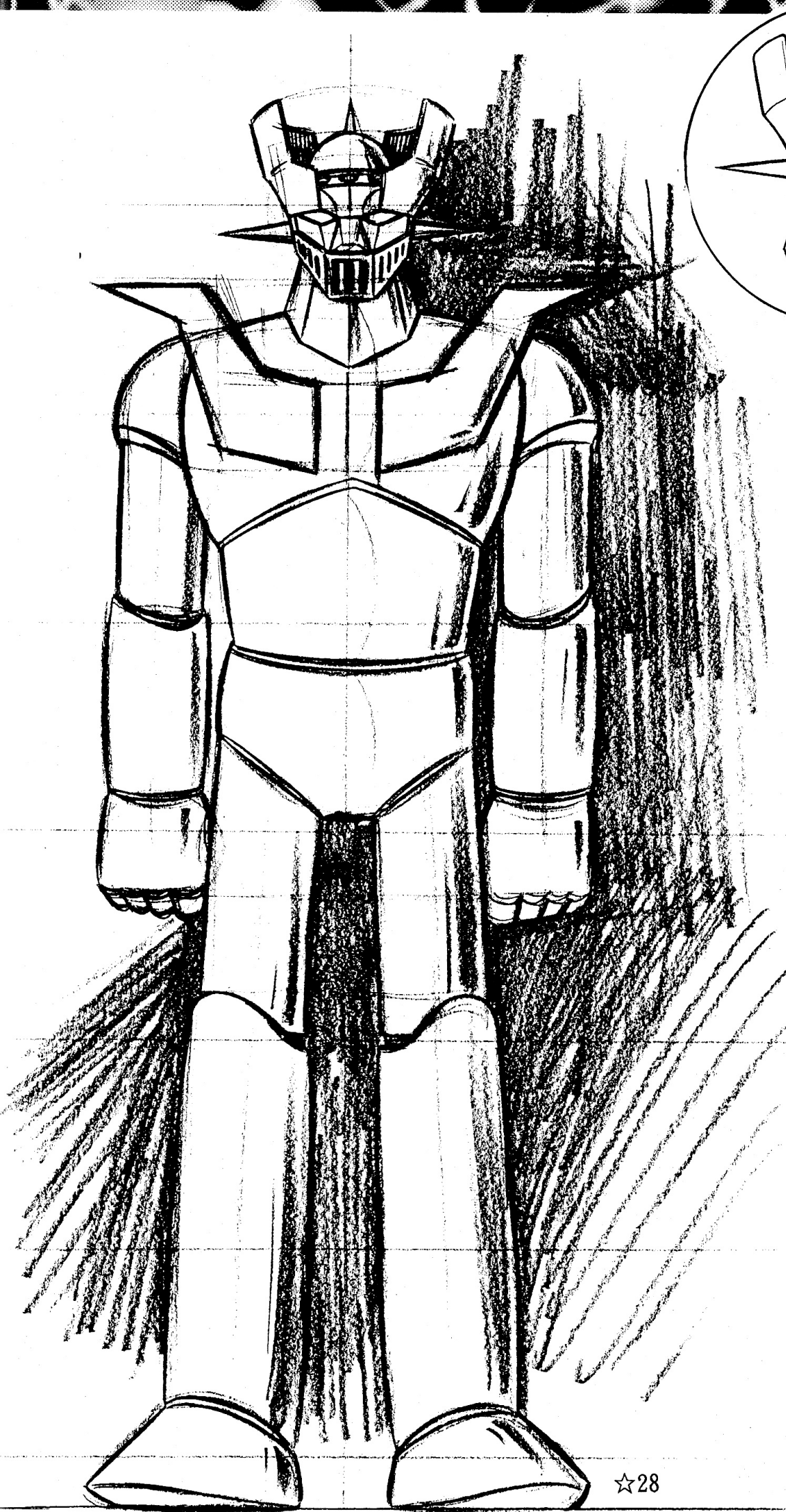
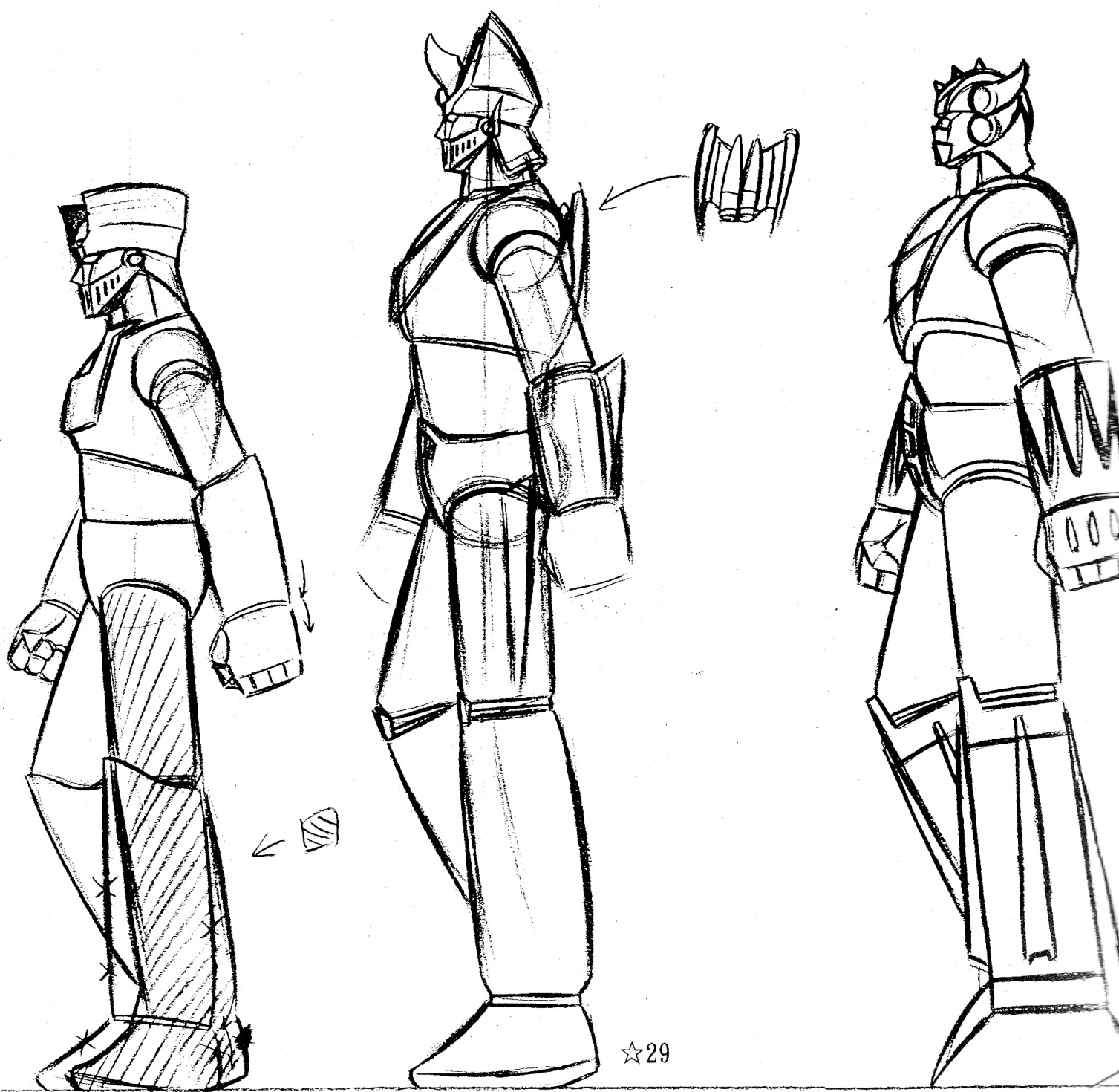
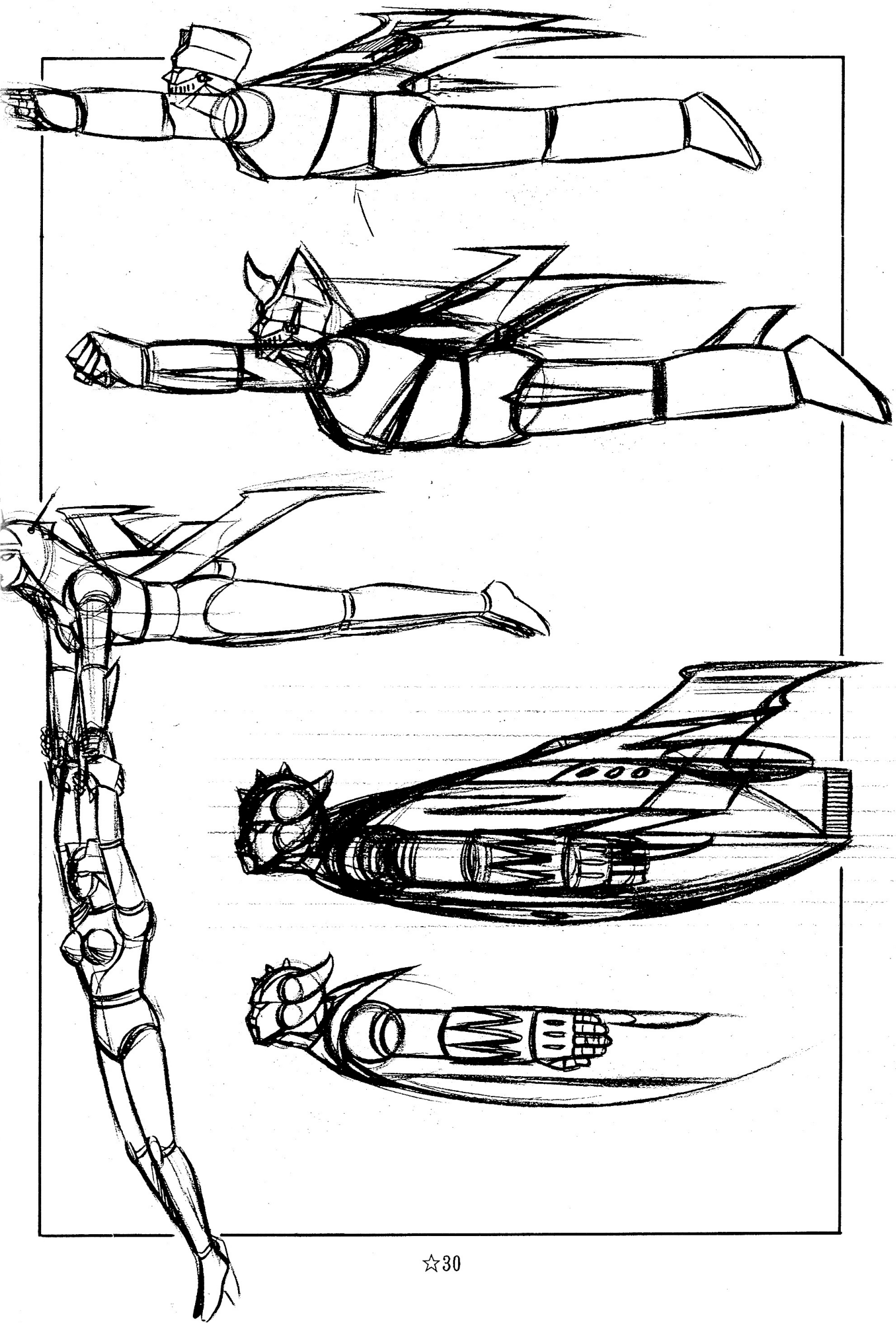
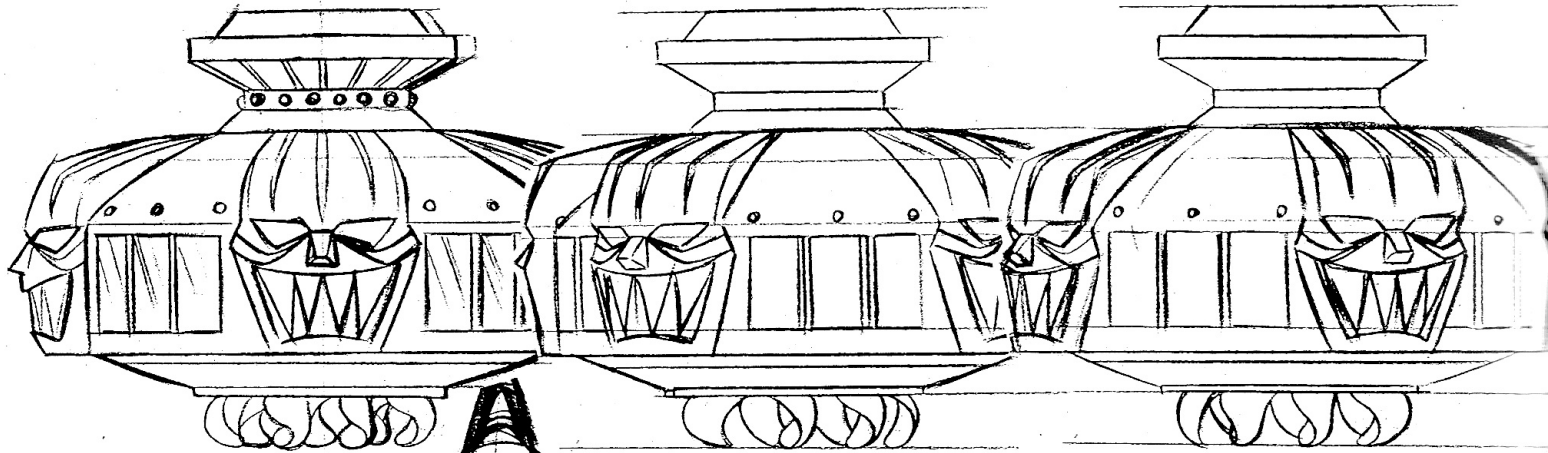
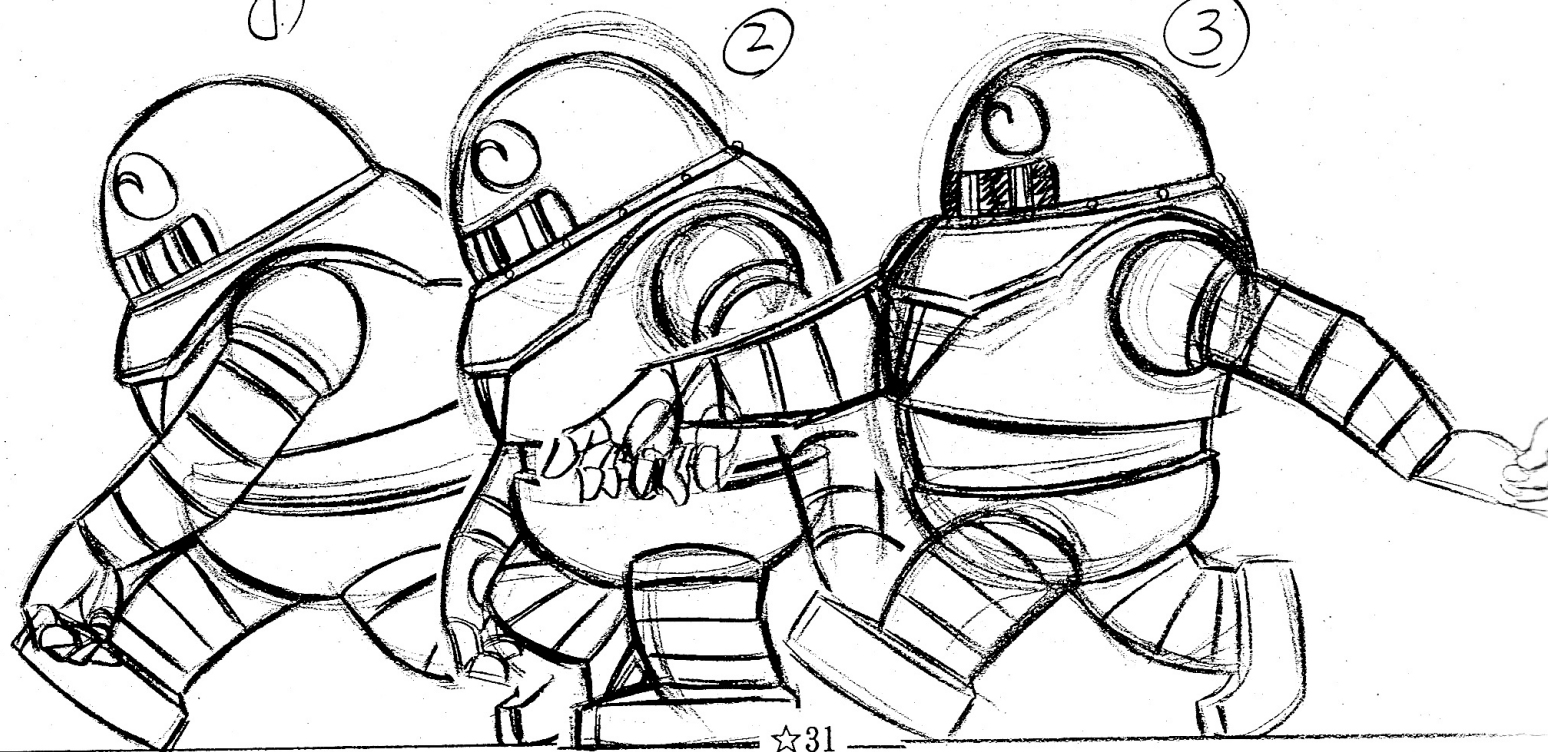
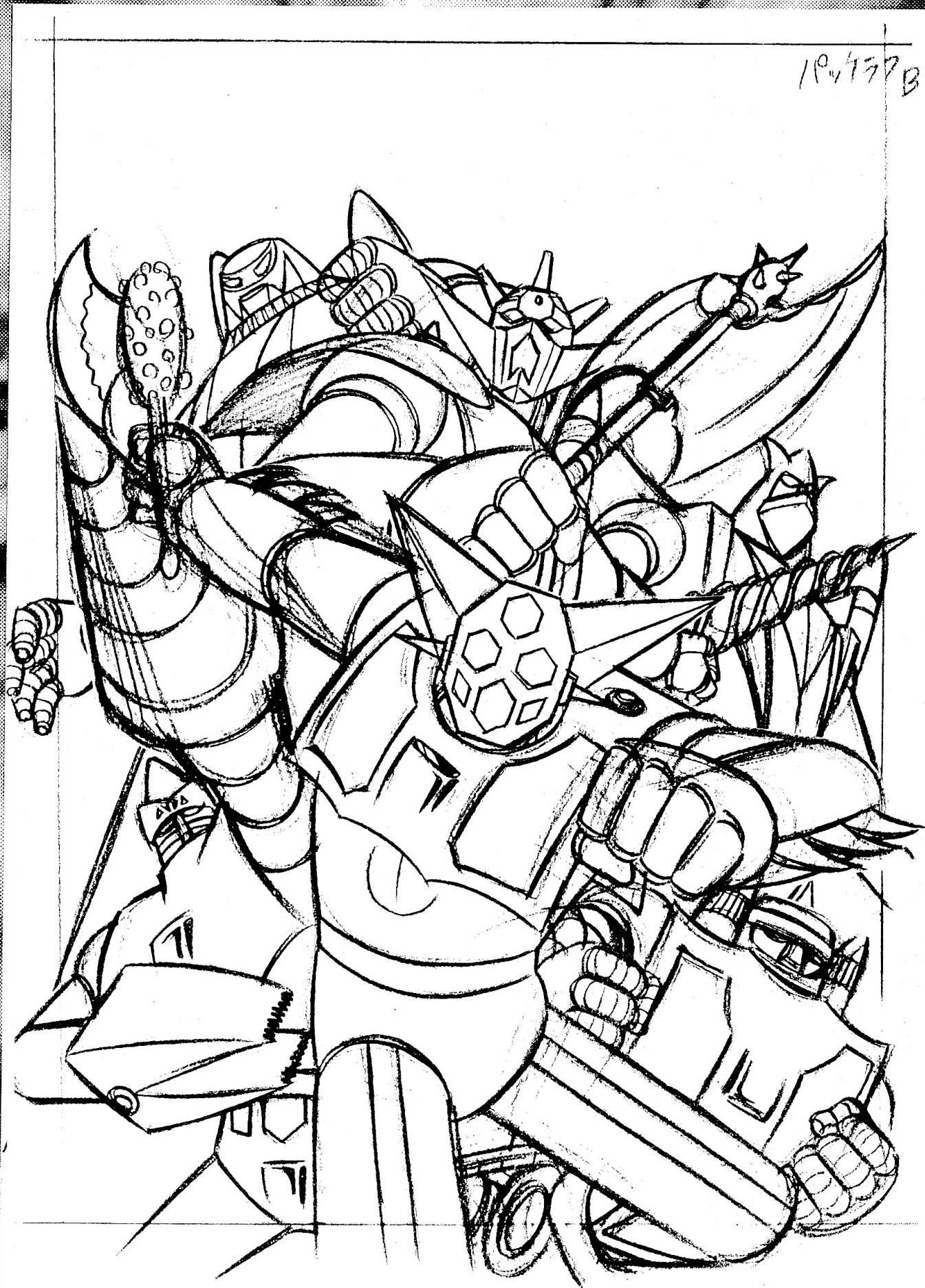
とくずれた
ビル

タグヤ (全4枚)
一応 チェック お願いします。

ブレーン
コンドル

ここと、次ページにあるのは、アマダから発売された３００ピースジグソーパズルのマジンガーＺラフ原画とゲッターロボのラフ画＆レイアウトスケッチです。マジンガーＺの方はこれで一発ＯＫをもらいフィニッシュしています。機械獣が前ページに掲載したカレンダーに描いたモノとダブらないようにしつつ個人的な趣味に走った奴らを描きたいという気持ち比例せず少々てこずったんです…。そういう意味ではゲッターロボの方が描きやすかったかも味方側のキャラクターが多かったので、バックにどのメカザウルスを描こうかという悩みが少なかったので。そのかわりゲッターチームの三人で多少てこずったかも…人間を描くのが苦手なもんで…。

ジグソー　マジンガー（直

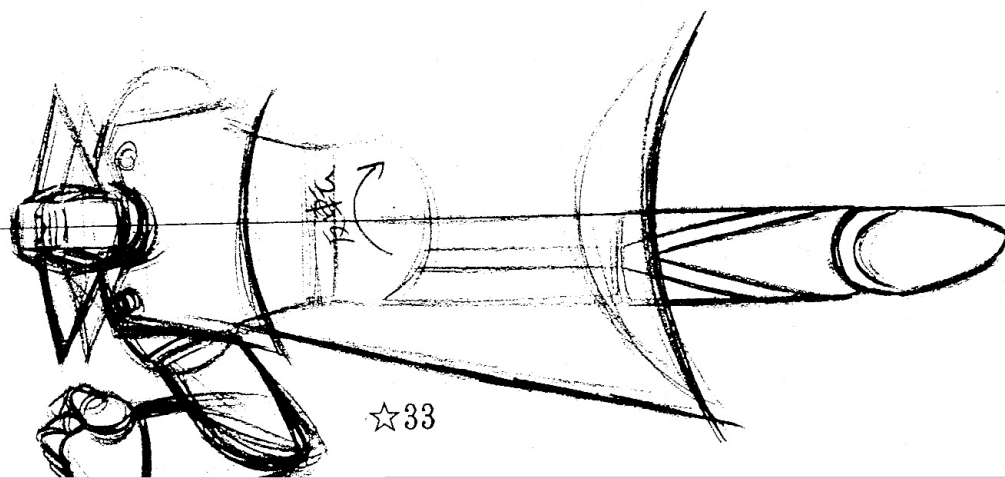
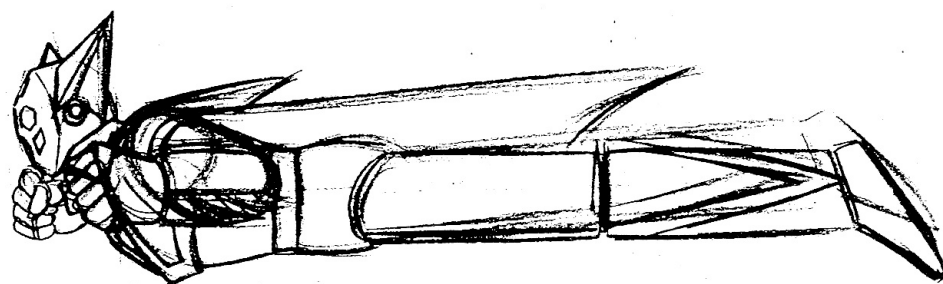
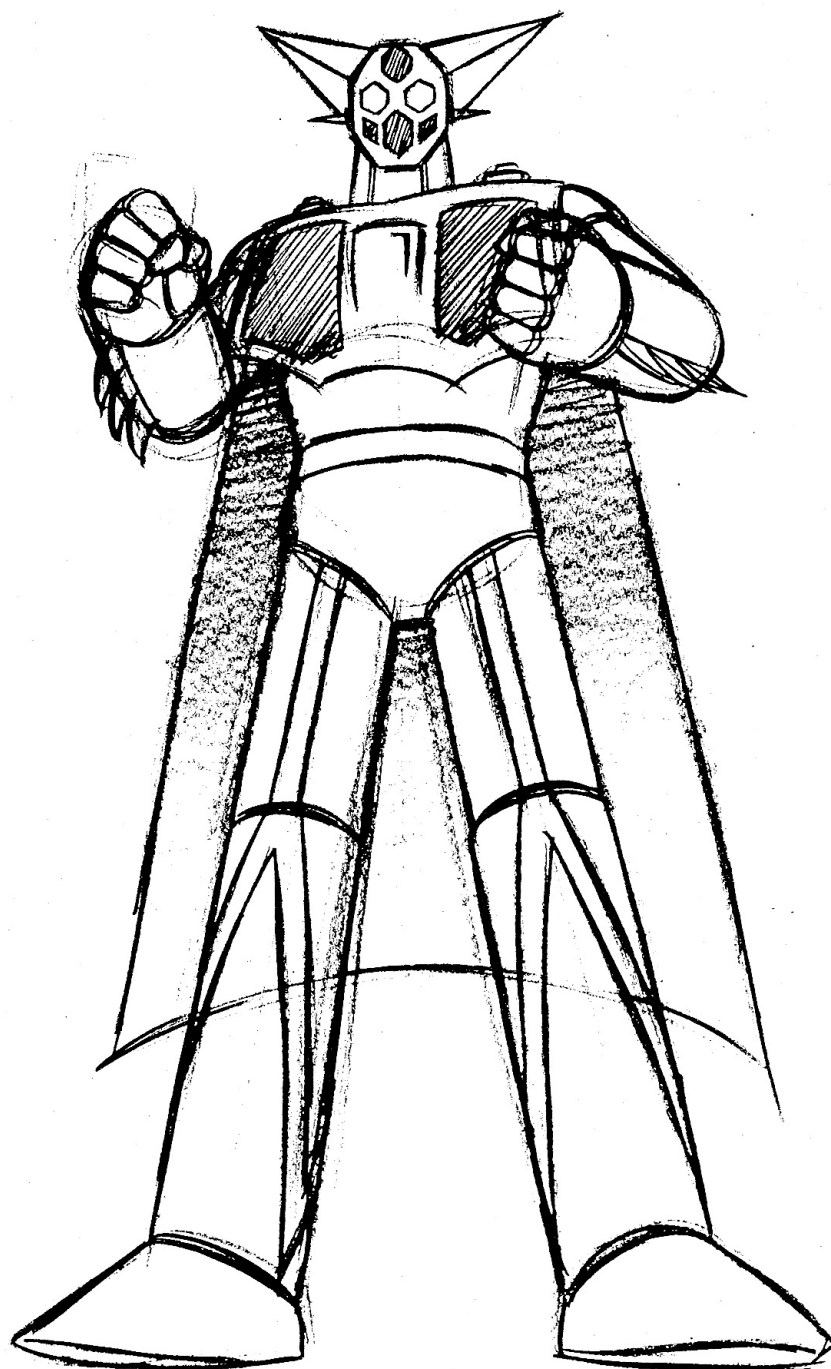
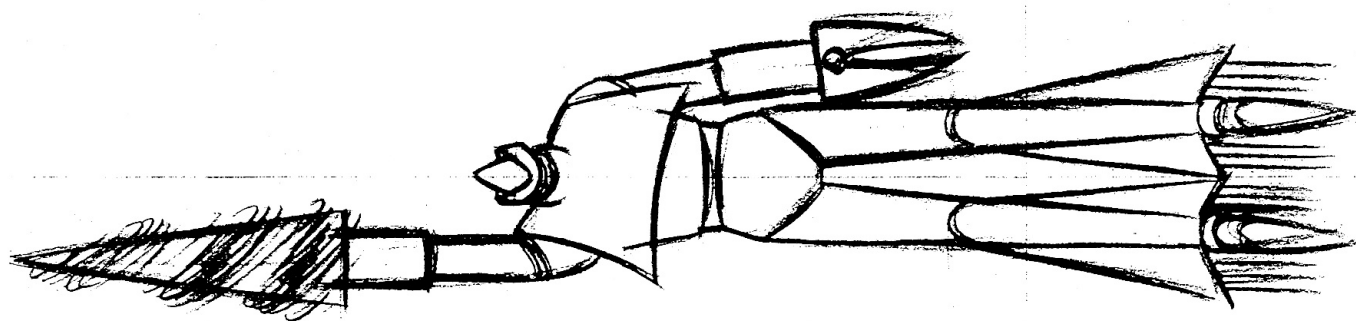
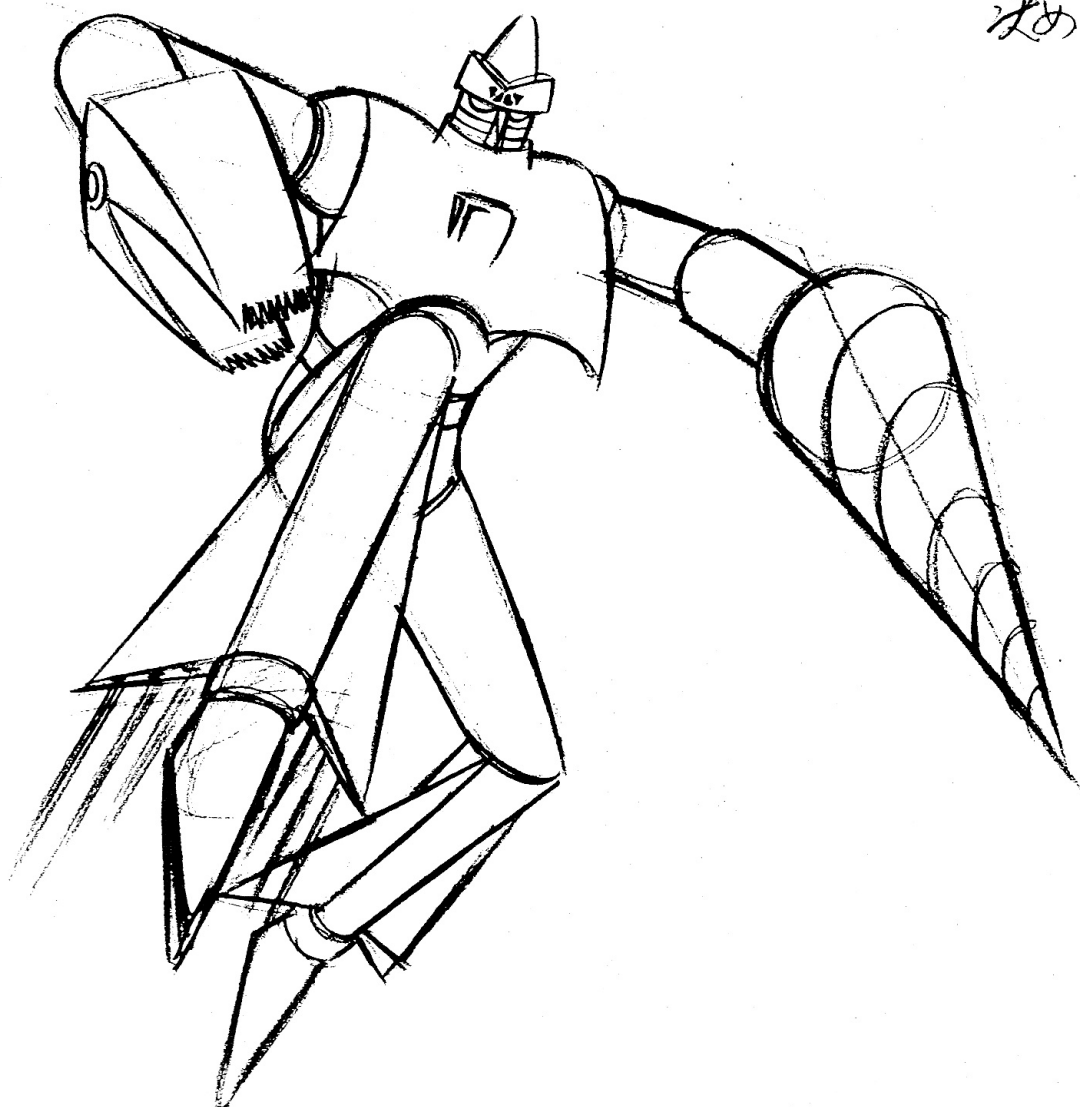
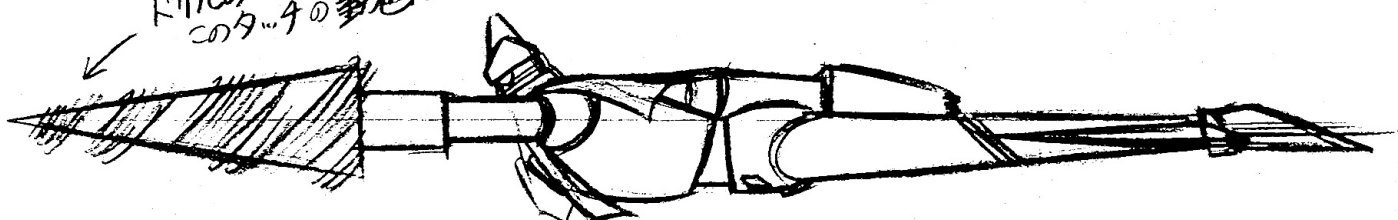
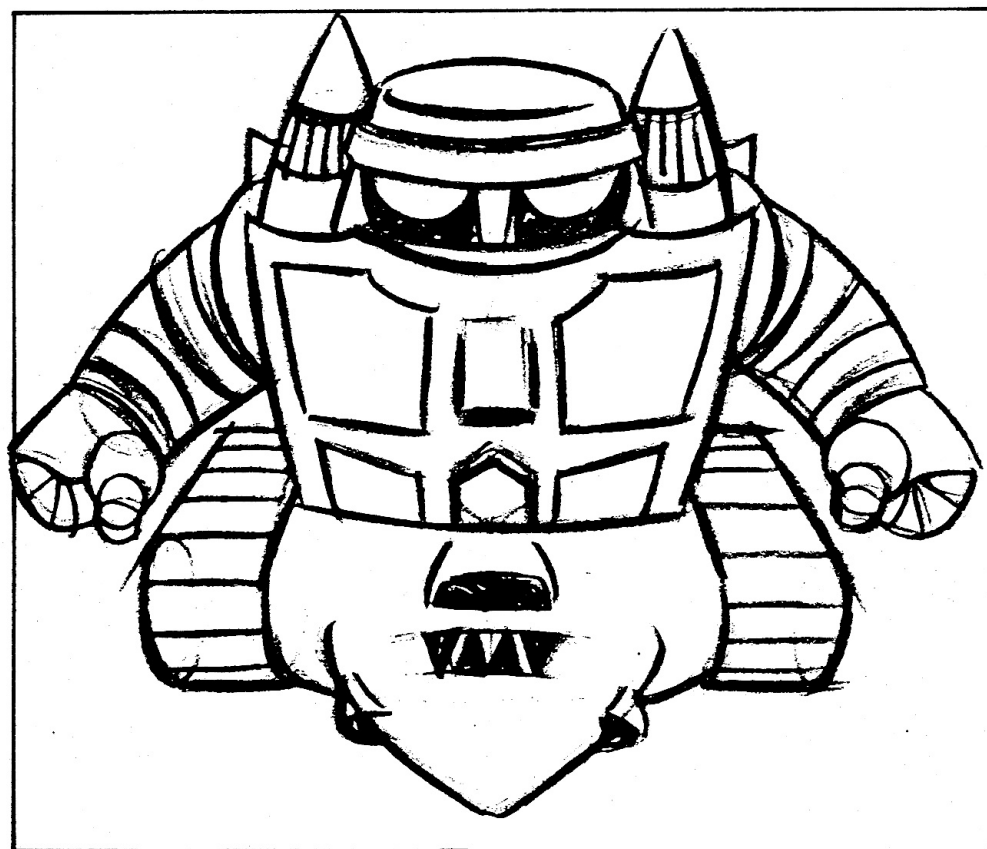
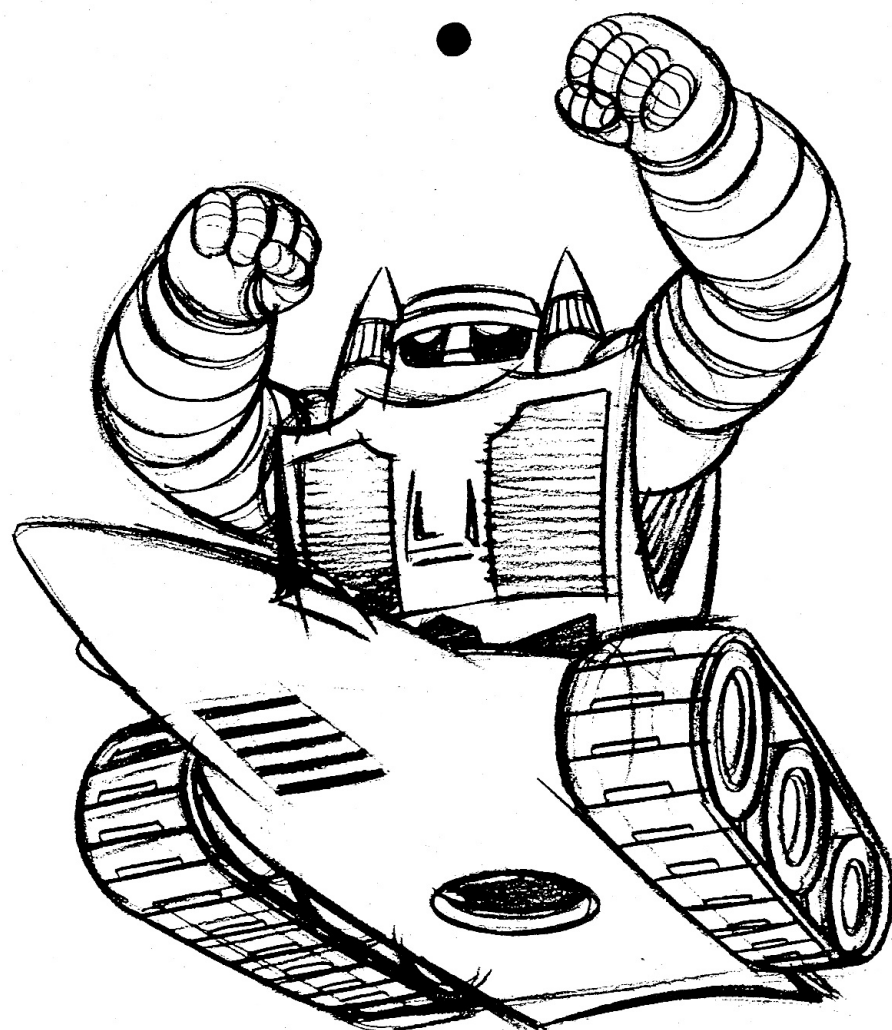
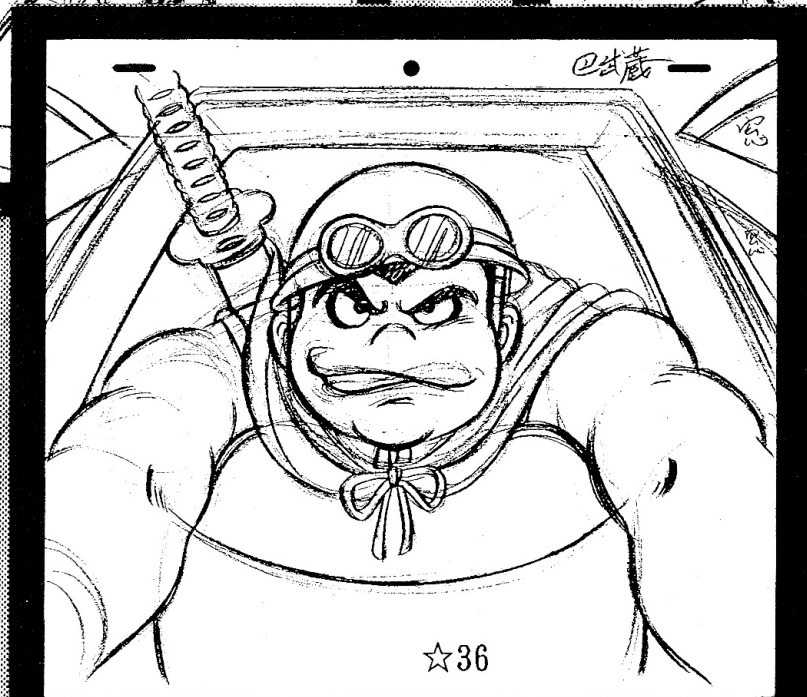
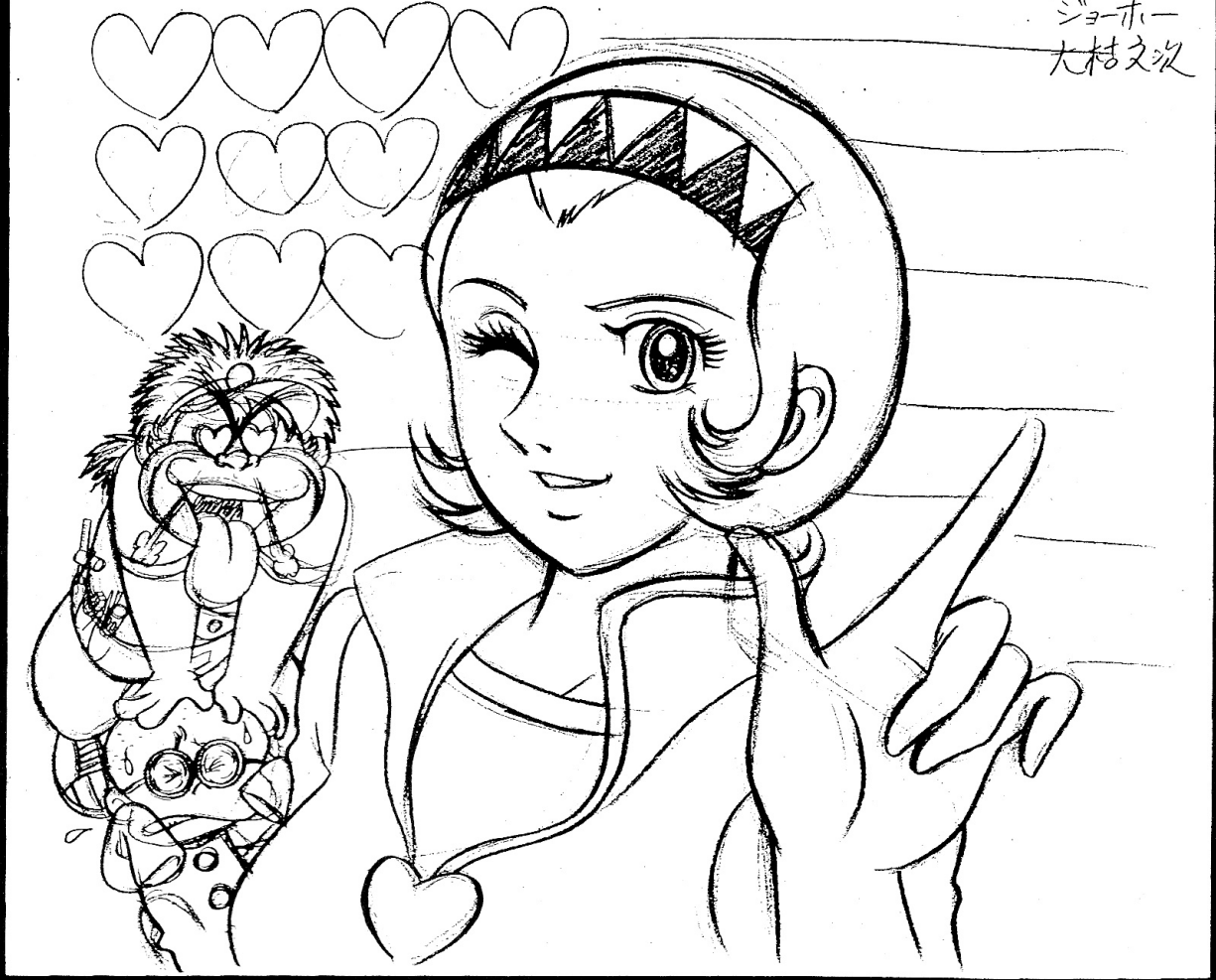
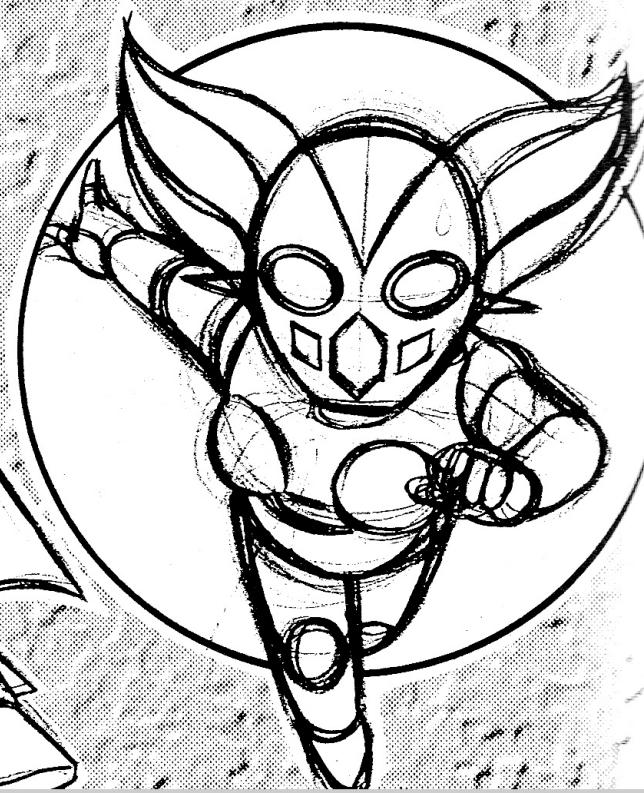
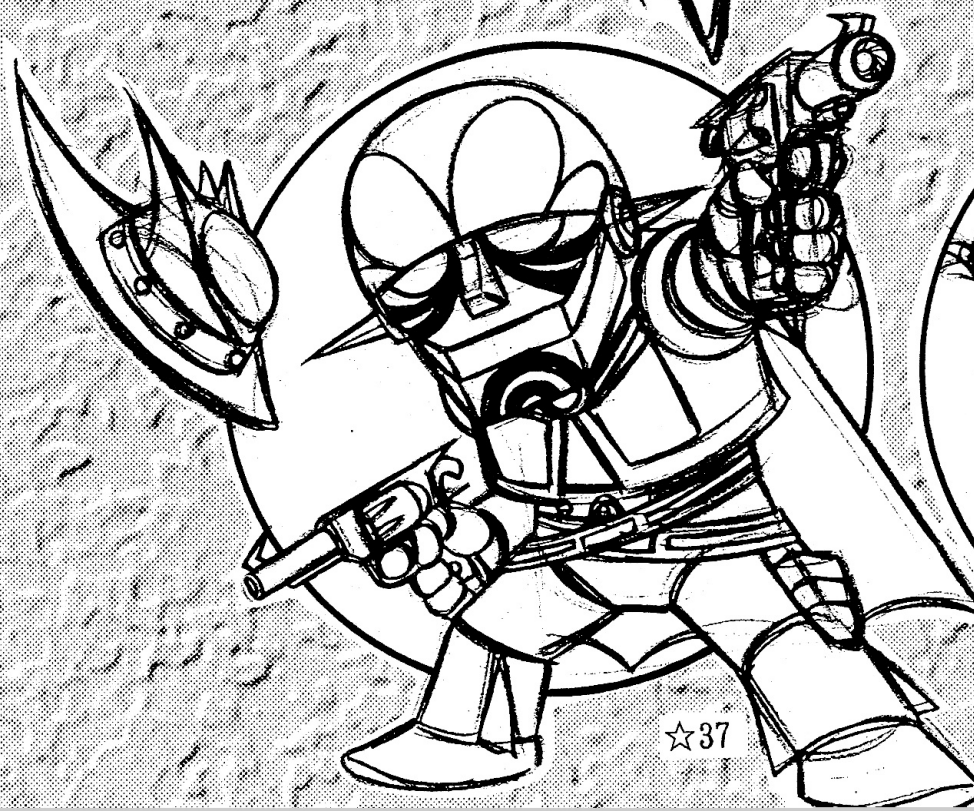
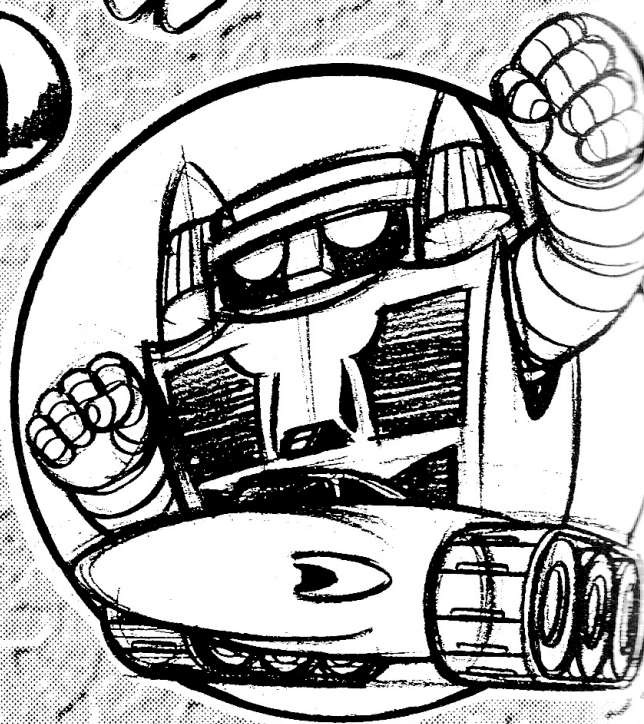
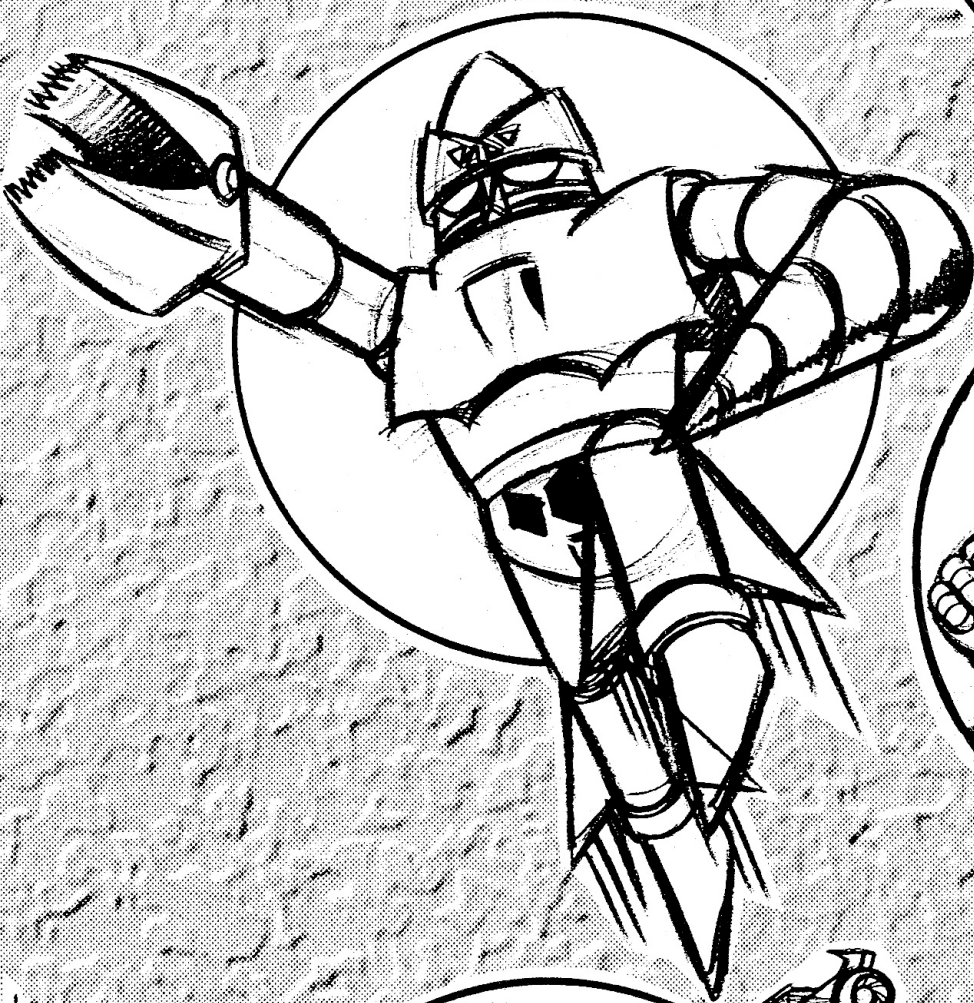
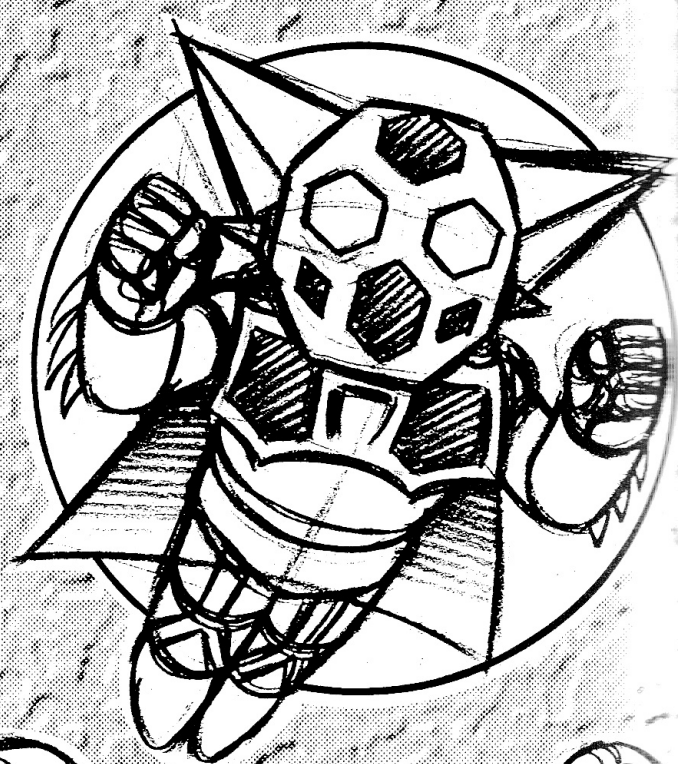
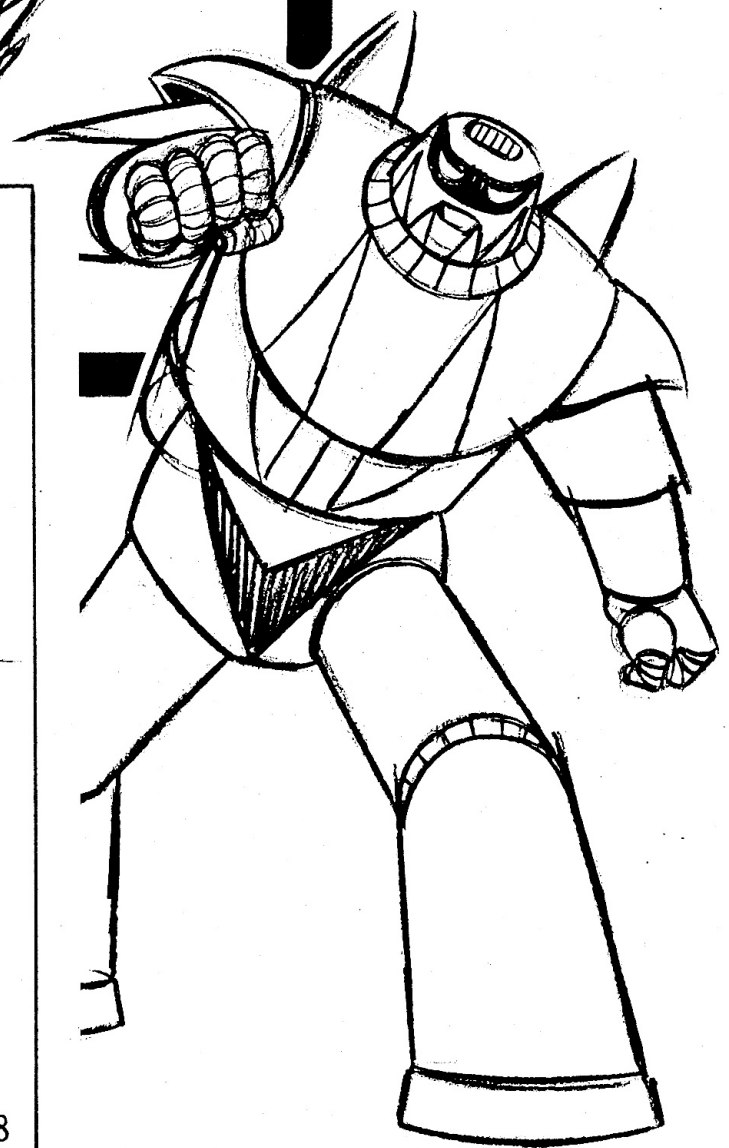
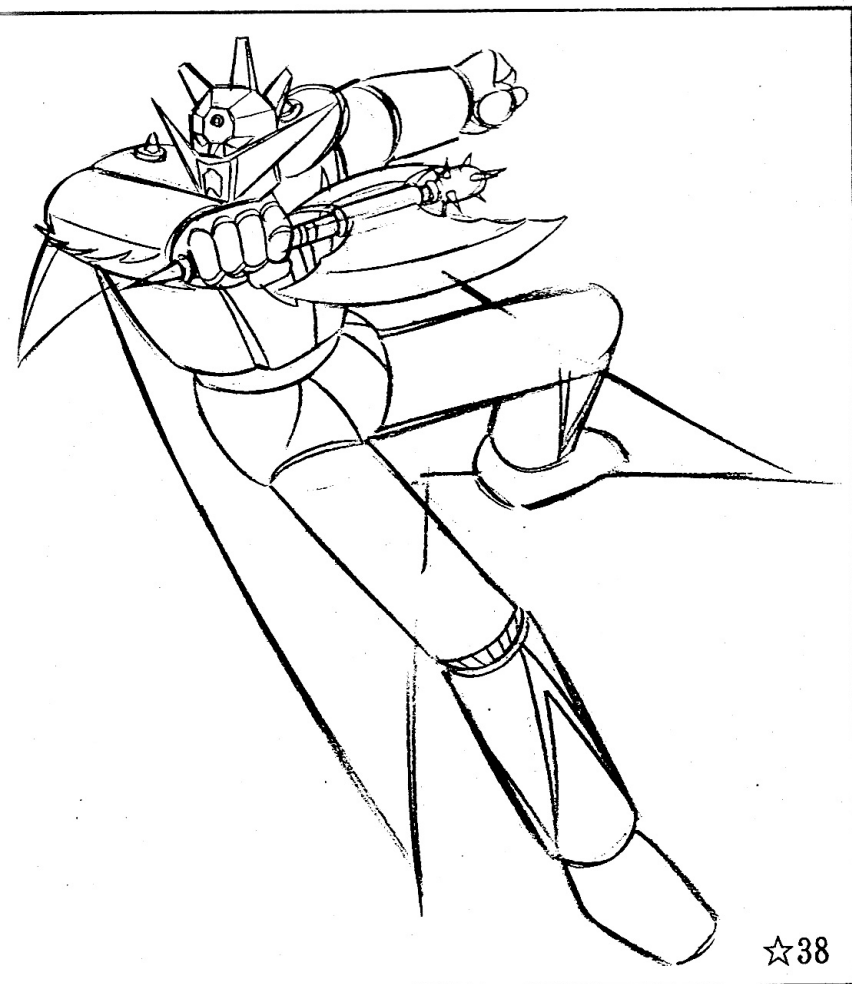
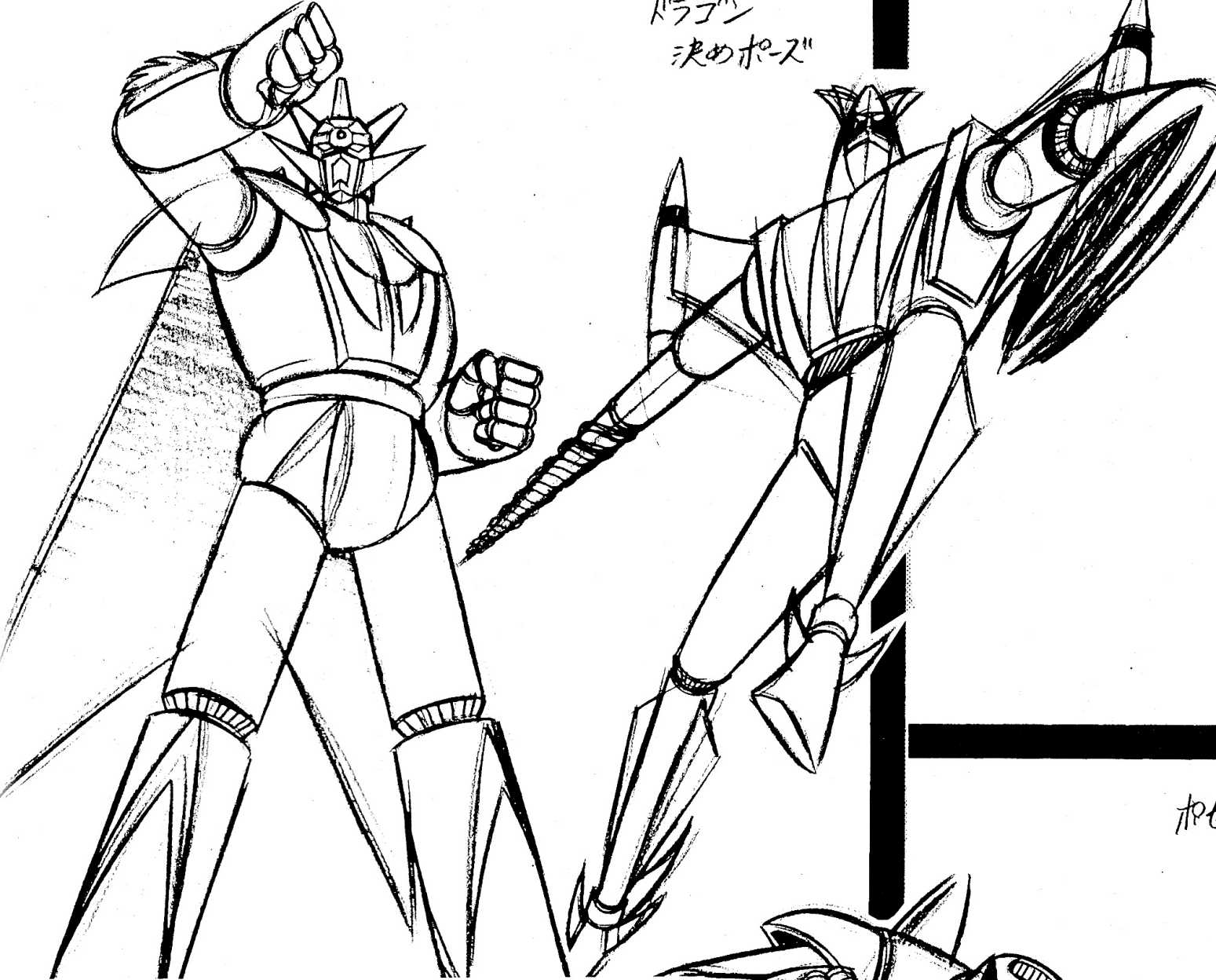
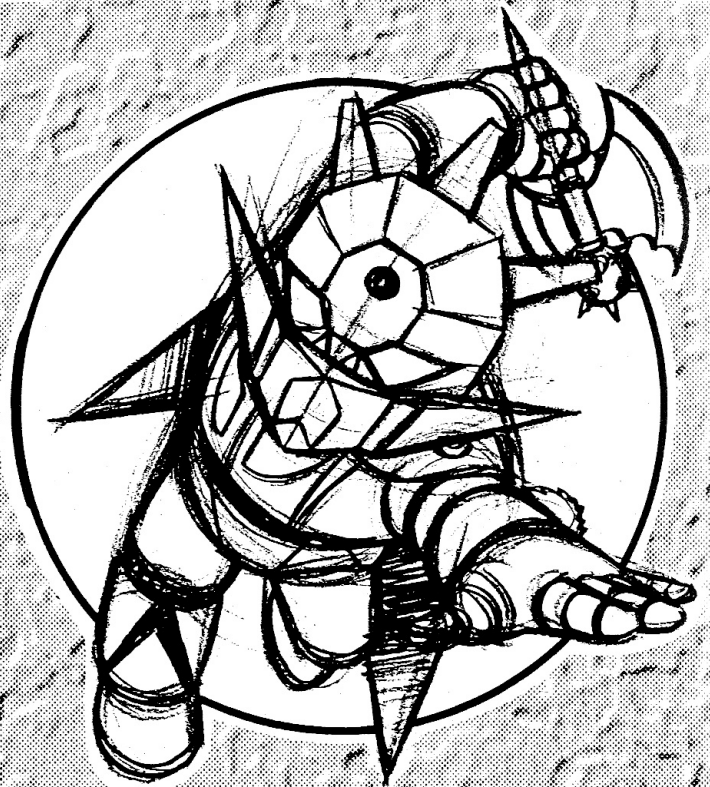
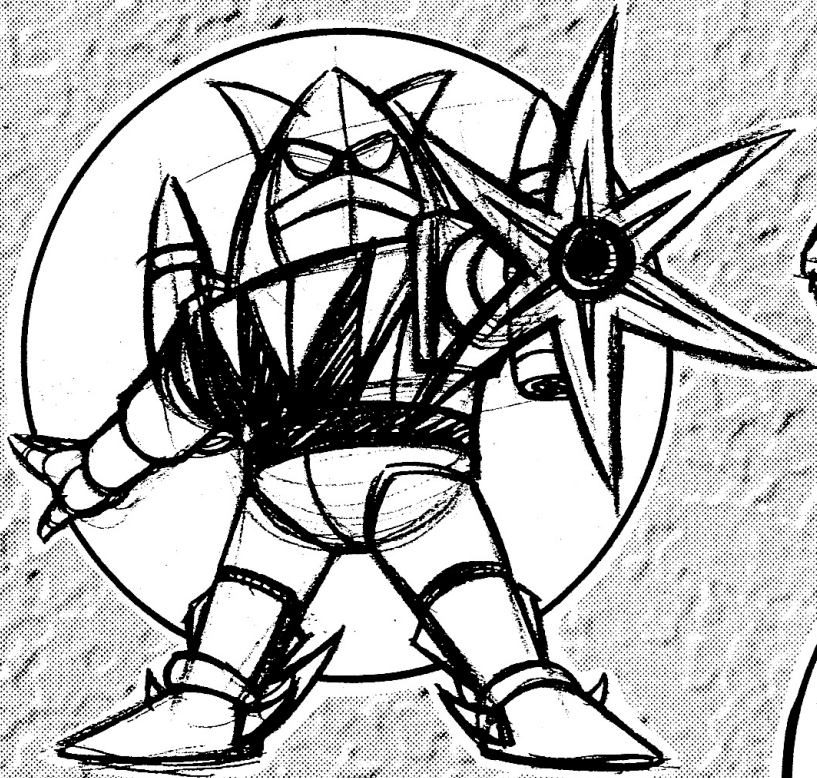
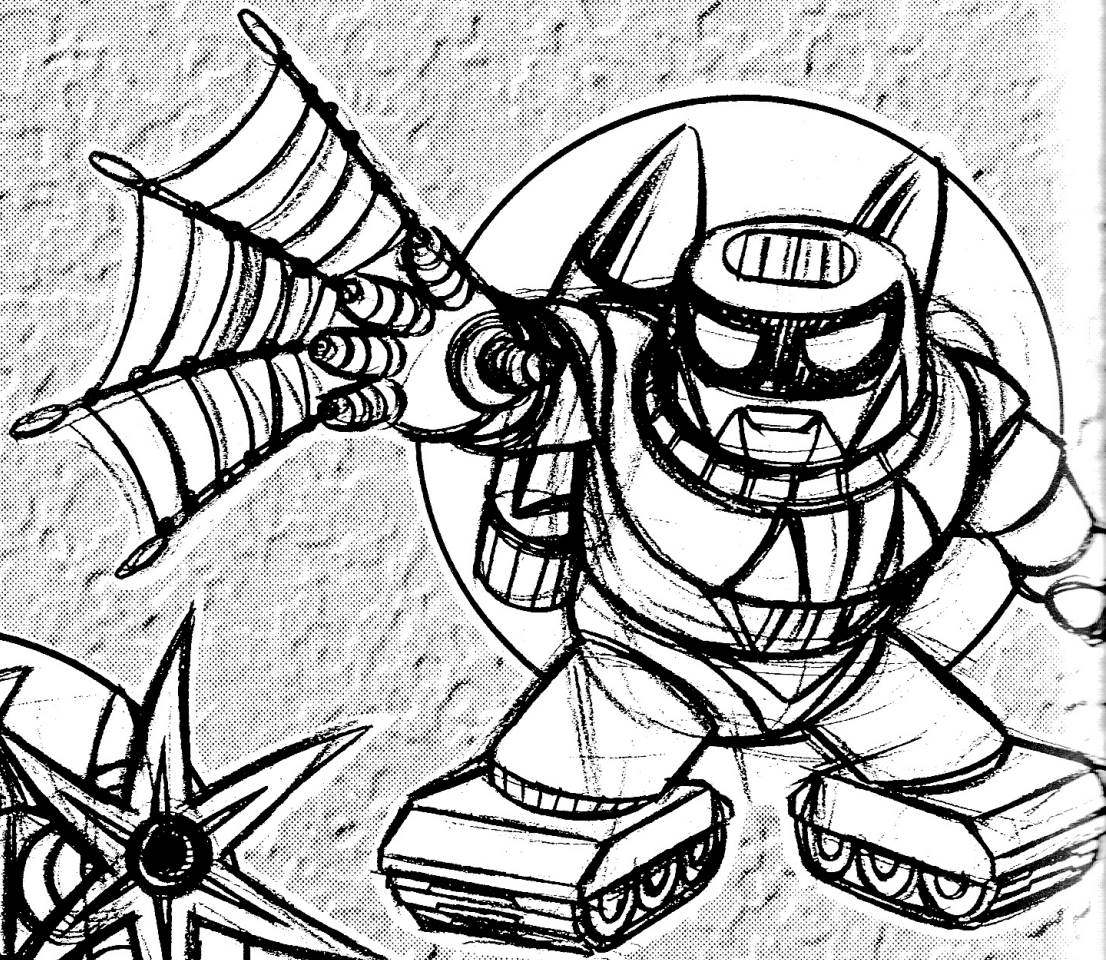
ジグソー

ここから５ページ目までのモノは、バンプレストのゲーム機景品用に描いたマジンガーＺ・ゲッターロボ・グレートマジンガーのラフ原画、フィニッシュ画です。マジンガーＺは見ての通り劇場版の対暗黒大将軍バージョンで描きました。このバージョンのマジンガーが一番一般ウケするみたいですね。ゲッターは三体のロボを個々で見ると良い感じだと思うのですが、全体的に見て三体の比率が同じ位になってしまった事とゲッター３の下半身がまるっきり見えなくなってしまっているのが残念でした。商品的なレイアウトを考慮するとしかたがなかったんですが…。最後のグレートは共演のマジンガーを今度はＴＶ版のキメポーズをイメージし描きました。

研究所

ここからは、東映動画とエレクトロニック・アーツ・ビクターから発売されているマジンガーZのスクリーンセーバー（Ｗｉｎｄｏｗｓ９５専用）に使用した原画のラフを掲載します。これは、かなりの作画量で、しかも仕事として始めてマジンガーZを描いたという記念すべき作品です。そして１５年ぶりに動画を描かされた…といってもほとんど当サークルでもおなじみの“北斗レイ”氏に発注していますが…。彼女には、他にもこのソフトに登場する人物キャラをすべて作画してもらってます。

まず、右ページの前身図はタスクランチャー用のラフ原画で丸い囲みの中の顔はそのラフの顔のみ修正しフィニッシュしたものです。下にあるマジンガーZ・グレートマジンガー・グレンダイザーの三体横歩きは実際のソフトにおいて“中割り３枚”の動画で動きます。尚、この動画を作画してくれたのは先程の北斗レイ氏です。そして次ページの横っ飛びはスライドなので動画は無し、グレンダイザーは下に修正ラフを掲載。さらに次々ページのミケロス・暗黒大将軍そしてボスボロットのディフォルメタイプはスクリーンメイト用に描いたモノ、こちらは暗黒大将軍を含め、すべて動画がありこれも北斗氏の作画によるものです。（ミケロスには苦労したらしい…）

①
②
③

ここからは、同じくスクリーンセーバーのゲッターロボを紹介致します。まずこのページに掲載したのはパッケージのラフ画で実際にはロボとG別々に作画してます。隣とその次の見開きにあるのはタスクランチャー用のキメポーズと飛行ポーズ、3のみ飛行ポーズは無く(当然)動画で画面を縦横に動き回り、ゲッターミサイルを発射しまくるという作画をしましたが、今回はページの都合上はぶきました。かわりにメイト用のディフォルメタイプを掲載しています。

パッケラフB

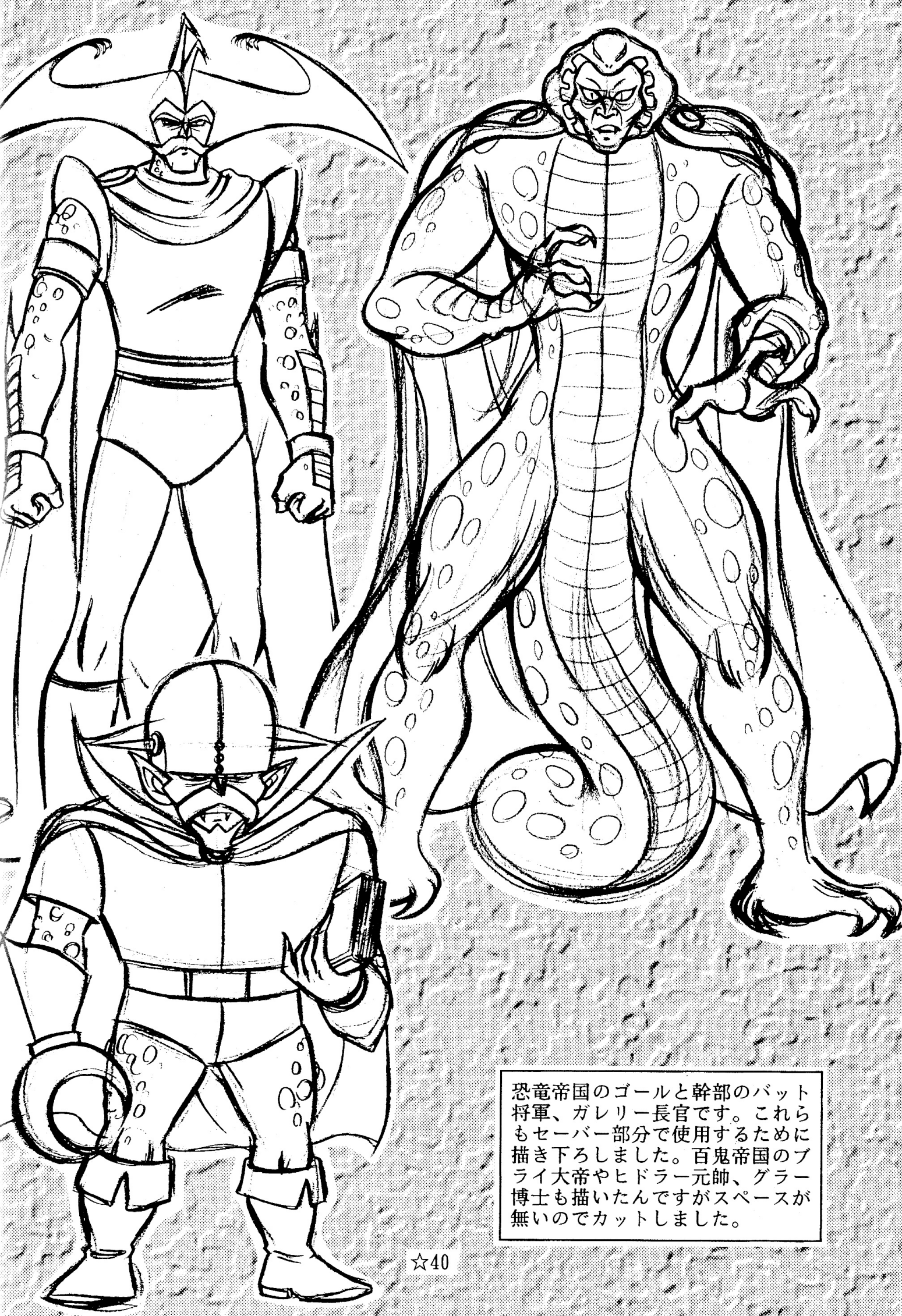
セイバー
ゲッター1
決めポーズ

ゲッター2
決めポーズ

ゲッター3
決め
ポーズ

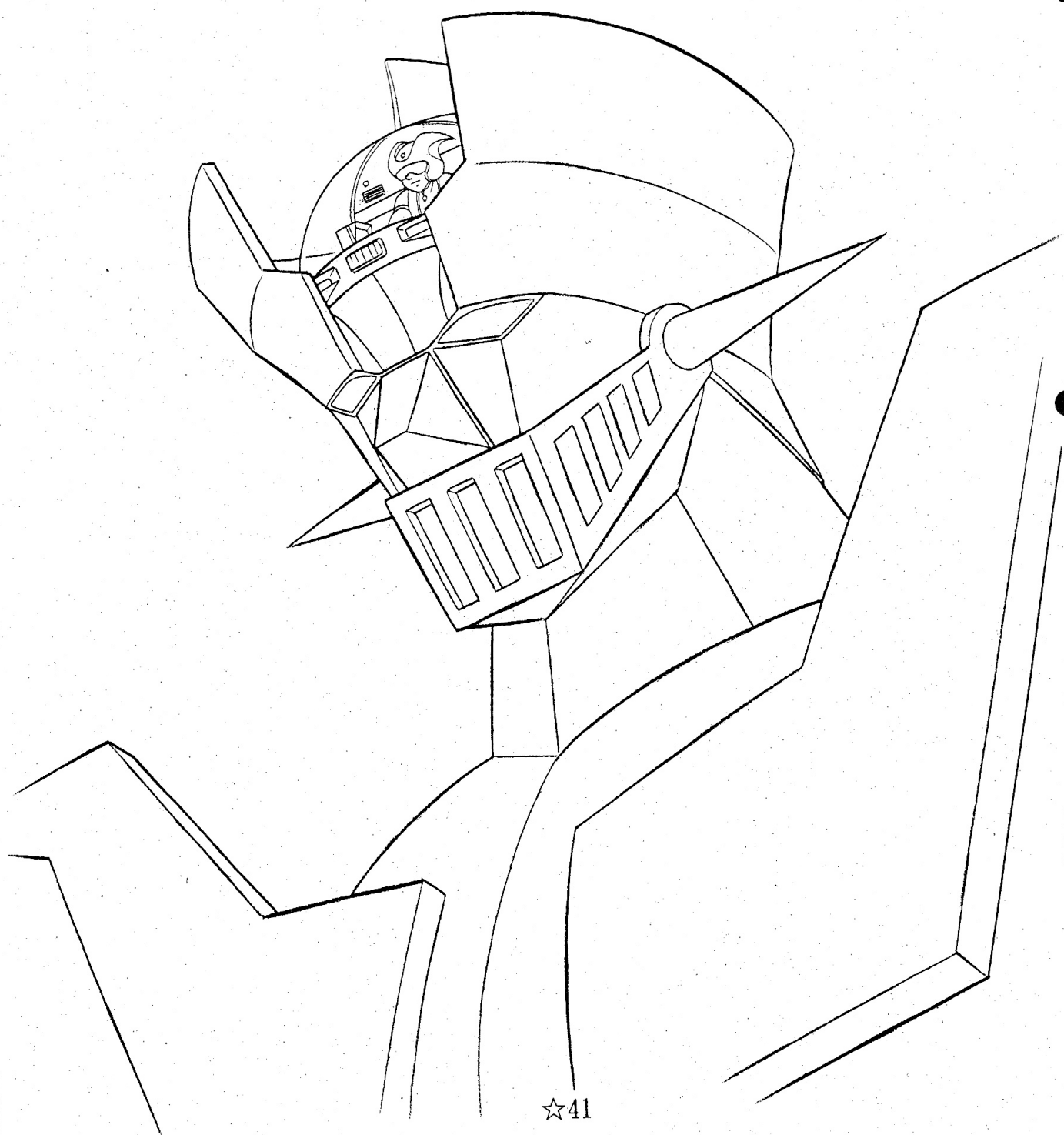
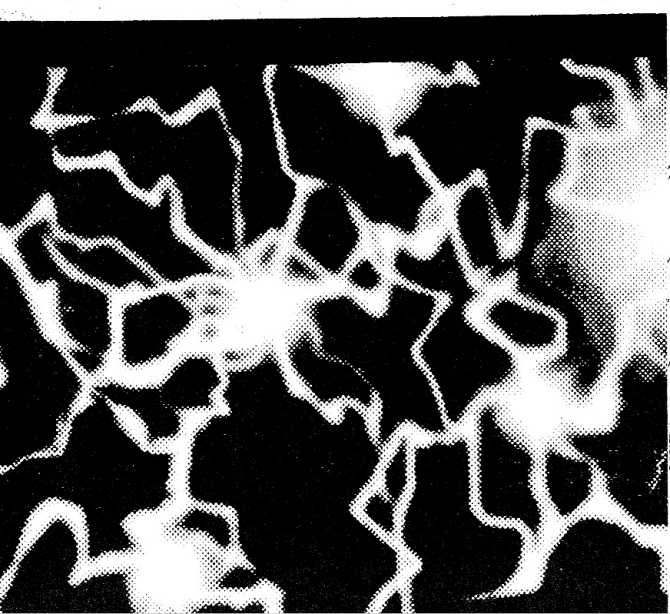
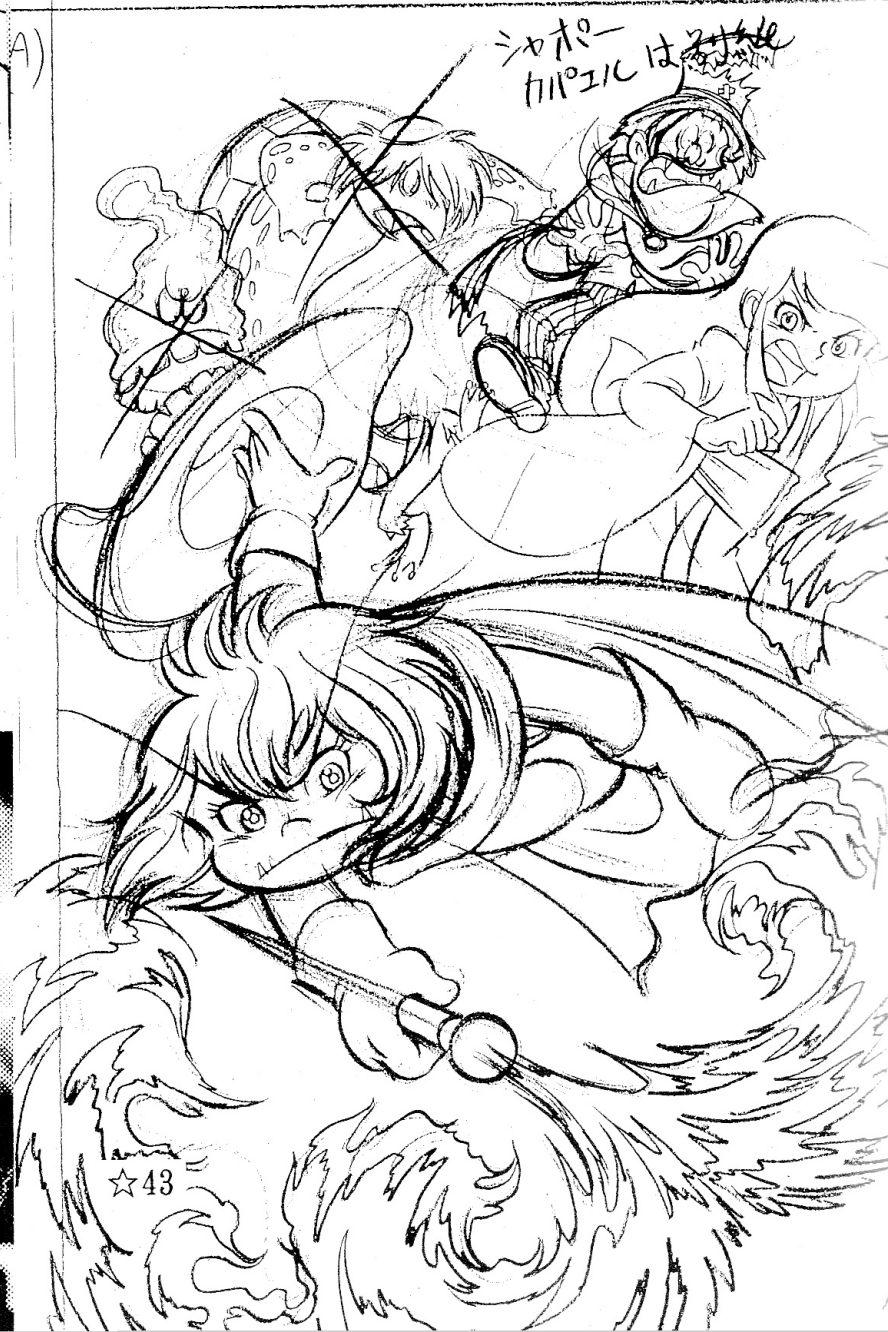
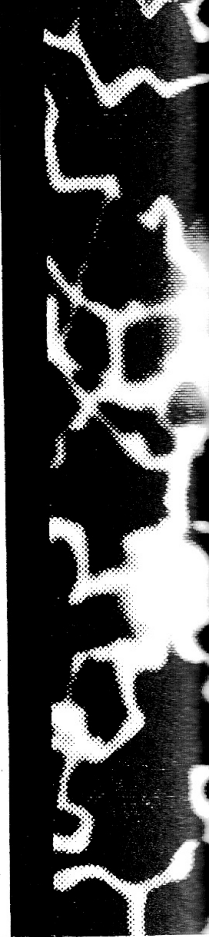
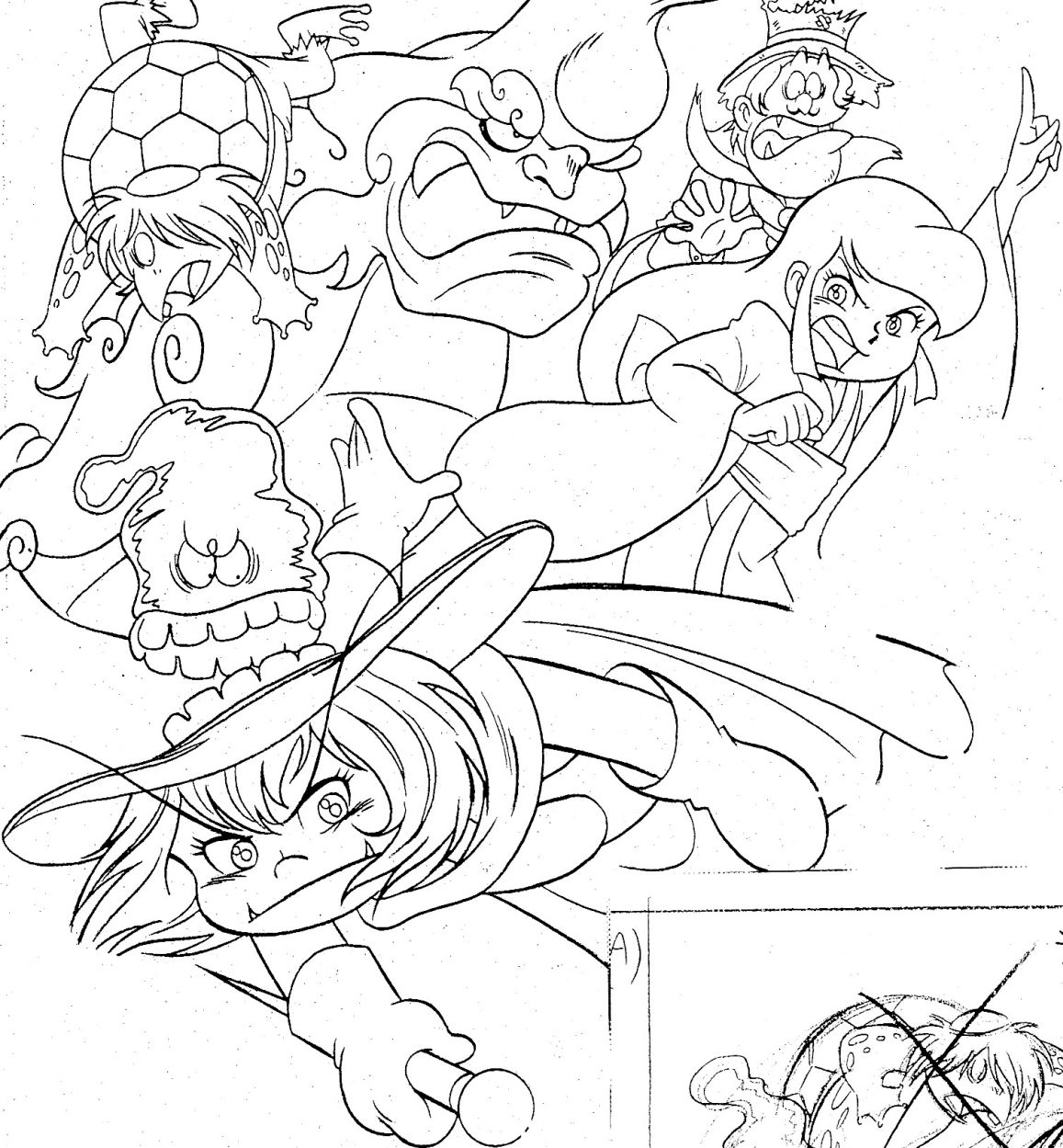
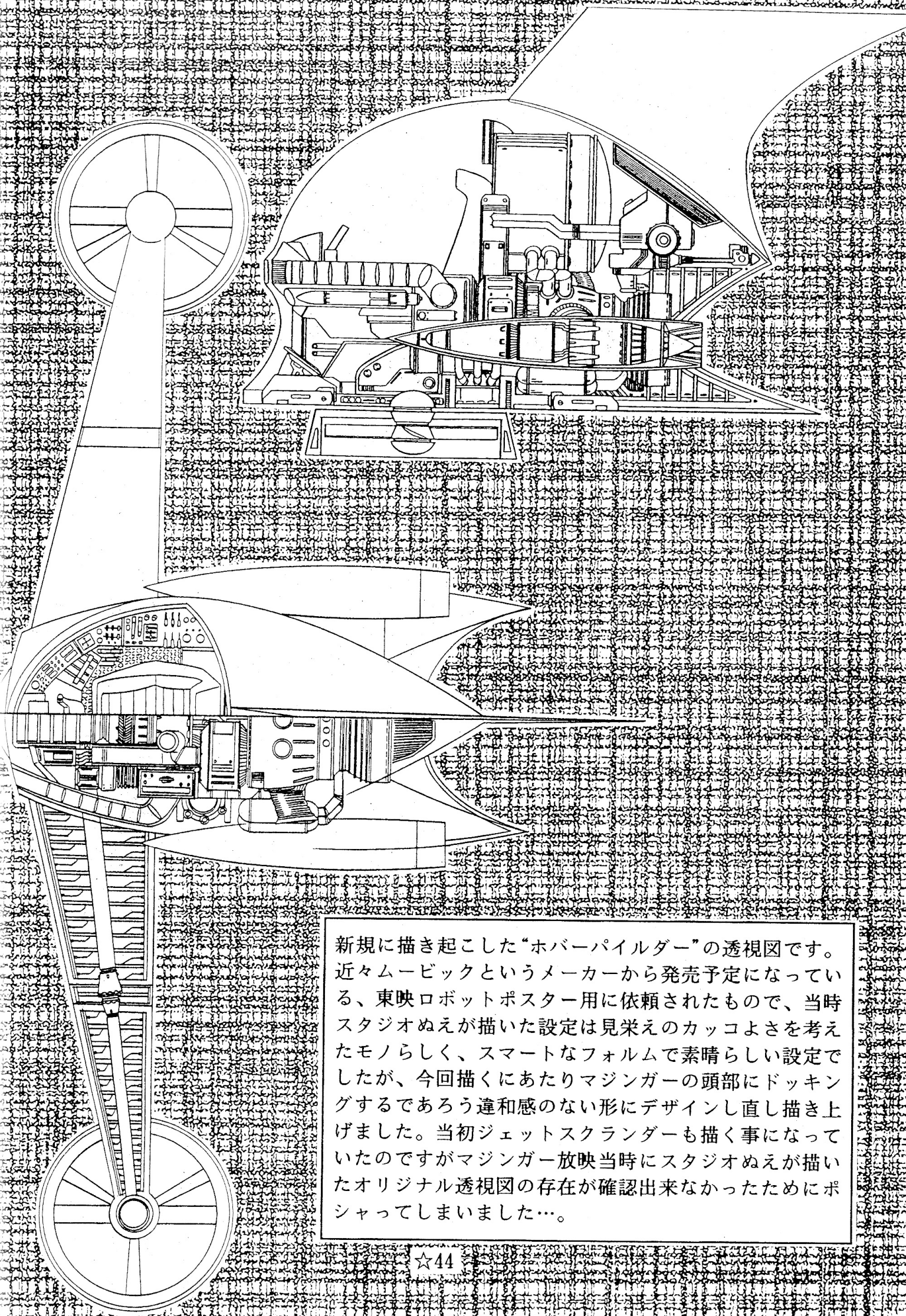
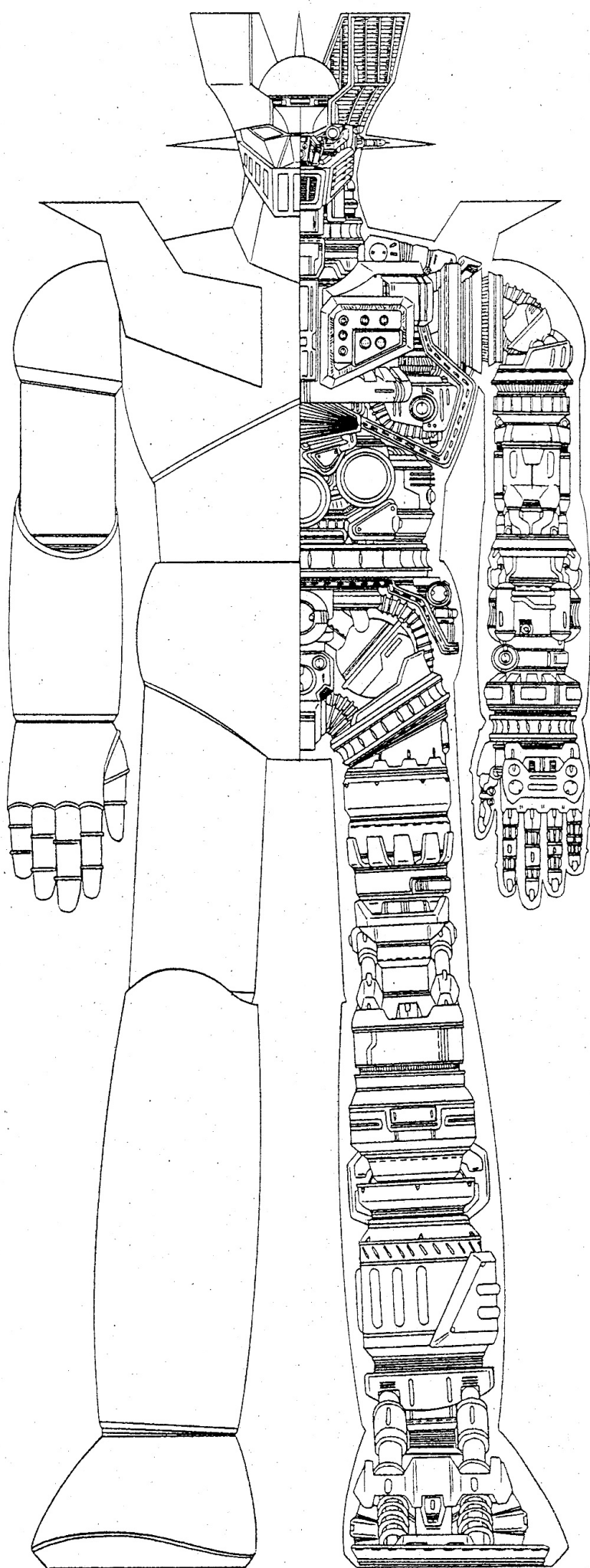
早乙女
ミチル
流竜馬
神隼人
巴武蔵

右ページのキャラ原画はセーバーでの紹介用のもの、すべて動画用紙に作画してあります。この他にも早乙女博士と車　弁慶も描きましたが今回はカットさせていただきました。全部動き無しの止絵になっております。そして、下にあるディフォルメタイプはすべてスクリーンメイトに登場するもので“テキサス・マック”と“ゲッタークィーン”を描かせてもらえたのはうれしいかった。

ドラゴン
決めポーズ

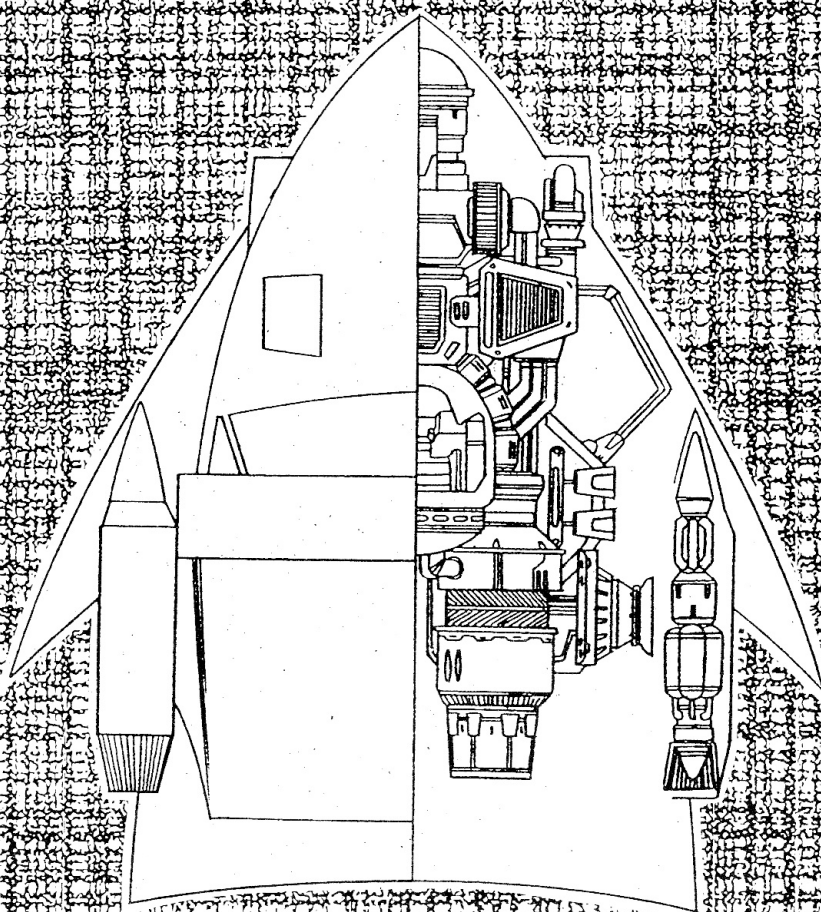
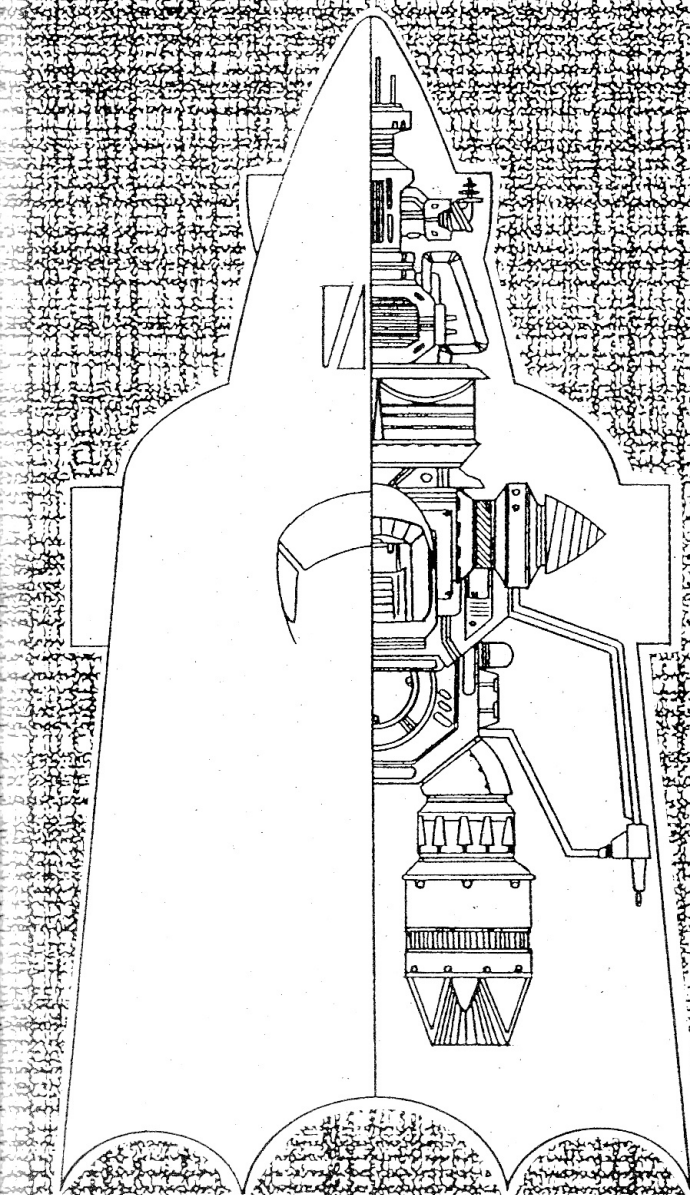
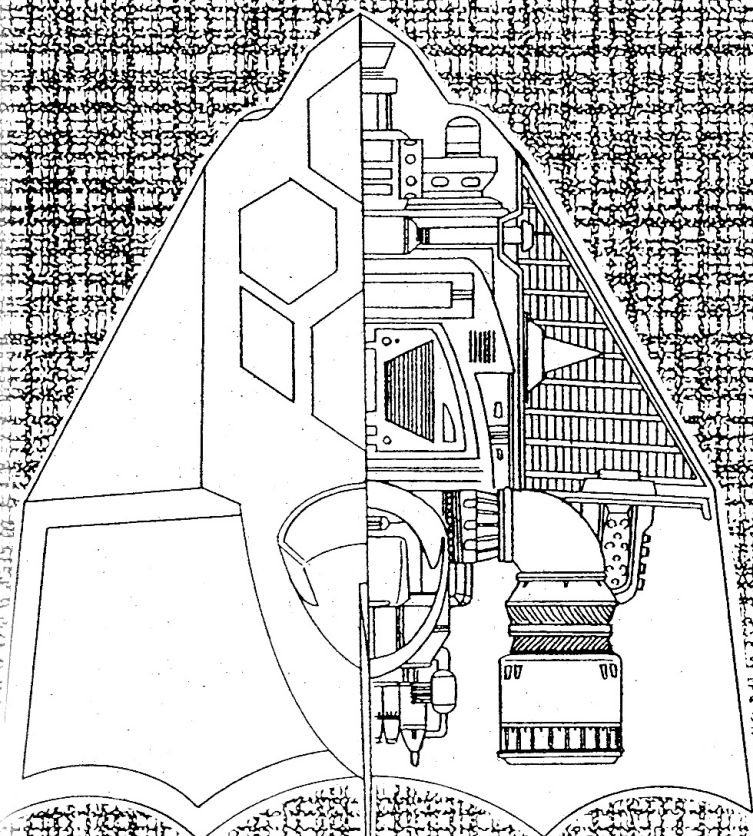
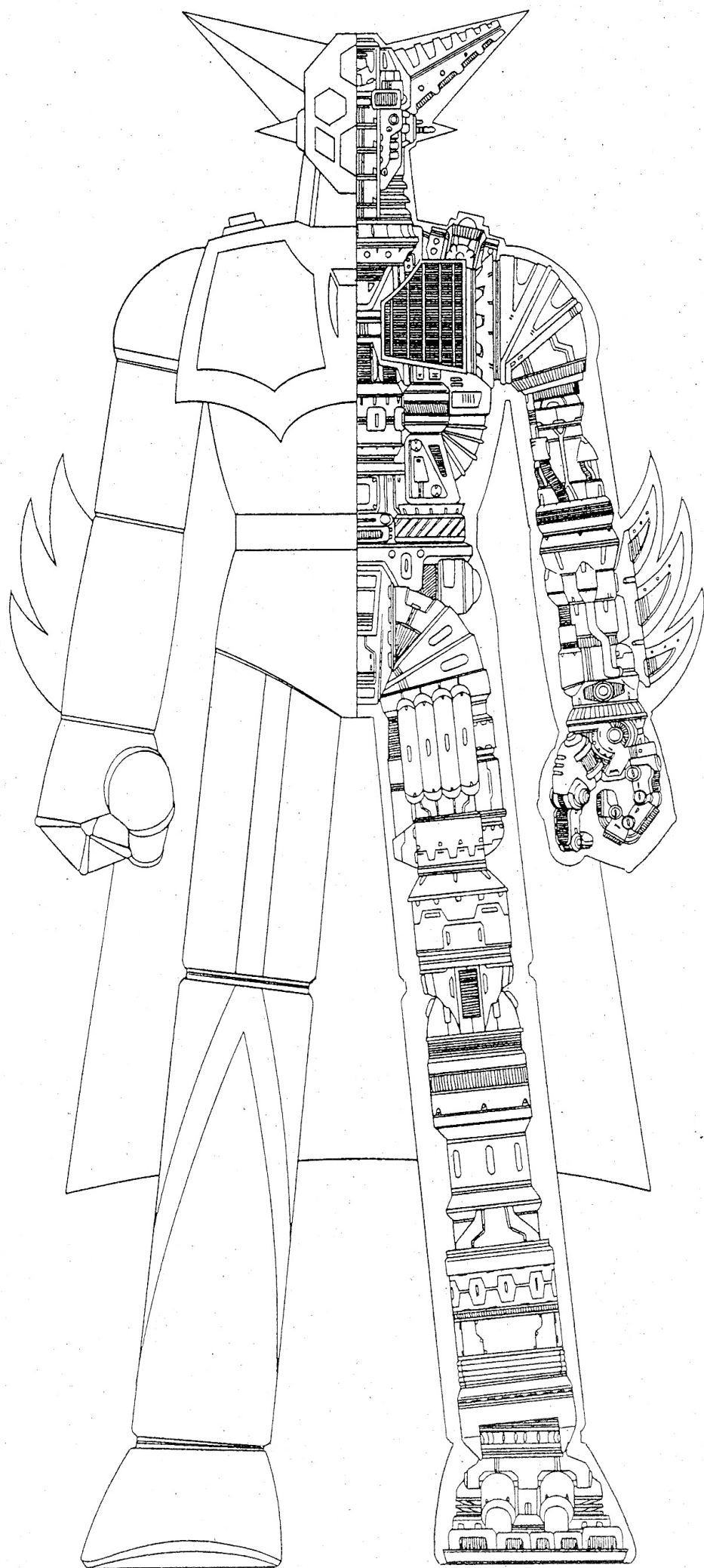
これは先程“ロボ”の方でも紹介したスクリーンメイト用のコミカルキャラのラフ画です。こちらも同じく、すべて止め絵となって画面に登場します。…また、これらとは別にゲットマシンも描いたんですが、原画を紛失してしまい掲載出来ませんでした…。

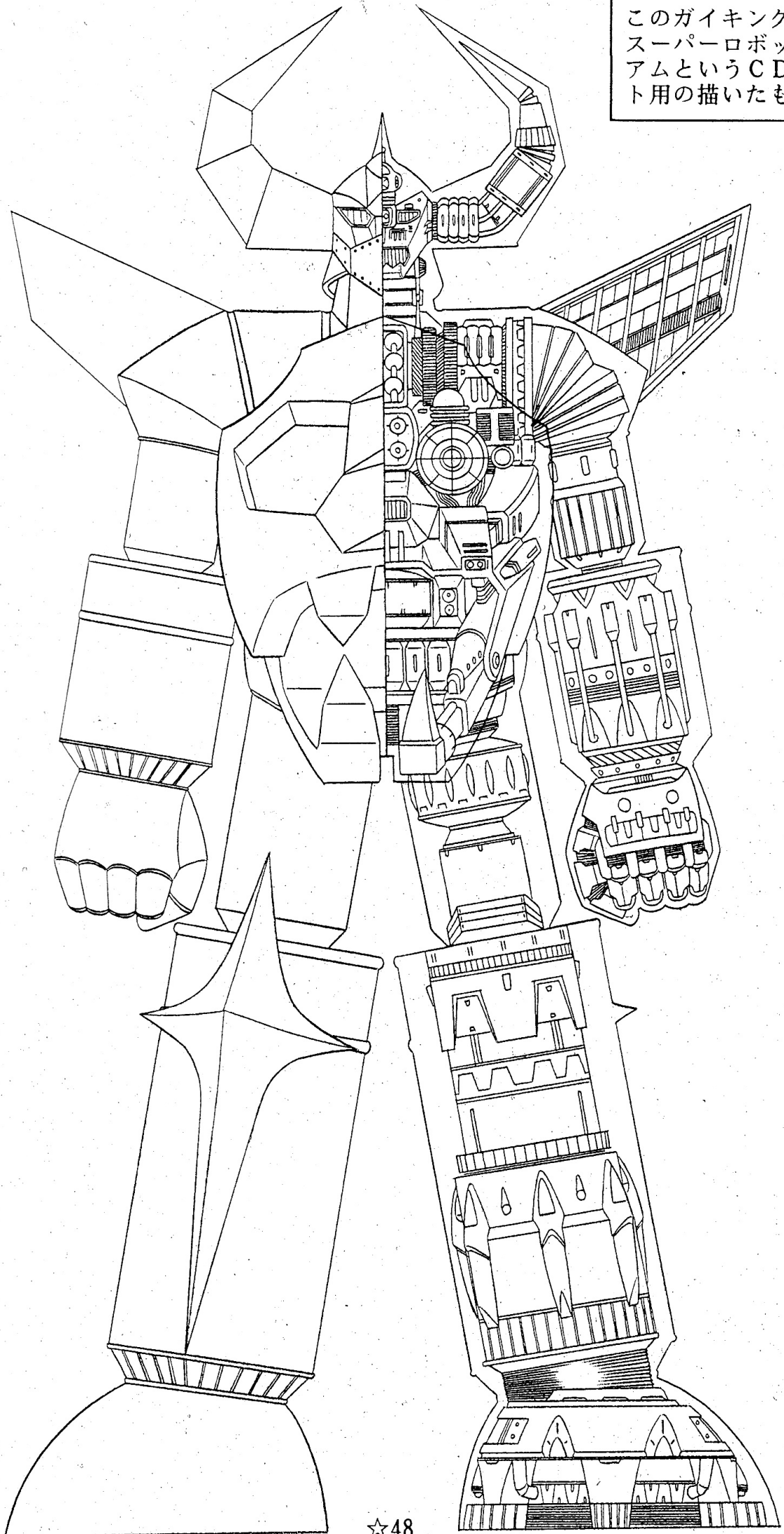
右ページのイラストはタスクランチャー用のキメポーズ“ライガー”のポーズ付けに少々てこずりました。これらも先程のロボ同様に飛行ポーズが存在します。下のドラゴンは動画によりダブルトマホークを飛ばします。ゲッター１バージョンもあり！

恐竜帝国のゴールと幹部のバット将軍、ガレリー長官です。これらもセーバー部分で使用するために描き下ろしました。百鬼帝国のブライ大帝やヒドラー元帥、グラー博士も描いたんですがスペースが無いのでカットしました。

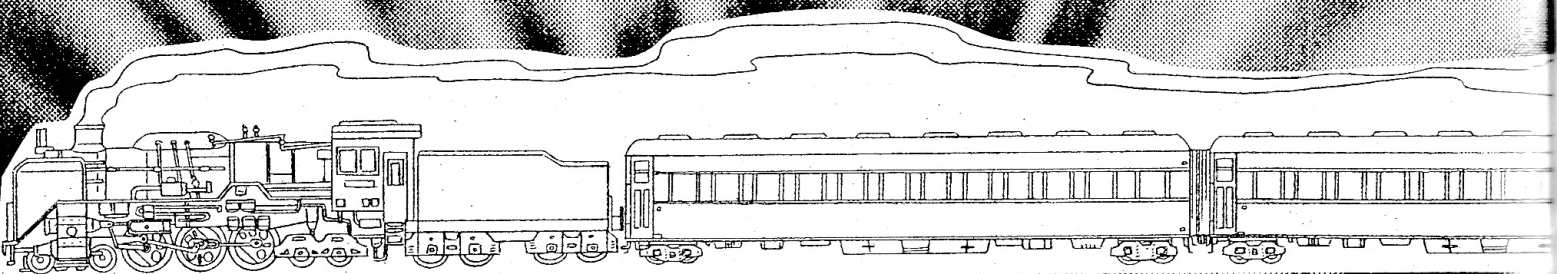
ここから３ページ目までは、雑誌“Ｂ－ＣＬＵＢ”用に描いたマジンガーＺとデビルマン・ドロロンえん魔くんの原画とラフです。デビルマンとえん魔はどちらも商業誌用という緊張から自分では満足のゆく仕上がりにならなかった事かせ悔やまれます。もう二度と仕事でこの２作品を描く事は無いかもしれないのに…。デビルマンの依頼では当初、氷村やポチ、アルフォンヌは無かったんですが、個人的な趣味で描き加えてしまいました…えん魔くんのドロロン号も同様（だからラフにドロロン号は描いてない）。色指定と彩色の方をてこずらせてしまったそうです…。

B-CLUB表紙
マジンガーZ

A)
シャポー
カパエルは
☆43

新規に描き起こした“ホバーパイルダー”の透視図です。近々ムービックというメーカーから発売予定になっている、東映ロボットポスター用に依頼されたもので、当時スタジオぬえが描いた設定は見栄えのカッコよさを考えたモノらしく、スマートなフォルムで素晴らしい設定でしたが、今回描くにあたりマジンガーの頭部にドッキングするであろう違和感のない形にデザインし直し描き上げました。当初ジェットスクランダーも描く事になっていたのですがマジンガー放映当時にスタジオぬえが描いたオリジナル透視図の存在が確認出来なかったためにポシャってしまいました…。

ひきつづきポスター用に描き起こしたマジンガーＺの透視図解。
これは、かなりてこずりました…スタジオぬえのオリジナルを前提に置きつつ、あくまでもテレビのフォルムを重視しながらマンガっぽくならないよう心掛けて作業しましたから…。皆さんいかがでしょうか？　スタジオぬえの描いたものと決定的に違うのは、ミサイルパンチを描き加えた所ですね。賛美両論あるかもしれないですけど、僕としては子供のころから結構気になっていた部分であった箇所なので、まさか仕事として自分で描く事になるとは思わず、この機会に思い切って描き加えてみた次第であります…。

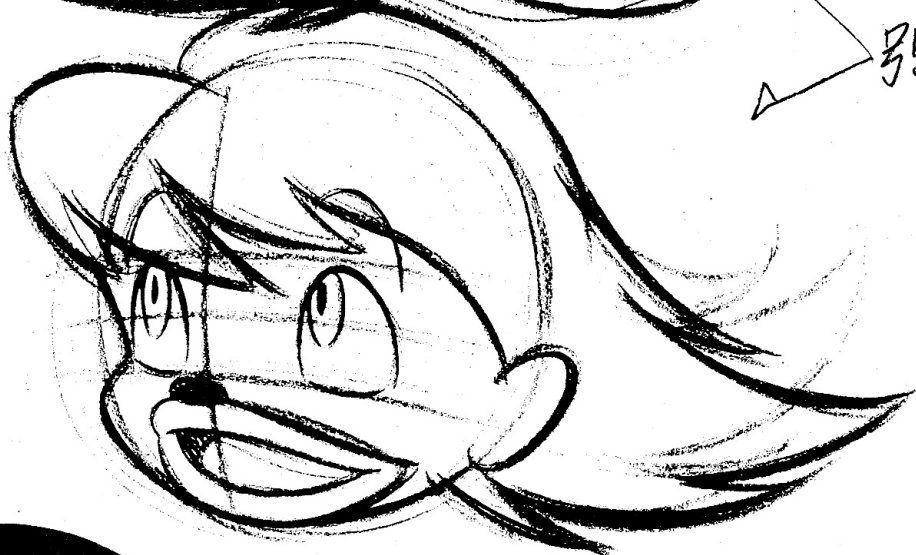
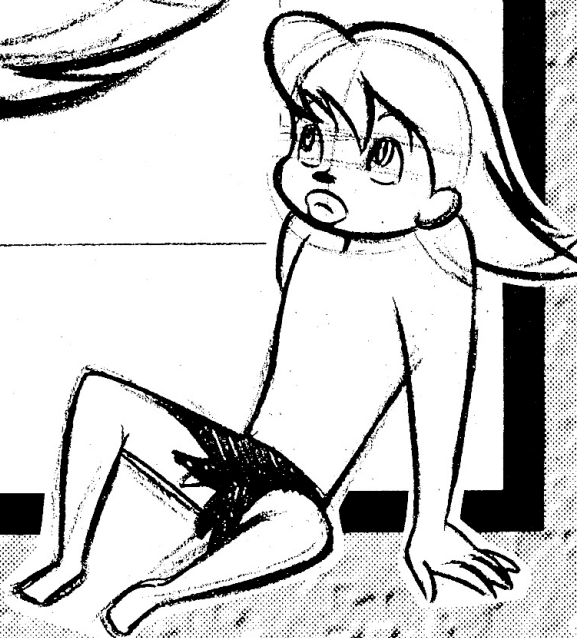
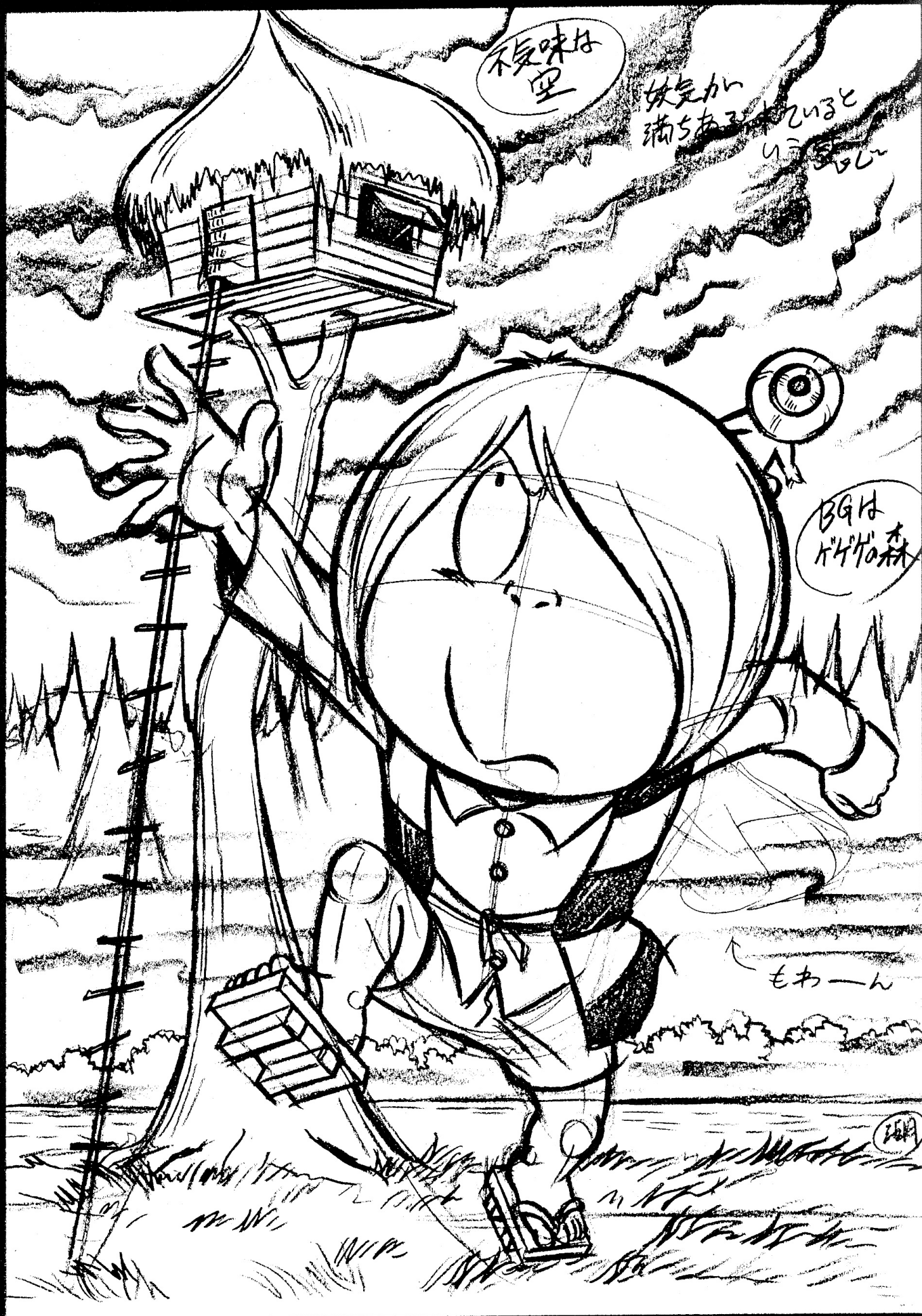
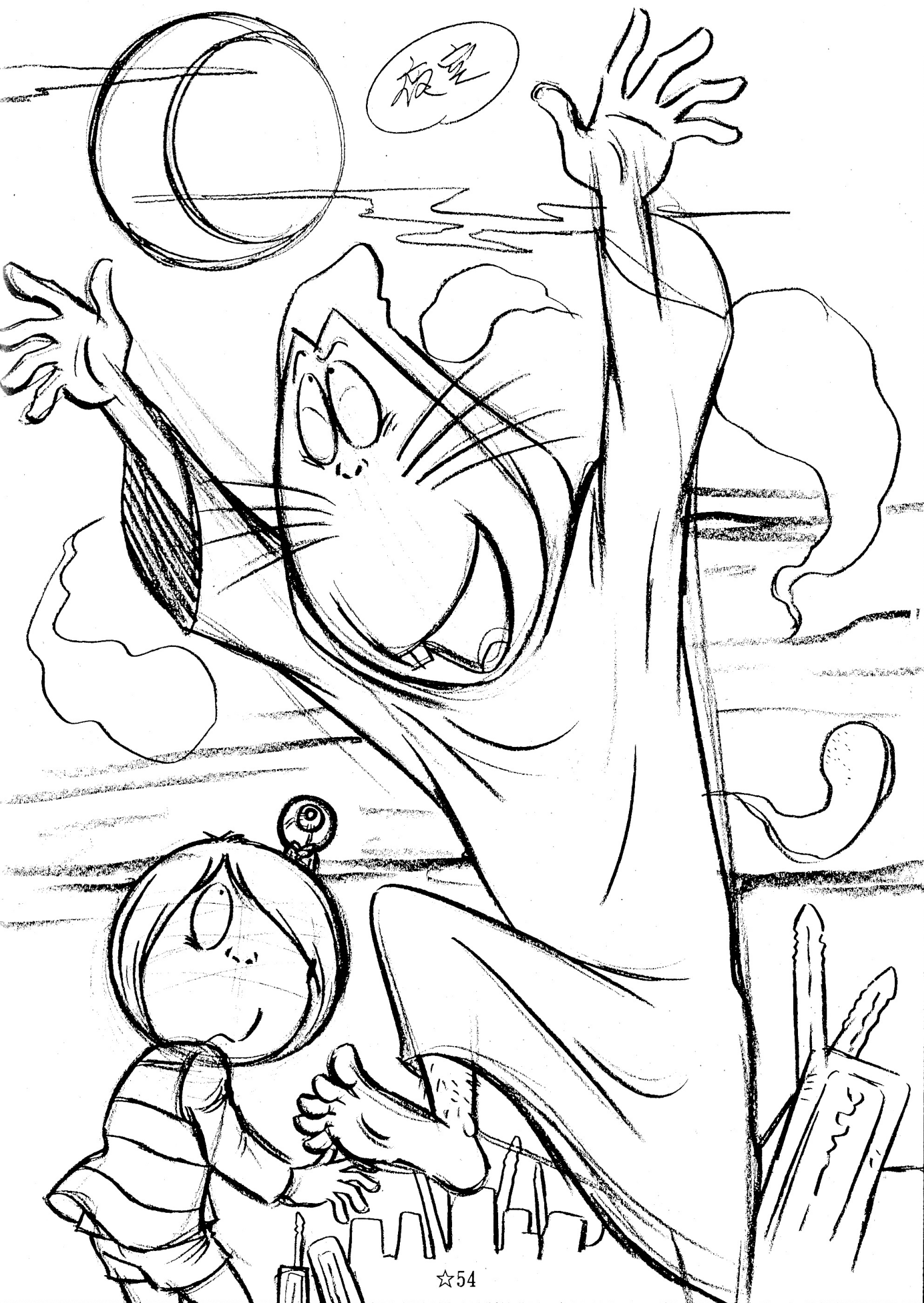
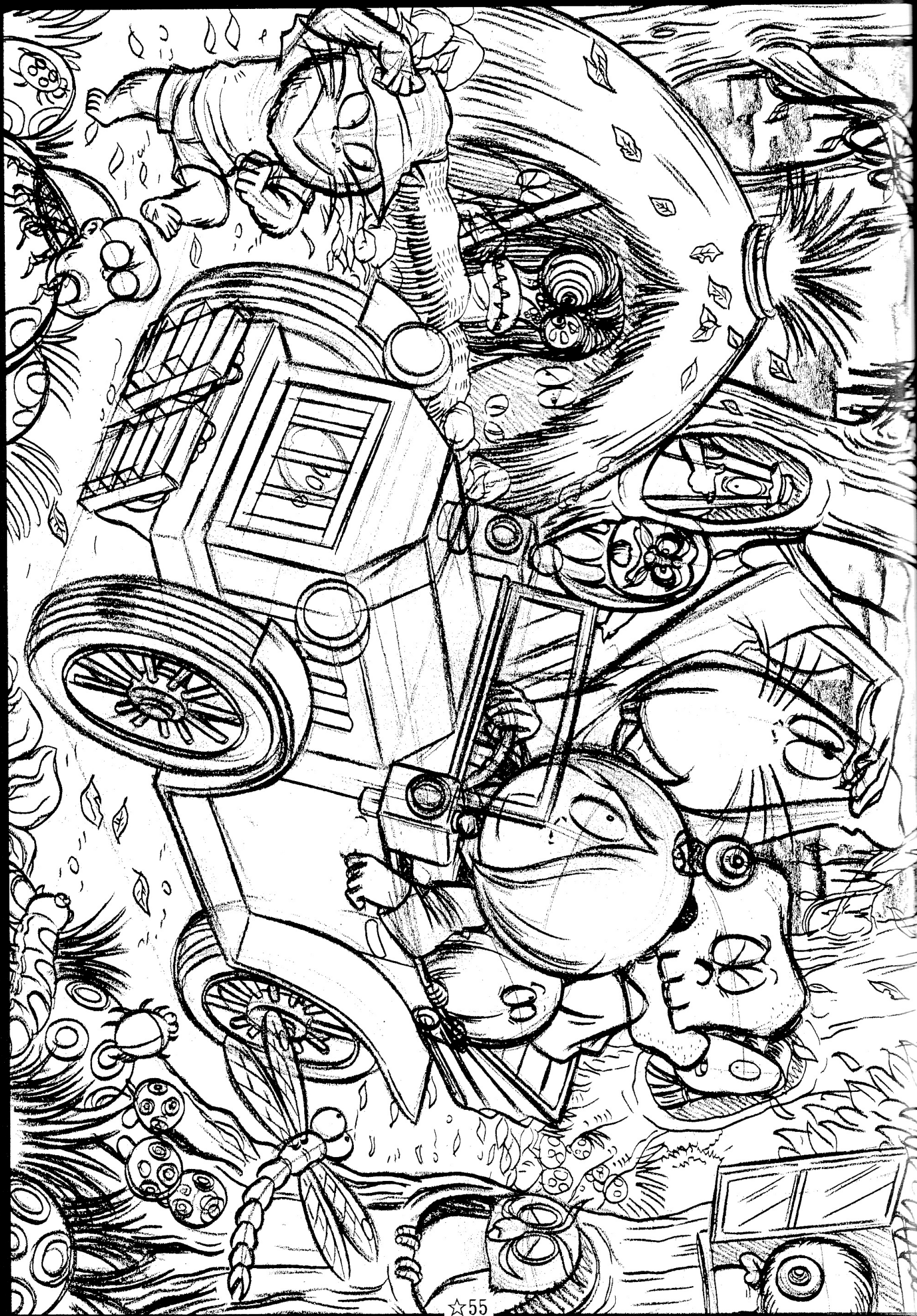
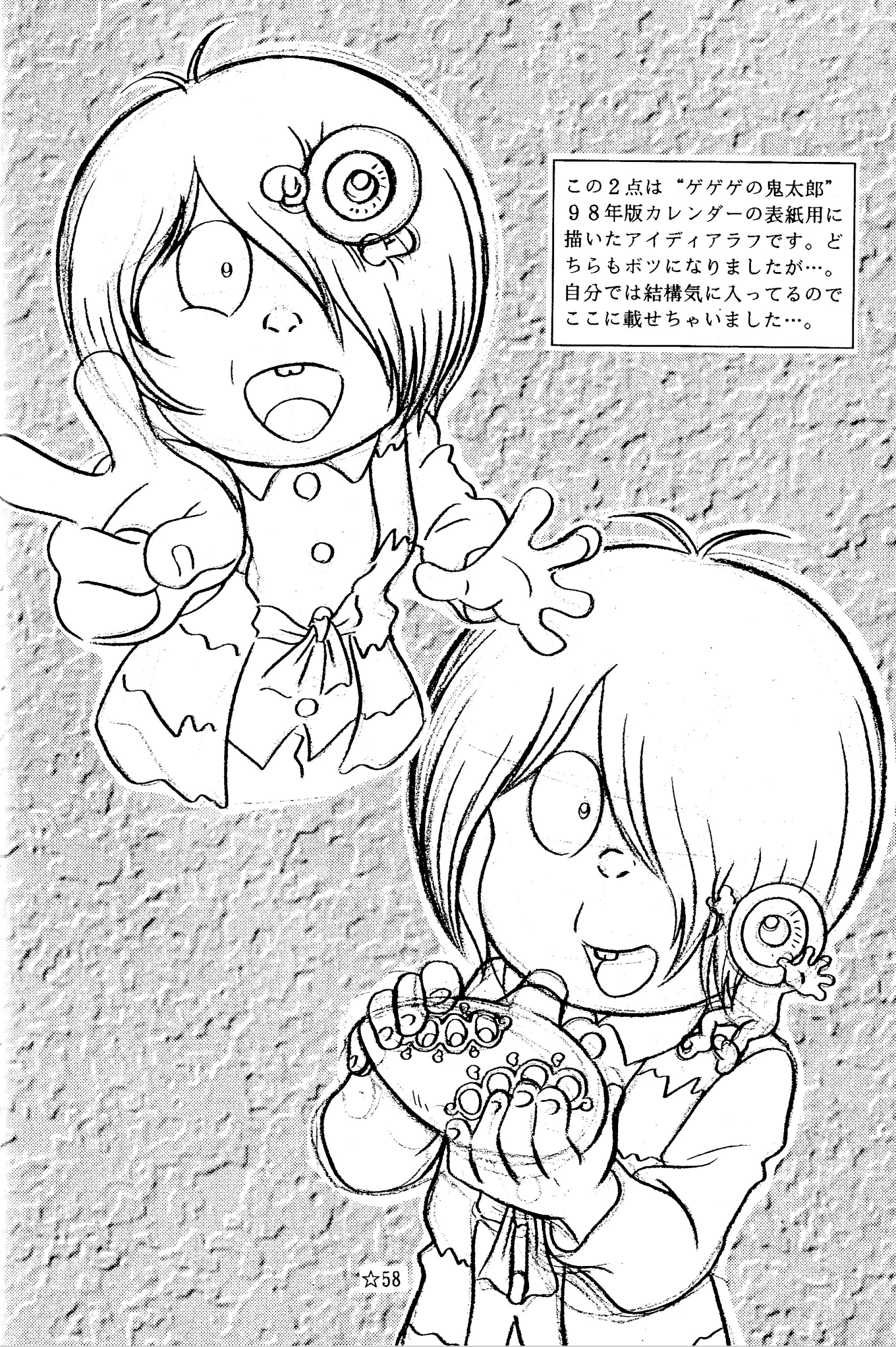
こちらも前ページと同じくポスター用に描いたもの。今度はゲットマシンの三機の透視図解です。結局イーグル号の図解しか発見出来ずジャガー号、ベアー号は完全に今回オリジナルで描き起こしてあります。発見出来なかったというよりも放映当時の段階で透視図設定イーグル号しか作られていなかったと思うのですが…（存在していたらゴメンなさい）。
ジャガーとベアーに関してはイーグルの設定を基準に描いたので、さほど苦労はしませんでした。ちょっとした遊び心でジャガー号にゲッター2の顔と縮んだ状態のドリルを描き込んでみました。

これまた同じくポスター用に描き起こしたゲッター1の透視図解です。
これも放映当時に作られたであろう透視図が発見出来ず桜田吾作氏(多分)が描いた透視図を参考にほぼ今回のオリジナルとして仕上げました。マジンガーZよりもスピーディーさのあるゲッターですから重さを感じさせるディテールは極力省くよう努力し描き上げたのでマジンガーの内部図解に比べるとシンプルに見え部分が多々あると思います。とにかく“あの”変形をするゲッターなので何かをふっきらないと描けない状態に陥ったりもし中々楽しい作業工程でした。

このガイキングの透視図は
スーパーロボットミュージ
アムというＣＤのジャケッ
ト用の描いたものです。

これは近々双葉社から発行予定の松本めぐむ版(現・尾瀬あきら)“大空魔竜ガイキング”のコミックス表紙用に依頼され描いた原画です。依頼者が提出してきたラフ画に基づいて描いたので自分としてはガイキングのポーズのいまいち不満が残ってます…。でも初コミック化となる歴史的一冊に係わる事が出来たという点ではとてもうれしい仕事でした。

"ぼくの私のキューティーハニー"
旧テレビシリーズの
完全資料集
です。
描き下ろし
イラストをふんだん
に収録した
上、永井豪先生
以外のマンガ家
が描いたモノ
も全作品
招介した
ボリュームたっぷり
のハニー本
お問い合わせは
奥付まで!!

ここにある3パターンの９９９は
平成１０年の春休みに劇場公開さ
れた“銀河鉄道９９９”のポスタ
ーやその他のグッズ用に描いたも
のです。二度と描きたくない…。
C6248
999

これは“建築知識”という雑誌の表紙と目次カットのラフとフィニッシュ画です。まさか、ケンを描く事が出来るとは夢にも思わず、ノリノリで描きました。

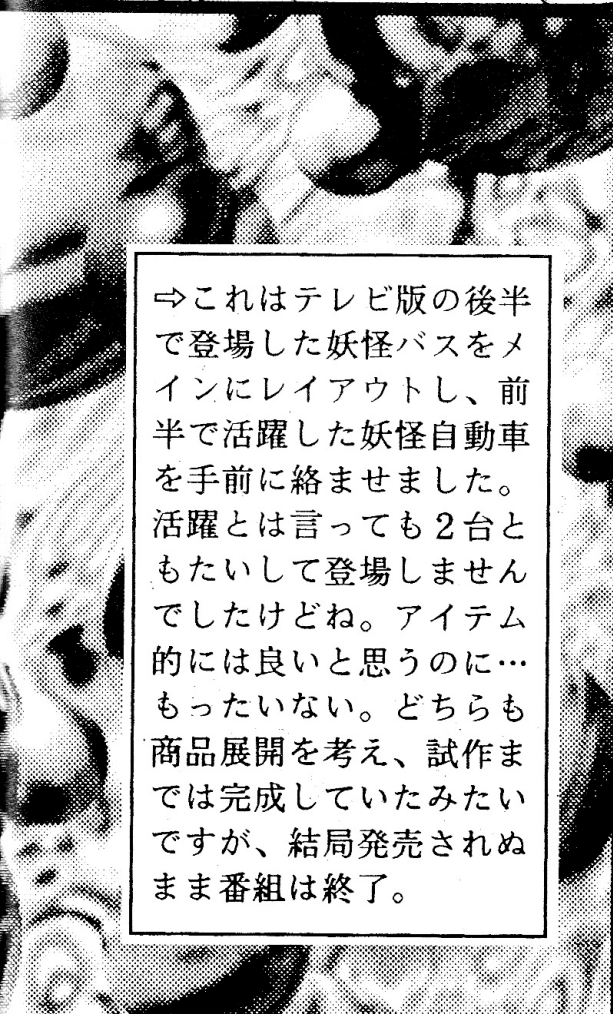
不気味な空
妖気が満ちあふれているという感じ
BGはゲゲゲの森
もわーん

夜空

３ページ前にある第２作目の“ゲゲゲの鬼太郎”のラフに付いての説明からします。これは今井科学が３０年前に発売していた“鬼太郎プラモ”を復刻発売するにあたりパッケージ用に新たに描いたものです。ちなみに“妖怪自動車”のラフにある妖怪達は、ほとんど趣味でセレクトし、色指定も自分でやったんです。（大ハリキリ）そして、このページに掲載した絵は“ゲゲゲの鬼太郎ソングコレクション”というＣＤのジャケットイラストです。ここだけの話、大の鬼太郎ファンの私としては、鬼太郎をこのようにコミカルタッチにするのは好きじゃないんですよね…。

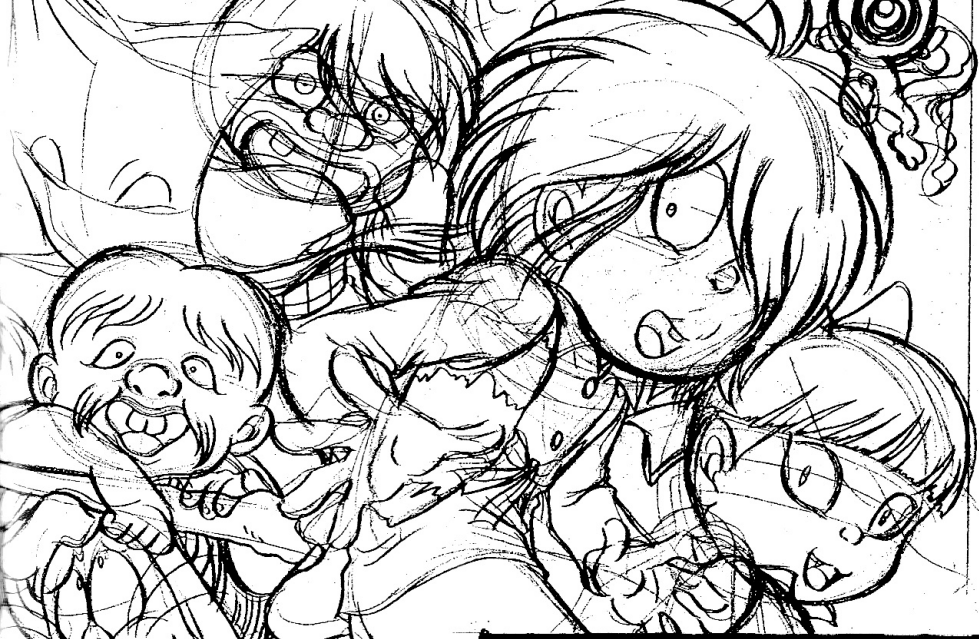
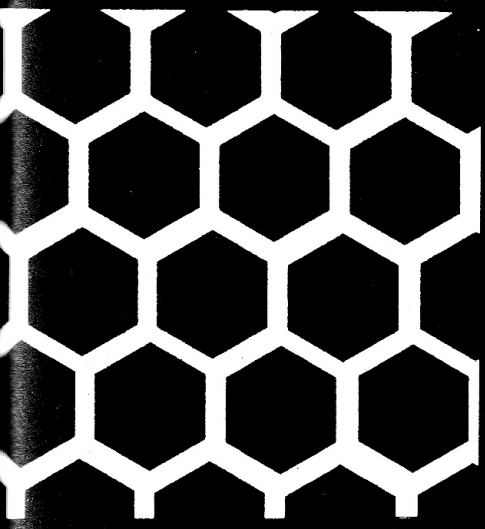
ここに掲載したフィニッシユ画は
コミックボンボン発行の“鬼太郎
公式ガイドブックVOL. 2”の表紙
用に描いたもの。ちなみにVOL. 1
は荒木伸吾先生が描かれています。

この２点は“ゲゲゲの鬼太郎”
９８年版カレンダーの表紙用に
描いたアイディアラフです。ど
ちらもボツになりましたが…。
自分では結構気に入ってるので
ここに載せちゃいました…。

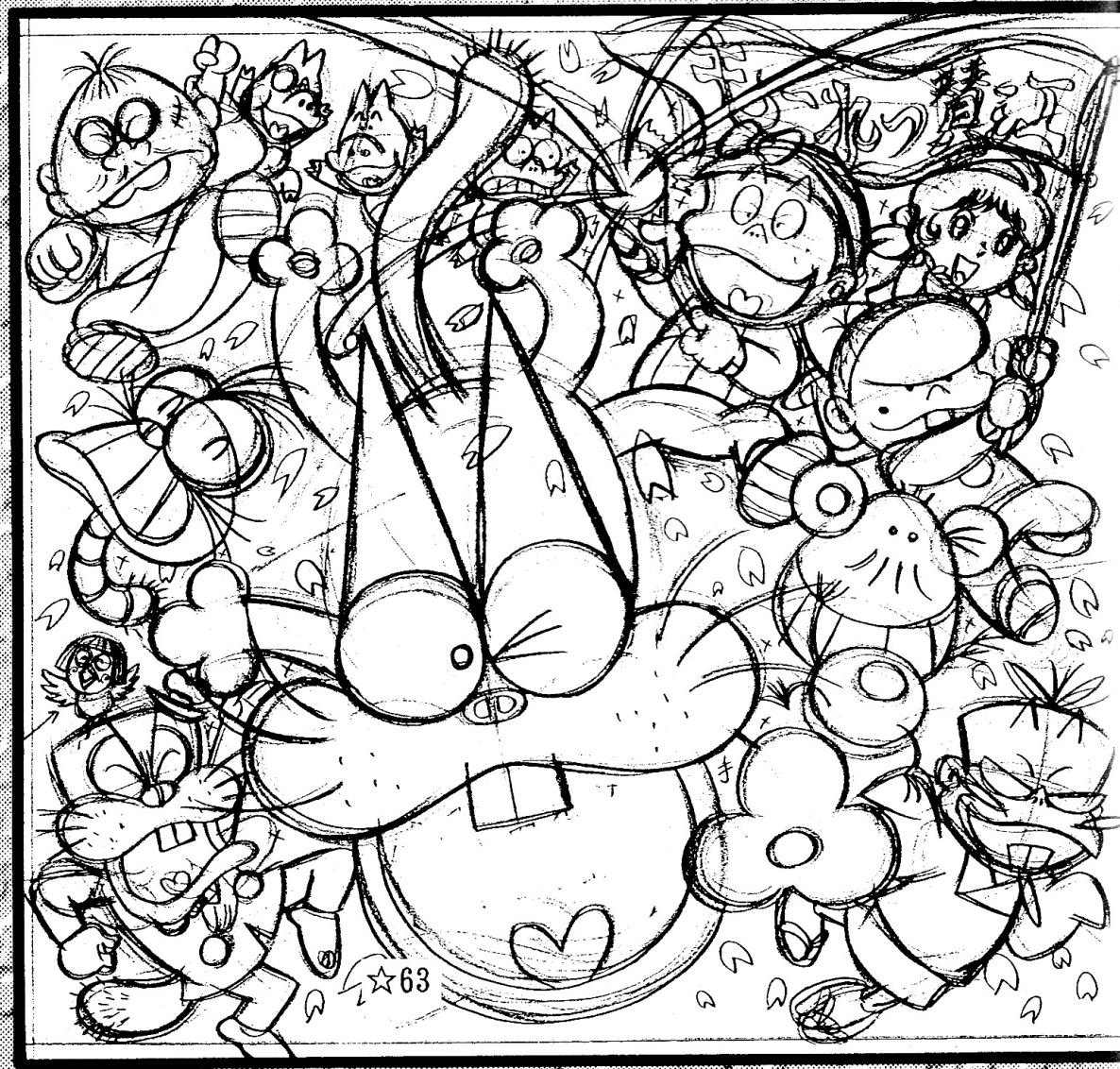
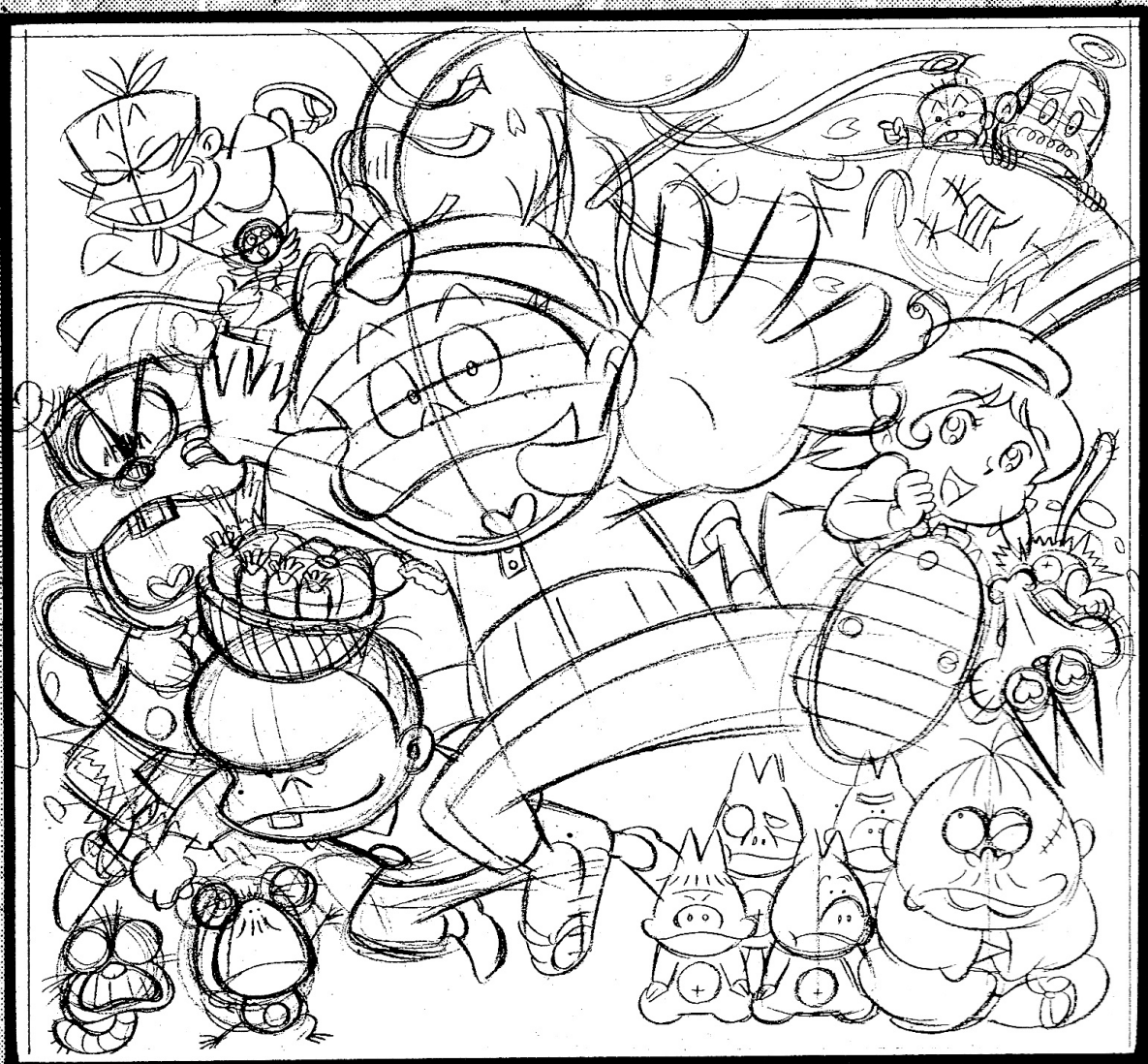
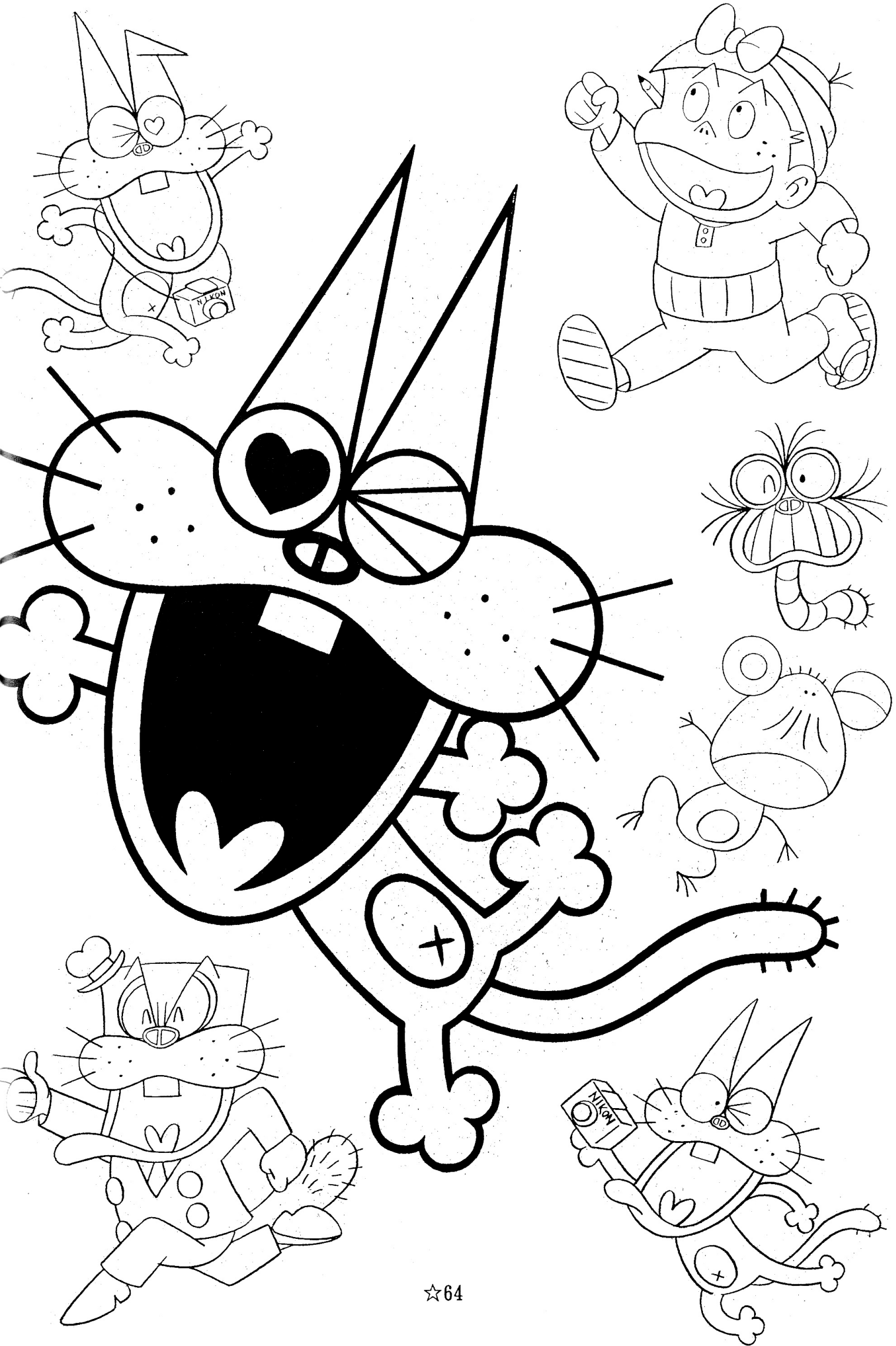
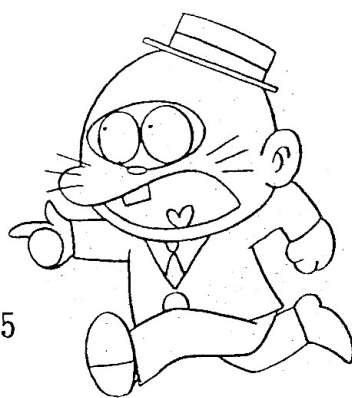
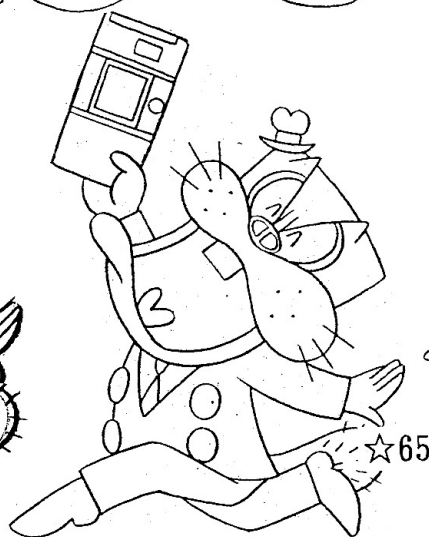
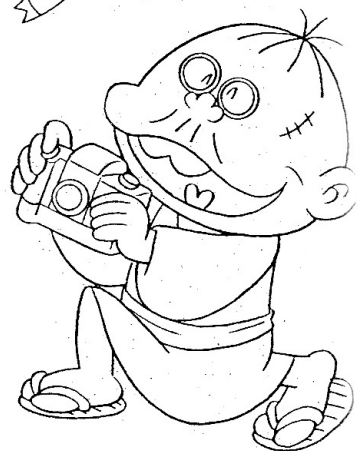
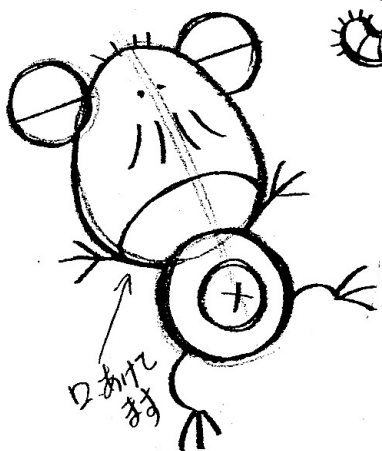
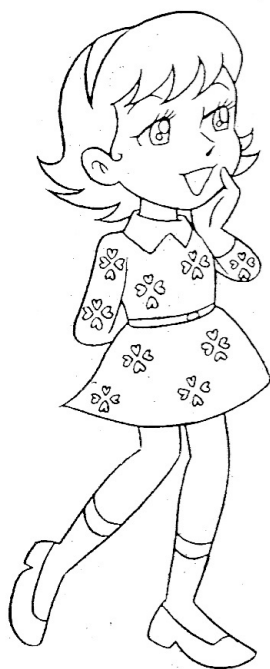
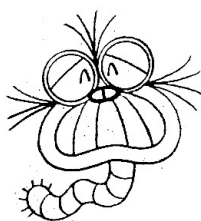
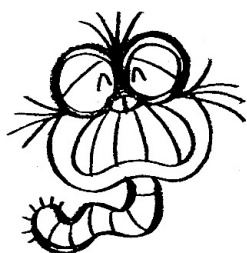
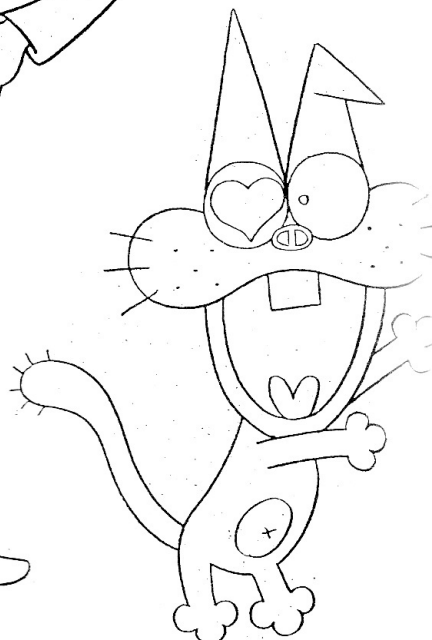
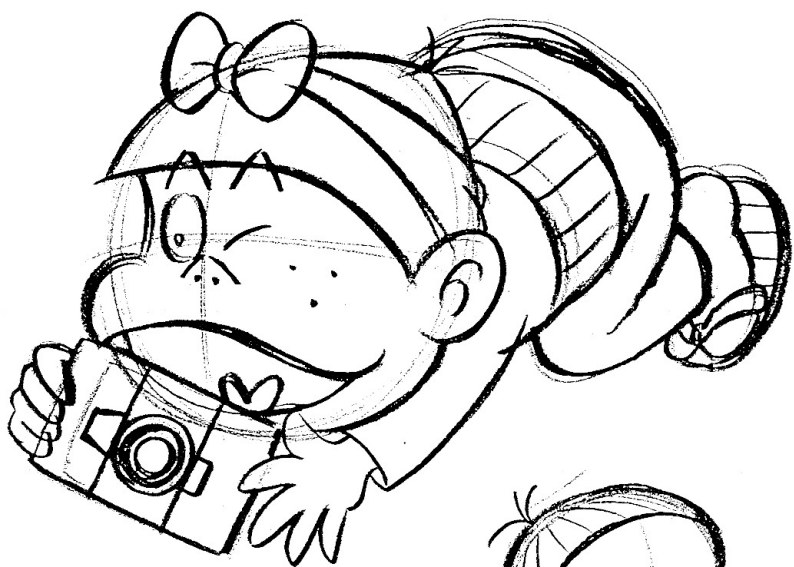
そしてこちらが右ページで申したカレンダー表紙用の決定稿ラフであります。結局の所レギュラー全員という事になった訳ですね。実際の商品はこの回りに単体の妖怪シールが付いてました。

左のラフは今年のカレンダー用に描いたモノ。劇場版“まぼろしの汽車”をモチーフに構成しています。この映画、作画は最高だったんだけど演出がイマイチだった…上映時間の都合もあったからかもしれないけど…。

⇨これはテレビ版の後半で登場した妖怪バスをメインにレイアウトし、前半で活躍した妖怪自動車を手前に絡ませました。活躍とは言っても2台ともたいして登場しませんでしたけどね。アイテム的には良いと思うのに…もったいない。どちらも商品展開を考え、試作までは完成していたみたいですが、結局発売されぬまま番組は終了。

これは、劇場版1作目の"大海獣"編をテーマに描いた7月～8月のカレンダー。本編ストーリーのその後といった雰囲気でレイアウトをきってます。この映画は中々見ごたえがありましたね。作画監督も荒木先生だし

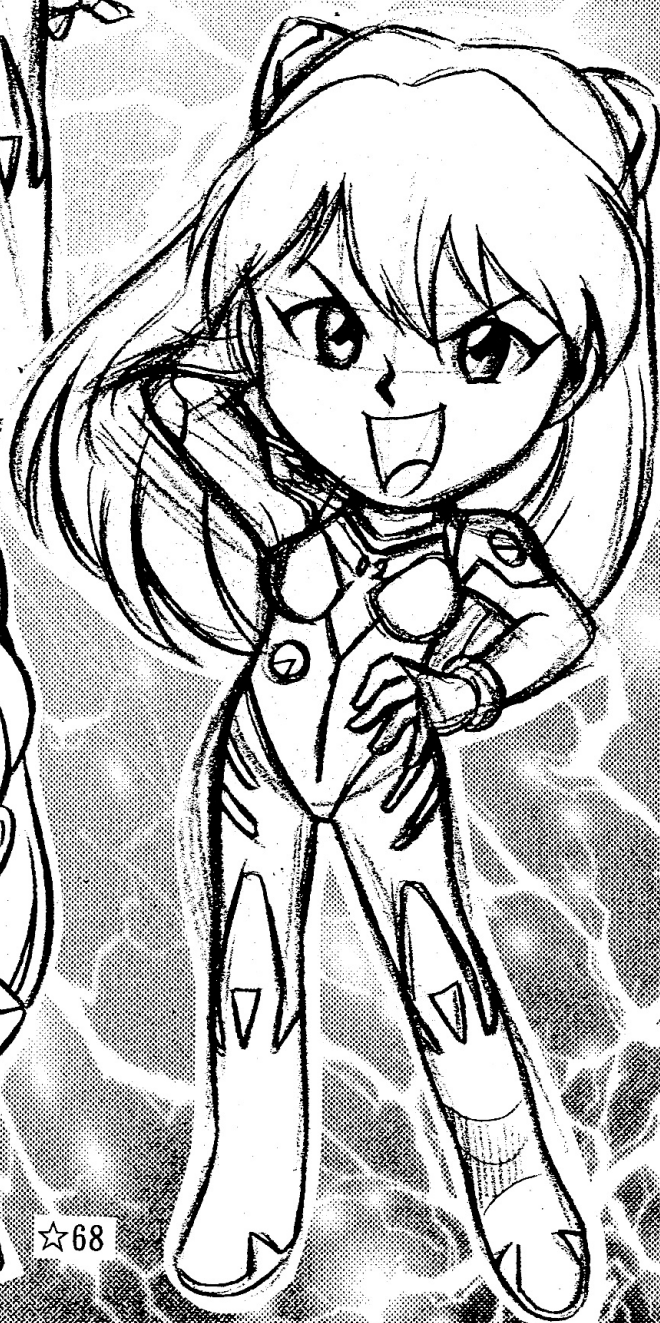
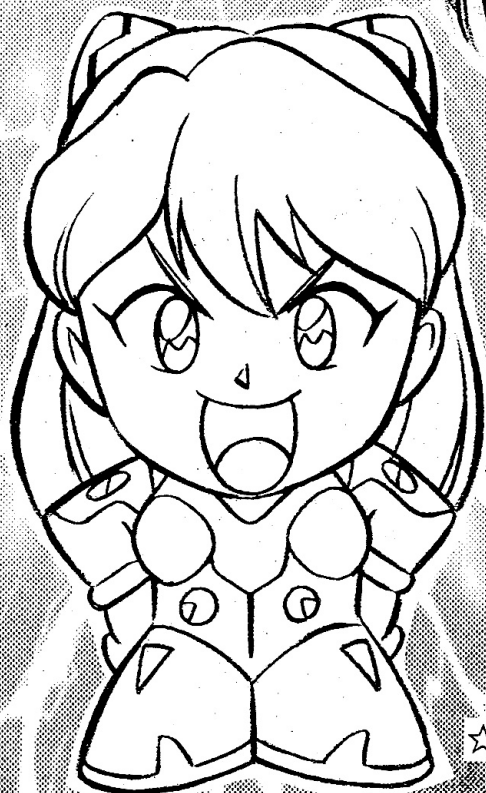
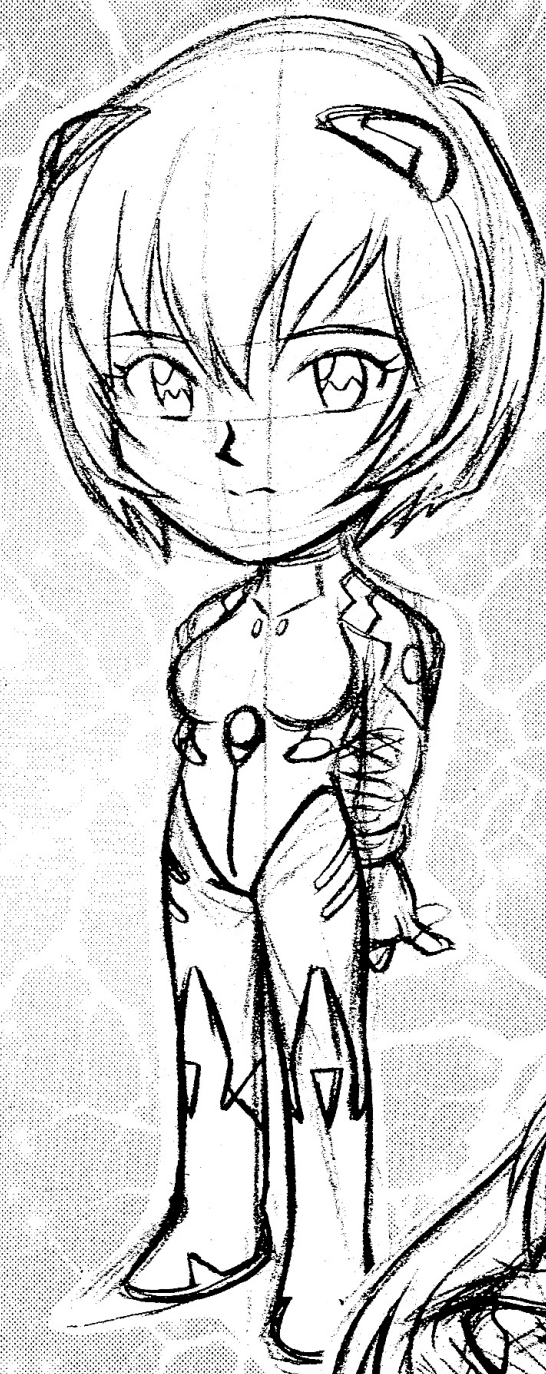
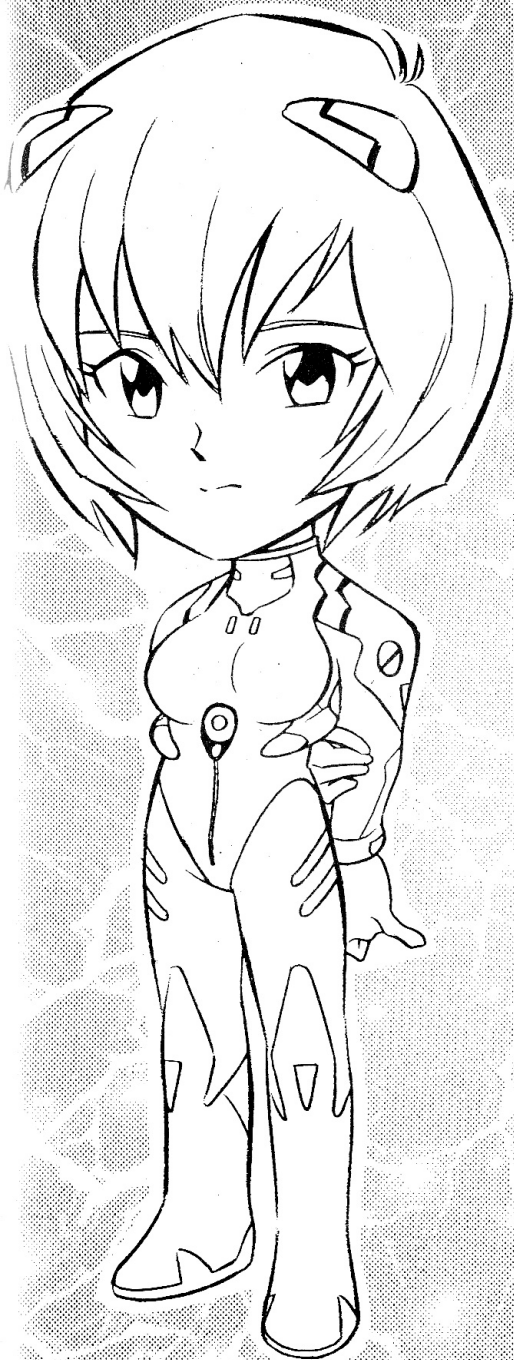
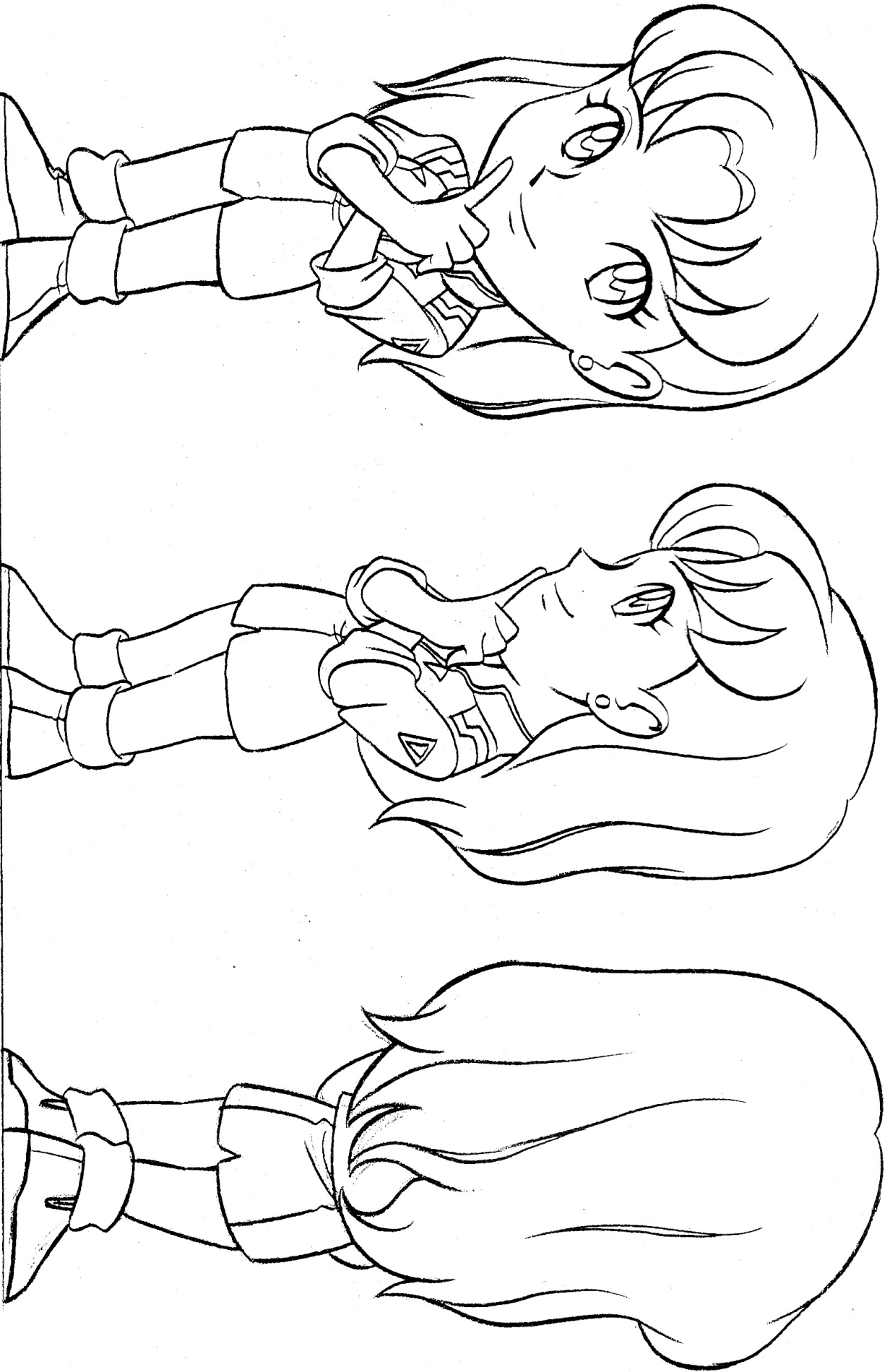
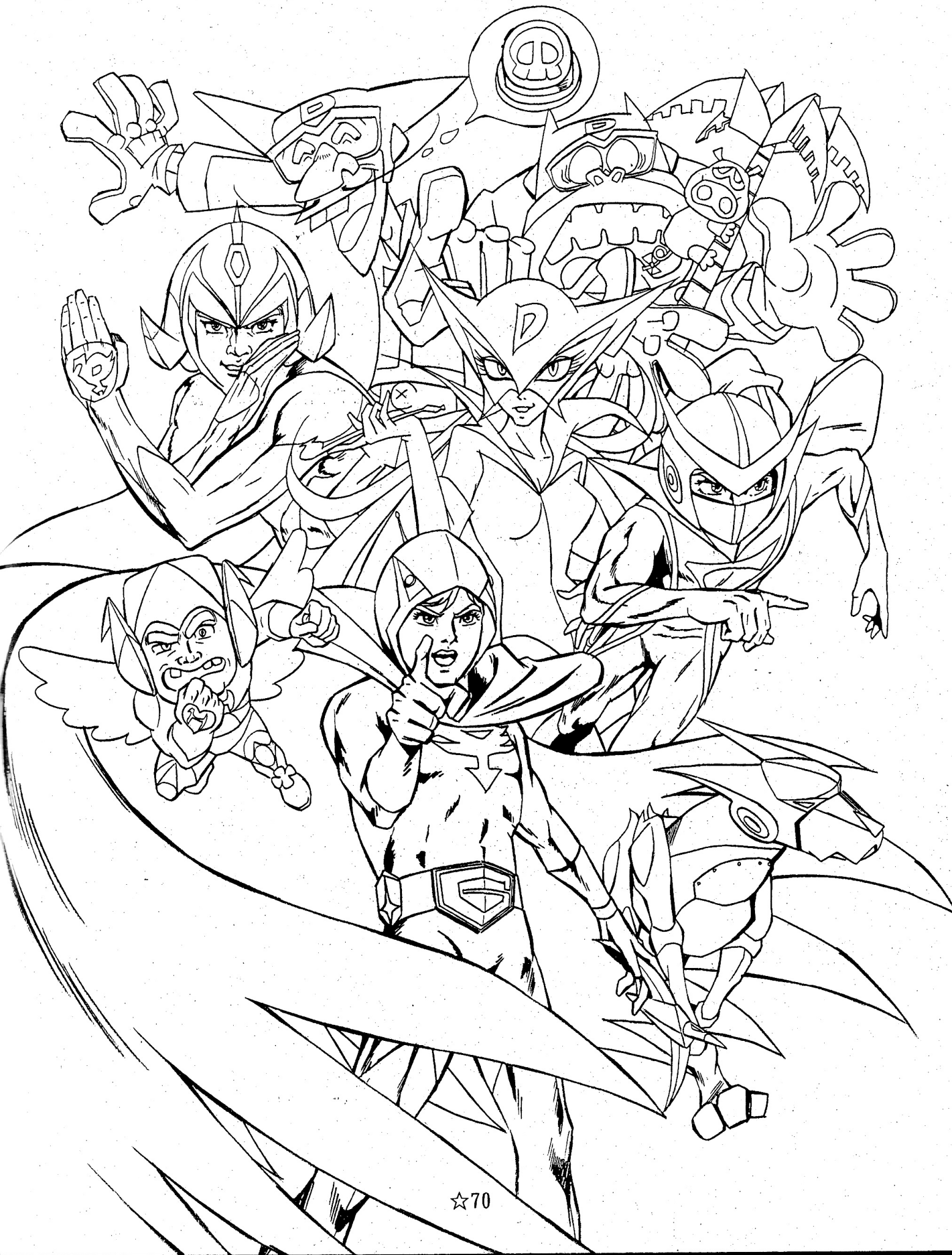
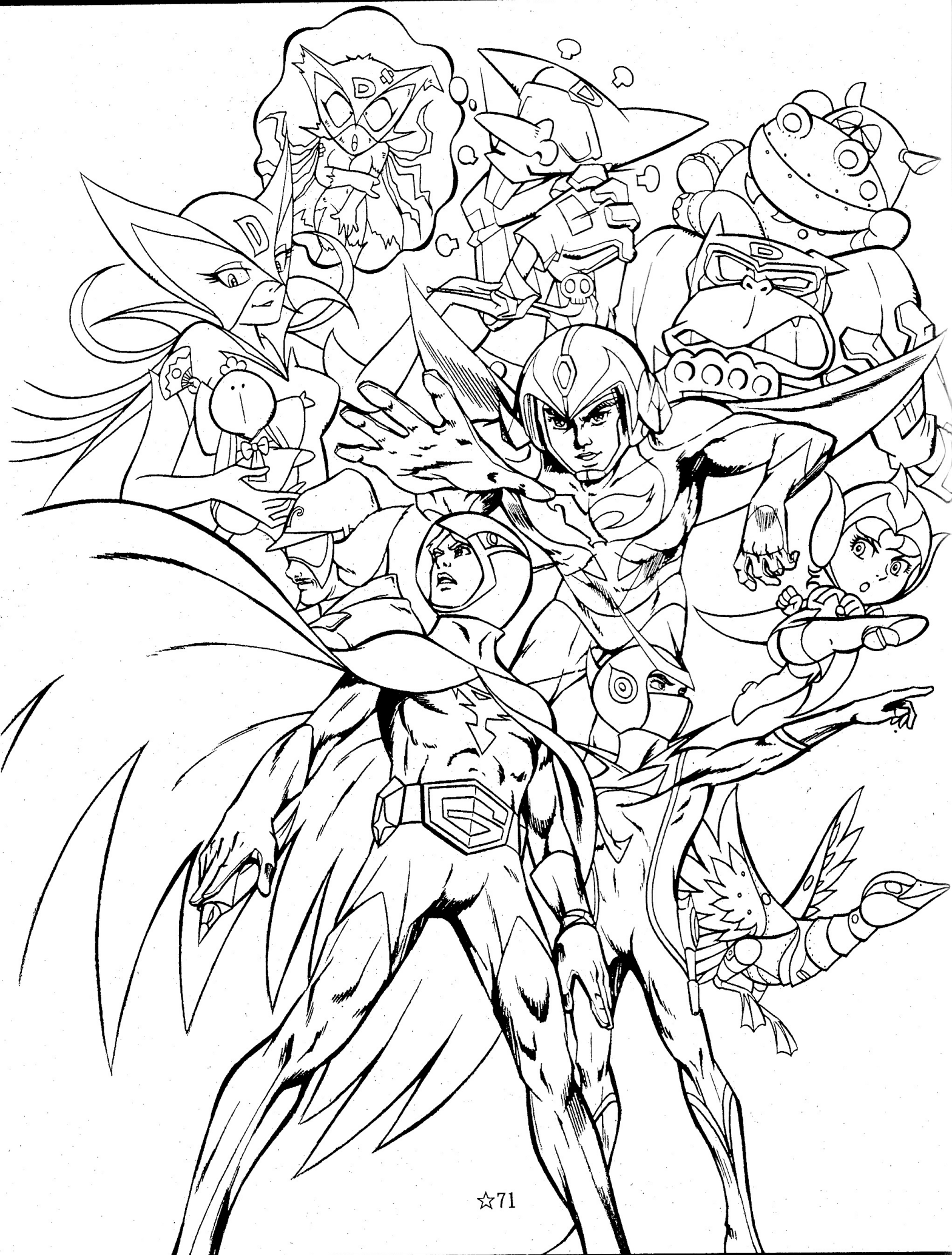
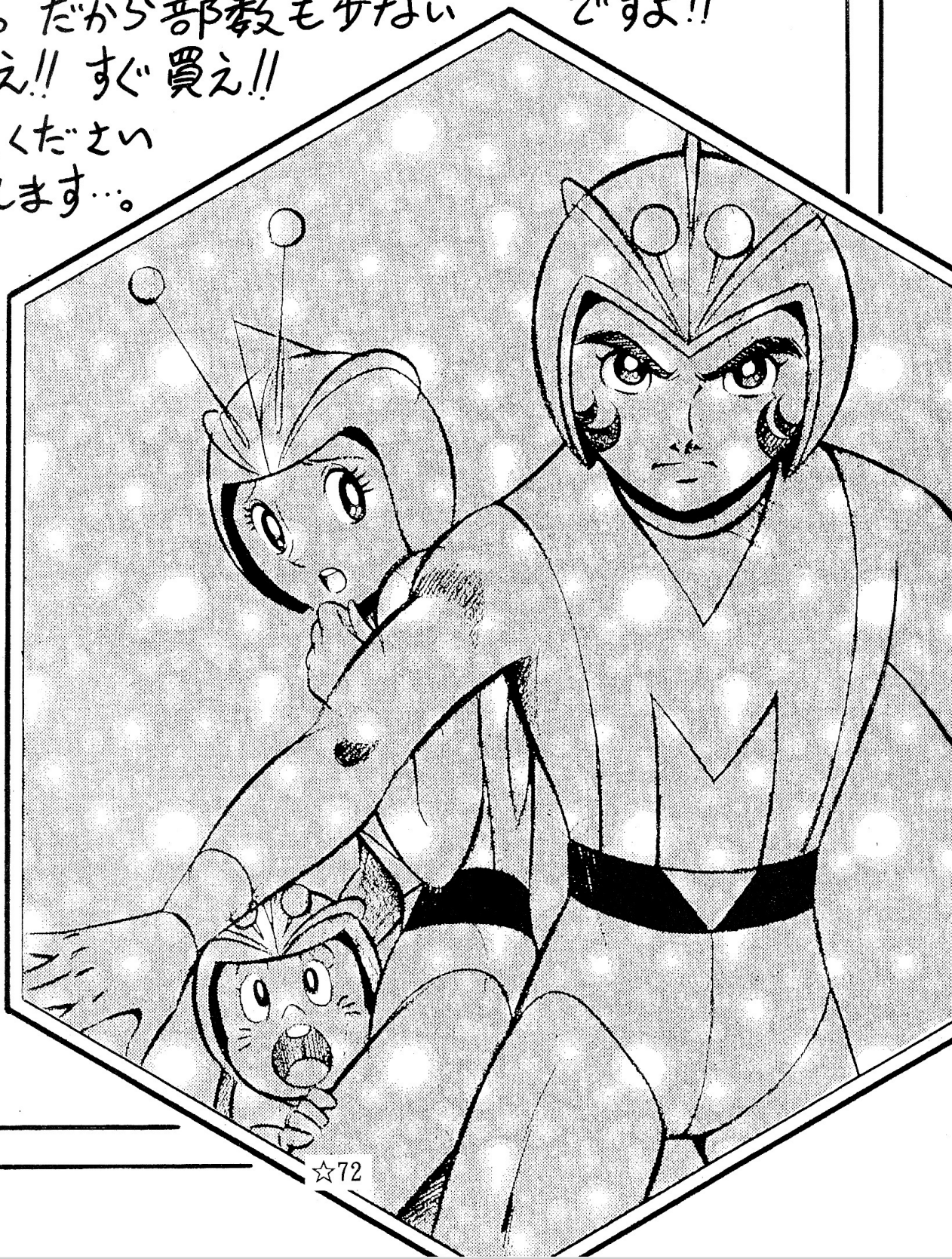
⇦こちらは劇場版第2作目にあたる"おばけナイター"から、全登場キャラの記念写真風に構成した11月～12月カレンダーです。"ぬりかべ"が窮屈そうですが、結構こいつがレイアウト泣かせなんですよね…単純なたけに。この映画がシリーズの中で一番面白かったな！ストーリーが無理なく進行してて楽しめた作品でしたね。

ここに掲載した3枚のラフ画は東映作品の混載カレンダー用に描いた物です。地方の企業がＰＲ用に作る物で、東京では手に入らないモノもあるみたいです。私も持ってない…。

ここから3ページ目までは私の大好きな“もーれつア太郎”関連の原画をご紹介します。まず、ここの2点はカレンダーのラフで上が第1稿のラフで下が決定稿のラフになります。そして、次ページの見開きにある絵はすべて、ニコンのキャンペーン用に描いた単体カットの数々です。

NIKON
NIKON

口あけて
ます

これは、結構好きだったキン肉マンのカレンダー用のラフ原画。自分なりに“ゆ○た○ご”よりも上手に描こうというのを真情に描きました。この時期は他にも“クレヨン王国”や“聖闘士星矢”ｅｔｃとほぼ同時進行で描いていました。
肉

これは、私としては異例のイラストで
“コスパ”からの依頼で描いた“ゲキガンガー3”のTシャツ用の絵です。
好評のうちに売り切れたそうですが自分としては全然欲しくないかも…。

これまた自分でビックリの“エヴァンゲリオン景品用”にセガからの依頼で無理矢理描いたデザイン画。ＵＦＯキャッチャー等の中に入っていたキーホルダーのモノで、下にある２頭身の絵が決定稿になっております。他の登場人物もすべて描きましが、スペースの都合上掲載しませんでした。

◎ミサト

これは、バンプレストから発売されていた景品用のタツノコ・フィギュアコレクションのパッケージイラストです。ガッチャマン・キャシャーン・ポリマーはトレスダウンであとの物はすべて描きき下ろし。

こちらは、右と同様の第２段のパッケイラスト。同じくガッチャマン等がトレスダウンで他は描き下ろしです。前回の景品とはオマケのキャラクターが違います。皆さんがんばって取りましょう。

@ミクロイドS 資料集@
「そんなに虫なのか?」
ギドロンの昆虫ロボットを完全掲載した"初"のミクロイドS本?? 売れないのを知ってて出しちゃいました…。だから部数も少ないですよ!!
さぁ買え!! すぐ買え!!
….買ってください
お願いします…。
ミクロの三勇士が今!キミの手元に!!
※問い合わせは奥付まで!!

・破裏拳ポリマー (仮)
悪党図鑑・
☆いよいよ タツノコ作品に着手します。 その第一弾として「破裏拳ポリマー」本の発行を予定しております。
詳細については まだ未定ですが、どうか お楽しみに!
※お問い合わせは奥付の住所まで

# ⇨最後に⇦

この度は、大変お恥ずかしい本を出してしまい、買って頂いた方々には誠に申し訳なく思っております…。前書きで書いたように色々な意味で“楽しんで”もらえたら幸いなのですが…。後にも先にもこのような趣旨（恥ずかしい…）の本を出す事はもう無いと思います。もちろん仮に完売したとしても再販は考えてませんので、何卒当サークルを支援してくださっている方々どうか今回だけはお許しくださいませ…。それでは最後までご覧いただきありがとうございました。

◎平成１０年8月8日初版のみ発行◎

◎ 企画 ―――― ワルワルカンパニー

◎ 発行者 ―――― 多賀谷　学（スパーク早風）

◎ 発行 ―――― ワルワルカンパニー

◎ 発売元 ―――― 〒116-0002東京都荒川区

荒川３－５３－１